

2024年度業務実績報告書

参考資料

2025年6月

愛知県公立大学法人

	ページ	関連項目番号
【県立大学】		
1 新教養教育カリキュラム「県大世界あいち学」	・・・ P 1	1,2,3,8
2 「iCoToBa Nexus」プロジェクト	・・・ P 5	3
3 eポートフォリオシステム	・・・ P 7	4
4 コミュニティ通訳学コース	・・・ P 8	5,6
5 「多文化共生社会の課題解決に向けた協働的力量の形成 ～ポートフォリオを軸とした「あいち地域共創教員プログラム」～」	・・・ P 10	4,7,22
6 学長特別教員研究費	・・・ P 11	18
7 愛県大アカデミックデイ	・・・ P 12	18
8 愛知県との連携に関する取組	・・・ P 13	22
9 地域課題の解決を目指す取組(MAPU)	・・・ P 15	22
10 ICTリカレントコンシェルジュ	・・・ P 16	23
11 「医療・教育福祉現場を変革するエキスパート人材育成研修」	・・・ P 17	20
12 国際戦略方針に基づくアクションプラン	・・・ P 19	26
【芸術大学】		
13 名古屋工業大学との「アートフルキャンパス構想」	・・・ P 21	30,41
14 領域を超えた授業科目の連携(異分野のコラボレーション教育)	・・・ P 22	30
15 アーティスト・イン・レジデンス及び外国人客員教員による事業	・・・ P 23	30,39
16 アウトリーチプロジェクト	・・・ P 24	32,42
17 美術学部デザイン・工芸科メディア映像専攻	・・・ P 26	33
18 芸術大学におけるキャリア支援	・・・ P 27	36
19 教員による芸術・研究活動の主な実績	・・・ P 28	39
20 企業、研究機関などとの連携、共同研究	・・・ P 37	40
21 アートラボあいち芸術大学連携プロジェクト	・・・ P 39	41
22 あいちアール・ブリュット	・・・ P 40	41
23 収蔵品展・収蔵品の他機関への貸出件数	・・・ P 41	42
24 サテライトギャラリー SA・KURA	・・・ P 42	43
25 芸術大学におけるブランディング・知名度向上に向けた取組	・・・ P 43	45
【法人運営】		
26 トップマネジメントによる予算配分	・・・ P 45	46
27 2大学による連携事業	・・・ P 47	48,55
28 スタートアップの推進	・・・ P 49	48
29 事務職員の育成(海外・他機関派遣研修)	・・・ P 51	52

1. 新教養教育カリキュラム「県大世界あいち学」

【県立大学】

(概要)

教養教育を学びうることこそ大学の特徴であるという考え方を基礎に、「県大世界あいち学」という愛称のもとに、2021年度から新カリキュラムを開始しました。愛知に根ざしたグローバルな視野での学び、専門教育と表裏の関係での複眼的、領域横断的な知的基盤の獲得、予測困難な新時代を生き抜く人間力の涵養、といった考えのもとに学部間連携を主軸に自治体・産業界等との連携を組み込んだ科目編成と教授体制で実施しています。特に世界の新情勢と愛知県の独自傾向を踏まえ、多文化・多言語への理解を通じた協働能力を涵養することとし、身近に必要性が認識されるポルトガル語教育に力点の一つを置いています。また、IT・AIなど技術革新の動向を踏まえてデータサイエンスなどの情報科学分野を重視しています。

特に、その中核をなす全学部連携携科目4科目(APU教養コア科目、APU教養特別科目3科目のうち2科目)と複数学部連携科目4科目(APU教養連携科目4科目)を以下の理念の中心と位置づけ、科目全体をこれに関連づけることで、教養教育の個性を生み出しました。第三期中期目標・計画の最終年度2024年度が新カリキュラムの完成年度となります。

(理念)

人をつなぎ世界を結ぶ、愛知に根ざしたグローバルな視野をもって、次のような活動ができる素養を育む。

- ・人間性と文化について科学的な思考によって価値の相対化ができる
- ・予測困難な事態にも対応しつつ主体的に社会性をもって行動できる
- ・人権尊重や国際平和の普遍的価値に照らし、学びの英知を地域社会へ還元できる

(目標)

教養教育の理念を達成するため、以下のような人間力の育成を目標とする。

- A) 基本的人権と国際平和の重要性を認識し、倫理観や正義感をもって行動できる。
- B) 国際社会とその多文化の諸価値を理解・尊重できる。
- C) 文化の違いを超えた相互理解のためのコミュニケーション能力と情報発信力をもつ。
- D) 課題解決のための合理的・論理的かつ批判的・創造的な思考力を有する。
- E) 事実を客観的に分析・理解し、数理的・客観的なデータ分析ができる。
- F) 専門分野を超えた総合的な視点と考えを深めることができる。
- G) ジェンダーやセクシュアリティー、また弱者やマイノリティーに適正な理解ができる。
- H) 生きる意味を自覚し、健康的な生活を探究しつつ将来を見据えることができる。
- I) 科学技術の発展と自然界の現状を理解することができる。
- J) 災害発生等の不測の事態に対処し、主体的に行動できる。

(科目構成の構造と概要)

- **APU 教養コア科目**（2科目）として、「多文化社会への招待」※「データサイエンスへの招待」※を1年次必修とし、本学での学びの全容を理解しつつ主体的に選択できるように促し、情報科学による裏づけをも得られるようにした。5学部教員が連携し、5学部学生が領域を超えて学び合う。
- **4科目群**に編成し、それぞれの中心に**APU 教養連携科目**（4科目）として「グローバル社会の諸問題」※「エリアスタディーズ総論」※「ものづくりの現状と課題」※「いのちと防災の科学」※を置いた。【下記表】
- **APU 教養特別科目**（3科目）として、「教養留学修得科目」「県大エッセンシャル」※「県大教養ゼミナール」※（選択科目）を、フレキシブルかつ積上げ式科目として置いた。
- 外国語・キャリア教育・スポーツ実践の諸科目も、教養教育全体に含み込み、教養教育の理念のもとにあることを明確にした。

※ 全学部連携携科目4科目と複数学部連携科目4科目

○ **4科目群の構成**

- (1) 世界を理解する： 多文化・多言語の実際を学び社会での協働に役立てる科目群

科目の小区分	概要
APU 教養連携科目	「グローバル社会の諸問題」として、外国語学部教員を中心に、年度ごとに設定するテーマに関係深い他学部教員が連携担当する。
多文化理解	触れたことのない文化や言語に接して自国の文化や言語を見つめ直し、グローバルな場面への備えを探る。「Global Vision Talks」「Japan's Interactions with Other Cultures」「Japan Seen from Outside」といった外国語授業を主とする。
外国語科目	英語、ポルトガル語、フランス語、スペイン語、ドイツ語、中国語、ロシア語、韓国朝鮮語、日本語の各ⅠⅡと、「教養外国語ショートプログラム」を置く。
外国語セミナー	上級履修科目として英語、ポルトガル語、フランス語、スペイン語、ドイツ語、中国語の各セミナーを置く。

- (2) 地域を掘り下げる： 愛知・日本・世界の諸地域を身近な生活に即して理解する科目群

科目の小区分	概要
APU 教養連携科目	「エリアスタディーズ総論」として、外国語学部と日本文化学部の教員が連携して、特定地域の歴史、社会、文学、文化など多角的に探る。
愛知・日本	愛知、東海地方、日本それぞれの文学、歴史、ことば、生活を地域に根ざした文化という観点から学ぶ。
諸地域研究	現代社会について注視しつつ、アジア、ヨーロッパ、南北アメリカ、アフリカといった世界の歴史・文化を学ぶ。

(3) 社会に生きる： 現代社会の実相を学術的に探究しつつ身近な課題を見つめ直す科目群

科目の小区分	概 要
APU 教養連携科目	「ものづくりの現状と課題」として、日本文化学部と情報科学部の教員が連携担当し、愛知のものづくり企業の協力のもと、チームでプロジェクトのテーマを設定しつつ、課題解決に取り組むプロジェクト型実践教育。
現代社会	私たちを取り巻く現代社会の仕組みや文化について、主に社会科学の手法を通して理解し、現実社会の課題を見つめつつその解決策を構想し、将来を展望して生き抜く力の基礎を培う。
キャリア・プランニング	1年次から4年次までの各段階に即して、本学で学ぶ意義を卒業後の人生行路との関係で構想する、積上げ式のキャリア教育科目群。愛知地域の産業動向や、卒業生の活躍現場などを参考する。

(4) 科学と人間を深める： 人間知の科学的探究力と心身豊かな人間性を涵養する科目群

科目の小区分	概 要
APU 教養連携科目	「いのちと防災の科学」として、教育福祉学部と看護学部の教員が連携担当し、防災・減災のための知識やスキルを学ぶと同時に、医療・教育、福祉、心理の観点からさまざまな立場の人のいのちを守ることについて思考を深める。
自然科学	自然現象と人類科学から見出される普遍的な法則性探究の歴史を背景に、私たちを取り巻く現在と今後の課題解決について考える。
人文科学	哲学、心理学、文学、芸術鑑賞・表現に関わる人間諸活動の叡智に触れ、人類の文化や歴史の本質と価値を探りつつ自らを省察する。
情報科学	IT・AIなどの技術革新の動向を見きわめ、情報科学の技術と倫理を身につけ、次世代を展望しつつ主体的に生きる方法を身につける。
スポーツ・健康科学	生き方と心身との関係、健康づくりの科学的方法、などを学術的・実践的に学び、主体的な生涯スポーツ実践たることを目指す。

2021年度より開講しているAPU教養コア科目「多文化社会への招待」では、中間評価に基づき、以下の通り改善と確認をおこなった。

- コロナ禍のためオンラインでおこなったグループワークについて、学生アンケートで不満が寄せられていたが、本年度は授業を対面で実施できたため、不満が解消された。
- FDにおける検討を踏まえ、多人数の教員が関わることから生じる成績評価における不均衡を避けるため、評価における共通の基準を設定した。
- 学生による「ふり返り」のコメントを見ると、他学部について知れたこと、他学部の教員や学生と関わったことに満足感を感じている学生が多い。また、所属学部が異なると考えも様々であること、

同じ学部に所属していても意見が同じとは限らないこと等が強く印象に残ったようである。他学部の専門を知る貴重な機会になったという意見も多く、全学部連携科目としての授業目的は概ね達成されている。

同じく 2021 年度より開講している「データサイエンスへの招待」では、2022 年度に行った企業からの外部評価も学生アンケート結果も、共に高評価だったため、大きな改善は行わなかつたが中間評価に基づき、以下の改善をおこなつた。

- 2022 年度一部導入して学生アンケートで高評価だった反転授業を事例紹介の回では全面的に導入することを決定し、実施した。
- 不規則な学年暦によって生じた課題締め切りに対する不公平感について、締め切りを延ばすなどの対策を講じた。
- 一部授業回で、コメントスクリーンの使用を試行した。

2024 年度教養 FD の科目群会議において、「県大教養ゼミナール」（履修者数 6 名）の振り返りを実施した。本授業では、学生 3、4 年生がチームを組み、自ら課題を設定し探究することで、教養教育の学びの成果を自分たちなりに学内外に向けて発信することを目標としている。受講学生は学びの成果として、本学の教養科目の紹介動画作成を作成し、学内外に向け発信することはできた。一方で、長久手市の施設（リニモテラス）で最終発表を行つたが、オーディエンスのほとんどが本学関係者であり、学外、長久手市民への発信という点では課題が残つた。最終発表会の広報、長久手市が抱える課題に対して解決策を提示することをテーマとして設定するなど、一般の長久手市民が参加を促すことを検討すべきであった。来年度はテーマ設定の段階で、発信対象を明確にし、その対象に向けたテーマ設定、広報をするなど、来年度に向けた改善点が明らかになった。

「県大エッセンシャル（後期）」（履修者数：138 名）は、2019 年から「連合愛知寄付講座」として連合愛知と本学が連携してオムニバス授業を計画し、学びの道にある本学学生がアルバイトや卒業後の就労を念頭に置きながら、人生設計を展望するためのリレー講義である。2024 年度も、登壇者に愛知県内の企業関係者や、愛知県副知事、本学の卒業生を招き、授業内では受講学生に語りかけつつ、授業後に小レポートを提出し、講師からフィードバックをもらうことで、学生が主体的にキャリア設計に役立てることができた。特に、愛知県副知事の牧野利香氏に登壇いただいた授業「副知事・副学長・県大生で語ろう！」では、本学副学長の服部淳子教授、糸魚川美樹教授とパネルディスカッションを行い、女性が働く環境の変化や仕事と子育ての両立て苦労したことなどについて受講学生とトーカセッションをし、卒業後の働き方や自身のキャリア形成を考える機会とした。また、本授業を広く学外にも公開するため、愛知県立芸術大学との単位互換科目に指定した。

2. 「iCoToBa Nexus」プロジェクト

【県立大学】

(概要)

社会との連携に役立つ語学運用能力やコミュニケーション能力の向上を支援するため、正規の課程外の学習プロジェクトとして、2023年度より開始した。

地域貢献と発信型教育を目指す同プロジェクトは、大学院国際文化研究科コミュニティ通訳学コースと連携し、災害時を含む公共サービスにおける実践的な通訳訓練を行うことを目的としたプログラムと、現代の視聴覚メディアを利用して、地域社会の課題解決を提案するメディア・プロダクションを行うプログラムとの、二つの軸からなるプログラムを立案し iCoToBa の講座として開講した。

○ 大学院国際文化研究科コミュニティ通訳学コースとの連携講座

① コミュニティ通訳講座「非常食をたべてみよう」

「非常食をたべよう」というイベントを企画し、実際に非常食をたべながら、留学生と日本人学生が避難所や災害時の情報取得についてクイズなどを作成し、地震や自然災害などの非常事態にどのように対応するかを易しい日本語で検討した。講座のまとめとして「グローバルセミナー」でプレゼンテーション発表した。



② 「防災訓練におけるコミュニティ通訳 やさしい日本語」

学内防災訓練における消防隊員が行う AED 救命講習（日本語）を、英語、ポルトガル語、スペイン語にウィスパリング通訳する演習を行った。大学院生やスペイン語専攻の学生が参加し、同時通訳の難しさ、言葉の表現の難しさを学んだ。

○ 発信型メディア講座

① 「中級・上級ディスカッション：グローバルニューストーク」受講者数 5名

英語のニュース放送を視聴し、学生が選定したニュース記事を題材に、英語によるグループディスカッションを行う演習を実施した。受講者の中には継続して履修している学生もおり、優秀かつ意欲的な学生に対して、英語運用能力を維持・向上させるための機会を提供する講座となった。

② 「日本のポップカルチャーを語ろう：宮崎駿」受講者数 7名

日本を代表するアニメ監督・宮崎駿の映画をテーマに設定し、学生が交代で自ら選択した宮崎駿の映画を題材に、英語でディカッションし、ポピュラーメディアを批判的に見ることなど文化的な問題について話し合うことで、自らの意見を英語で表現する語学力を向上させた。

③ 「日本のポップカルチャーを語ろう：アニメの世界的な人気について」受講者数 3名

本講座は「Nexus 現代文化ラボ」形式の一環として実施された。授業の冒頭でアニメおよび関連する日本文化コンテンツのグローバル化についての課題を提示し、受講学生が個々の学習計画を立てて情報を収集したうえで、英語でのディスカッションを行った。

④ 「iCoToBa メディア政策ラボ」

英語の教科書を使用し、視聴覚メディア制作の基本的な技術について学ぶ講座である。映像クリップを鑑賞して、実際にその技術がどのように使われているかを確認したうえで、2本の短編映像を企画・制作した。

⑤「中級 / 現代の話題ディスカッション：AI とは何か？」閉講

AI の技術はどのように機能し、人間や社会とどのように関わっているのかをテーマに、英語のニュース記事や資料を読み、ディスカッションを行う授業の予定であったが、受講者がいなかつたため閉講とした。

3. eポートフォリオシステム

【県立大学】

(概要)

ポートフォリオは学びの成果をまとめたファイルのことです。学修について、そのプロセスも含めて記録・可視化することで、学生が学びの成果を確認し、学修計画の修正や立案に役立てるとともに、教員も学生の学修状況を踏まえた評価や指導を行うことが可能となります。ポートフォリオは学修者本位の教育や教育の内部質保証において重要なツールと言えます。

教育支援センターでは、学修成果に基づく DP 達成状況の可視化 (UNIPA の学修ポートフォリオ機能を利用) の 2024 年度からの全学実施に向け、2022~23 年度にかけて教職課程で e ポートフォリオの試験的な導入を行ってきました。LMS と Office365 の組み合わせから成る教職 e ポートフォリオシステムを独自に開発し、小学校免許の取得を目指す学生を中心に試験的に運用しました。その成果として、ポートフォリオによる学修成果の可視化やそれに基づく振り返りは、学修者本位の教育を実現するうえで有用であることが示唆された反面、その有効活用においては教職員側の理解と支援体制の構築が必要となることが示唆されました (2023 年度の全学 FD 研究会で報告)。それらを踏まえ、2024 年度は可視化に必要となる成績の定量化の作業と並行して、各学科・専攻における支援体制について検討を開始しました。2025 年度も引き続き検討を継続していく予定です。

また、教職 e ポートフォリオシステムは試行としての役割は終えたものの、2024 年度に文部科学省による「地域教員希望枠を活用した教員養成大学・学部の機能強化」事業（取組名：多文化共生社会の課題解決に向けた協働的力量の形成～ポートフォリオを軸とした「あいち地域共創教員プログラム」～、p. 9 参照）に採択されたことを受け、UNIPA の学修ポートフォリオ機能と組み合わせた新システムに移行していくことが計画されています。

一方、学修成果に基づく DP 達成状況の可視化 (UNIPA の学修ポートフォリオ機能を利用) の全学実施は 2024 年に無事完了しました。上述の通り、教職課程における先行導入の結果から、ポートフォリオの有効活用においては教職員側の理解と支援体制の構築が重要になることが示唆されたため、こちらについても 2024 年度中に各学科・専攻における支援体制について検討を開始しました。2025 年度も引き続き検討を継続していく予定です。

4. コミュニティ通訳学コース

【県立大学】

(概要)

コミュニケーション通訳は、医療、司法、教育、行政、福祉等の領域で実践され、日本語を母語としない人の基本的人権を保障するために必要な通訳です。

愛知県に暮らす外国籍住民は、約30万人で東京都（約63万人）に次いで全国第2位であり（2023年6月時点）、役所、病院、学校、警察、雇用相談、法律相談、防犯・防災活動など、さまざまな場面で多言語対応が求められています。コミュニケーション通訳には語学力に加えて関連分野の知識や高い倫理観が求められ、その指導を行える人材は限られているにもかかわらず、体系的な教育を行っている大学はほとんどありません。

こうした現状を踏まえ、コミュニケーション通訳に関する知識やスキルを体系的に学び、高い専門性を有する人材を育成することを目的として、2022年度に、国際文化研究科国際文化専攻にコミュニケーション通訳学コースを設置しました。

(育成する人材像)

1. 専門性を持つプロフェッショナルなコミュニケーション通訳者

（医療、司法、教育、行政、福祉等の分野で必要な知識、異文化理解力、通訳者倫理を身につけた専門家）

2. コミュニティ通訳コーディネーター

（専門知識と語学力を持ち、通訳者とユーザーの間を調整し、社会インフラとしてのコミュニケーション通訳を効果的に機能させる人）

3. コミュニティ通訳分野における指導者、研究者となる人

(コースの特徴)

カリキュラムには「理論」「実践」「研究者としての能力」の3要素を含み、多文化共生論、通訳理論や現場実務に関する知識、事例研究を含むコミュニケーション通訳研究、言語別演習、実務実習、アカデミック・プレゼンテーションに関する科目があります。主な指導言語ペアは、日本語を軸語として、英語、スペイン語、ポルトガル語、中国語の通訳言語ペアで、人間発達学研究科や看護学研究科の一部科目の履修も可能です。通訳現場の実務的知識を身につけるため、愛知県教育委員会、医師会、弁護士会、愛知県警等からの講師派遣のほか、名古屋地方検察庁において検察官からの説明、名古屋地方裁判所において要通訳裁判の傍聴および裁判官からの説明を受けるなど、外部機関と連携した授業も実施しています。さらに、遠隔通訳や機械・AI翻訳などテクノロジーの活用と倫理も学びます。

複数の大学院生と教授陣で構成する「合同ゼミ」において、修士論文（または特定課題研究成果）の執筆に向けた指導を行います。また夜間や土曜日、オンライン等も指導に活用することで社会人にも配慮しています。

(2024年度実績)

今年度は、文部科学省研究拠点形成費等補助金「人文・社会科学系ネットワーク型大学院構築事業 国際連携型」に、コミュニケーション通訳学コースの教育プログラム「多言語多文化社会で必要とされるコミュ

ニケーションデザイン能力を有する専門職人材の共同育成」が採択されました。本プログラムは、オーストラリアの RMIT 大学、スペインのバルセロナ自治大学、台湾の東海大学、ベトナムのハノイ国家大学外国語大学の海外 4 大学の大学院と連携し、また愛知県内の愛知県県民生活部多文化共生推進室、あいち医療通訳システム、愛知県教育委員会、愛知県医師会、愛知大学法務研究科（法科大学院）などと連携して、推進していきます。先進的な海外の研究に学びつつ、教育プログラムの充実を図るもので

9 月に内定を得て、10 月からの半年間に、4 つの海外連携大学全てを訪問し、コミュニティ通訳の社会的周知を目指した公開講座や国際シンポジウムを主催し、3 月にはキックオフシンポジウムを 4 つの海外連携大学全てを招いて開催しました。事業運営委員会を立ち上げ、12 月からは専従の職員を採用し、来年度 4 月にはプログラムコーディネータ教員が着任予定です。「会議通訳演習」「司法・医療通訳論」「学外連携プロジェクト型研修」という新しい授業科目開設に向けた準備も順調に進行中で、同時通訳用ブースを備えた同時通訳演習室の整備も始まりました。

2024 年度の具体的な実績は以下の通りです。

- ① 10/2 鳥飼玖美子氏公開講演会「日本におけるコミュニティ通訳」
- ② 12/11～13 オーストラリア RMIT 大学との国際シンポジウム「社会インフラとしてのコミュニティ通訳制度構築検討に向けて：大学と自治体の国際連携」
- ③ 3/12・13 海外連携 4 大学院とのキックオフシンポジウム「社会インフラとしてのコミュニティ通訳制度の構築に向けて」（基調講演講師：内藤稔氏）
- ④ 台湾・東海大学とのオンライン合同授業（10/24、12/26）、オンラインポスター発表
- ⑤ オーストラリア・RMIT 大学修了生による本学授業アシスタント
- ⑥ スペイン・バルセロナ自治大学教員との共同教材作成
- ⑦ 本学教員による海外連携大学訪問とプログラム打ち合わせ
- ⑧ カリキュラム改革の検討：「会議通訳演習」「司法・医療通訳論」及び「学外連携プロジェクト型研修」の 2026 年度開講
- ⑨ 入試改革についての検討：コース内に「通訳専門分野」と「コーディネイト専門分野」の 2 分野を設置し、コーディネイト専門分野については言語能力の要件を緩和する
- ⑩ 愛知大学法科大学院の地域貢献プロジェクトへの参加（9/15、9/25）

その他、大学内の防災訓練における多言語対応実習、3/16「多言語防災を考える」パネルディスカッションなど。②③の国際シンポジウム等では、院生が通訳・翻訳などに活躍しました。

2024 年度は 2 人の修了生を送り出すことができました。

喫緊の課題は、志願者の確保です。2022 年度入試は志願者 9 名（合格者 6 名）でしたが、2023 年度・2024 年度は志願者 5 名（合格者各 3 名）、今年度行った 2025 年度入試では、志願者 2 名（合格者 1 名）と減少しています。年 2 回行っている入試説明会には、コミュニティ通訳学コースを指定して参加する方が 10 名以上いて、極めて関心が高いことは明らかですが、通訳学コース履修には高い二言語以上の運用能力が求められるためその条件を満たす受験者がなかなかいないのが現状です。

今年度検討した入試改革は、来年度（2025 年度）実施する 2026 年度入試から導入する予定であり、通訳者としてではなく、コーディネーターとしてコミュニティ通訳制度の構築を担う人材を育成すべく、新しいカリキュラムを実施します。文科省補助事業の広報、当時通訳ブースの活用、国内外の連携強化によって受験生が増加することを期待しています。

5. 「多文化共生社会の課題解決に向けた協働的力量の形成～ポートフォリオを軸とした「あいち地域共創教員プログラム～」」

【県立大学】

(概要)

本事業の趣旨は県内の教育委員会と連携し、地域に根差す教員を後期中等教育の段階から、選抜・要請・採用の一体的な改革として進めていくものです。愛知県では多文化共生教育が一つの教育課題となっていて、外国につながる子どもや発達障害など多様な文化的背景を有する子どもが増加しています。愛知県では日本語指導が必要な児童生徒数が全国で第1位であり、日本語の能力差も大きく、学習活動や学校生活に対する支援が課題です。加えて通級による指導の対象となる児童生徒も年々増加し、日本語指導教室や通級担当者と連携して通常学級における支援指導を連携・協働して行うことができる教員の力量形成が喫緊の課題とされています。本事業の目的は、愛知県立大学として、愛知県という多文化共生社会で生じる課題を自ら学び考え、地域と共に創する教員の育成に向け、ポートフォリオを軸とした教員の力量形成を選抜・養成・採用を一体化した形で行うことです。この補助事業を通して、質の高い多様な学びを保障し、多様性を尊重し支え合う共生社会の形成に寄与できます。

(2024年度実績)

本補助事業は、後期中等教育の入学前教育・入試改革・教員養成課程・教員採用試験の4つの領域に関わるため、以下の4つのワーキング・グループを設け、2024年度に以下の取り組みをしました。

(入学前教育グループ) オープンキャンパス及びミニ・オープンキャンパスを活用した学内の高校生向けセミナーの試行版として、大学の模擬授業（講義型・ゼミ型）を実施しました。受講生からは全体を平均して70～80%程度の高い進学希望や満足度を得られ、オープンキャンパスでは学科紹介や模擬授業を経て「自分の意欲関心（1位：93.6%）」や「将来のキャリア（2位：70.7%）」が進学において重視される結果となりました。加えて学外の高大連携事業に向けて、愛知県立半田東高等学校の「教育コース」及び、あいちSTEAM能力育成事業「知の探究講座」の中で高校訪問型と高校参集型の高大連携事業の試行版として実施し、連携教育委員会とプログラムの打ち合わせも実施しました。

(入試改革グループ) 大学入試に「地域教員希望枠」設置を行っている先行事例の調査として、岡山大学や島根県立大学などでヒアリングを実施しました。加えて、特別総合型選抜入試に向けて2年前告知をしました。この他、総合型選抜のシミュレーションとして面接におけるルーブリックを用いた評価と検討を実施しました。入試・広報と絡めて地域教員希望枠を念頭に置いた教育発達学科のHPの作成に着手しました。ここでは、学生の学校現場やNPOにおける取り組み、作成した教材や課外での研修を広報するための学生が主体で作成した動画等が掲載されています。これにより、補助事業に関わり、愛知県の教員になることや教員養成への具体的なイメージを高めることを通じて、教員という職業に対する魅力ややりがいに対する意識を高校生に向けて高めることに貢献しました。

(教員養成課程グループ) 愛知地域共生教育プログラムを拡張し、中核科目（キャリア・デザイン）を軸とした主専攻・副専攻からなる地域課題の探究力を育むプログラムの原案を作成しました。加えて、愛知県の教育課題に対応できる実践力を養うため、ICTやGIGAスクール構想に対応した教室環境を整えるため設備備品（電子機器等）を導入し、模擬授業や師範授業を行えるようにしました。この他、教育委員会と大学での養成プログラムの内容について検討を行いました。

(教員採用試験改革グループ) 愛知県・名古屋市教育委員会と特別選考の方法について、学長推薦枠の活用等を含む大学推薦の枠と具体的な選抜方法に関する検討に着手しました。

6. 学長特別教員研究費

【県立大学】

(概要)

専任教員の学術研究を奨励し大学の発展に寄与するため、学長が予算の範囲内で選考・交付する学内の競争的研究費です。学内の分野横断的共同研究や産学公連携による研究を推進する者を対象とする「学部間連携・産学公連携研究」の区分で2件、本学の特色や強みを打ち出すことを目的とした研究を推進する「地域課題研究」の区分で3件の採択を行ったほか、独立行政法人日本学術振興会の科学研究費助成事業に応募し、不採択となった者を対象とする「科研費採択奨励研究」で7件、そのほかの区分も合わせ計16件の採択を行いました。

(「学部間連携・産学公連携研究」採択実績)

研究課題名：社会課題をテーマとする国際協働学習の活動の分析－「高齢者生涯学習」と「人間とペット」の台日比較の活動を事例に

研究者：教育福祉学部、台湾・東海大学文学院

採択金額：1,006千円

内容：本研究は、台湾と日本の学生が授業やフィールドワークで自律支援や拡張的学習活動を分析し、キーコンピテンシー育成策を検証するもの。2023年度は「ペットと人間」をテーマに合同授業とフィールドワークで参与観察・インタビューを実施。2024年度はオンラインで合同演習後、あいちシルバーカレッジで異世代学習を調査し、アンケート・質的分析で効果を明らかにする。

研究課題名：地域活性化に向けた文化財情報の調査・活用に関する研究

研究者：情報科学部、日本文化学部、半田市立博物館、NPO法人

採択金額：678千円

内容：本研究は、半田市小栗家住宅所蔵の江戸～近現代文書・新聞・絵画・民具を調査し、地域資源としての価値を解明するもの。整理・分析結果を博物館・観光協会やスタートアップと連携し公開・イベント化し、住民参加型の地域活性化手法を検討・実証する。新聞資料は新聞社別・日付別に整理し、文化財情報発信のICT活用手法を検討する。また、学芸員と協働し、価値の高い文書を段階的に公開する方策も検討する。

学長特別研究費の募集及び選考等に関して意見を求めるために学長が設置する「学長特別研究費アドバイザリー会議」において、さらに利用者に使いやすい仕組みにするための検討を行い、次年度の募集要項に英語版を加えるとともに、「海外ジャーナル掲載助成」区分の募集期間を随時受付できるようにしました。

7. 愛県大アカデミックデイ

【県立大学】

((概要)

従来、開催してきた「教員研究発表会」や「ポスター発表会」の企画を拡大し、2021年度から発足した新研究所・プロジェクトチームの研究成果報告と併せて「愛県大アカデミックデイ」という企画として開催しました。

(Day 1)

主 催：学術研究情報センター

開催期間：2024年9月6日（金）

開催方式：対面・オンライン併用（学内限定公開）

参加者数：74名

内 容：研究成果を広く共有する目的で実施する教員研究発表会

備 考：チャット欄を活用し、教職員と発表者が直接意見交換や質疑応答を行う機会を創出

(Day 2)

主 催：地域連携センター

開催期間：2025年3月3日（月）～3月9日（日）

開催方式：オンデマンド配信

閲覧回数：参加者数133名、視聴総回数499（延べ）回

内 容：○教員等による自由スタイルの研究発表

○公開講座・イベント

○地域連携センターの活動紹介

○愛知県政150周年記念 SPECIAL CONTENTS

8. 愛知県との連携に関する取組

【県立大学】

(概要)

愛知県との連携（事業の共催、ボランティア活動の学生等への協力依頼、審議会等委員への就任、愛知県立大学のキャンパスの利用、イベントへの参加・出展等）を一層推進するために、2024年度は下記のとおり意見交換・共催事業・貢献活動を実施しました。

＜意見交換・共催事業・貢献活動一覧＞

(1) 愛知県社会福祉協議会・愛知県福祉局高齢福祉課

「あいちシルバーカレッジ専門コース」の内容に係る意見交換会を開催し、テーマや担当教員、運営方法について議論した結果、「高めよう防災力～命と暮らしを災害から守る～」のテーマのもと、看護学部教員を講師とした共催事業を開催した。（継続）

(2) 愛知県都市・交通局公園緑地課・愛知県都市整備協会

本学との連携内容について意見交換会を実施し、ボランティア募集やイベント案内の配架などで連携した。（継続）

(3) 愛知県生涯学習推進センター・愛知県防災安全局県民安全課

愛知県生涯学習推進センターと愛知教育大学との連携講座の共同企画に引き続き参画し、愛知県防災安全局県民安全課との共催により「性暴力被害防止セミナー」（継続）を開催した。また、新たに共同企画として「フォローアップ交流会」（新規）を開催するとともに、3者で来年度の共同事業の内容についての意見交換を行った。

(4) 愛知県観光協会

「どうする愛知県の観光～愛知県の観光ポテンシャル～」をテーマに意見交換会を開催するとともに、教養教育センターとの連携によるAPU教養特別科目「県大エッセンシャル」での講演及び懇談会を企画・実施した。（新規）

(5) 愛知・名古屋アジア・アジアパラ競技大会組織委員会

2026年に開催される愛知・名古屋アジア・アジアパラ競技大会について意見交換会を実施し、ボランティアの募集を行うとともに、2025年度に公開講座を開催することになった。（新規）

(6) 愛知県教育委員会事務局あいちの学び推進課・高等学校教育課・教職員課

- ・愛知の未来を担う人材の育成を目指すSTEAM教育を推進するため、県教委が県内の6大学の協力の下、「知の探究講座」を開講しており、本学はその1校として意見交換会に出席し、「人のこころを知る」と題する講座を実施した。（継続）
- ・愛知県立千種高等学校と連携して、学生自主企画研究・活動の中間報告会で高校生による探究活動報告を行うとともに、関係者と今後の取り組みについて意見交換会を開催した。（新規）
- ・中高一貫教育及び学びの多様化学校の教育等について、意見交換・打ち合わせを行った。さらに、今後の連携について、学内教員対象のアンケート調査結果をもとに意見交換会を行った。（新規）
- ・「全国高校情報教育研究会全国大会」を高等学校教育課と連携して本学で開催し、講演会を共催した。（新規）
- ・愛知県立津島高校及び愛知県教育委員会高等学校教育課と意見交換会を実施した。（新規）
- ・愛知県立美和高校と意見交換会を実施し、美和高校の高校生が教育福祉学部「地域共生教育プロ

- 「グラム」の授業を受講した。(新規)
- ・愛知県立瀬戸北総合高校校長とアントレプレナーシップ教育について、意見交換を行った。(新規)
 - ・文部科学省補助金事業である地域教員希望枠事業の申請について、上記2課に加えて教職員課と意見交換を行った。採択決定後も、打ち合わせを行った。(新規)
- (7) 愛知県総務局市町村課地域振興室・愛知県地域づくり団体交流協議会
- 「愛知県地域づくり活動フォーラム」を本学で開催し、学生自主企画研究（地域課題研究枠）の研究成果を発表し、地域づくり活動関係者と学生たちが交流した。(継続)
- (8) 愛知県福祉局子育て支援課
- 「放課後児童クラブ人材確保事業」として教育福祉学部教育発達学科の学生に、授業の一部の時間を使って説明会を実施した。(継続)

	意見交換 (部局数) ※関連団体含む	新規に実施した共催事業・地域貢献活動	継続して実施した共催事業・地域貢献活動
地域連携に関する意見交換・共催事業等	<ul style="list-style-type: none"> ○愛知県社会福祉協議会・愛知県福祉局高齢福祉課 ○愛知県都市・交通局公園緑地課・愛知県都市整備協会 ○愛知県生涯学習推進センター・愛知県防災安全局県民安全課 ○愛知県観光協会 ○愛知・名古屋アジア・アジア競技大会組織委員会 ○愛知県教育委員会事務局あいちの学び推進課・高等学校教育課・教職員課 	<ul style="list-style-type: none"> ○「フォローアップ交流会」 ○教養教育センターとの連携によるA P U教養特別科目「県大エッセンシャル」での講演及び懇談会 ○「全国高校情報教育研究会全国大会」 ○高校生による「地域共生教育プログラム」の授業参加 	<ul style="list-style-type: none"> ○「あいちシルバーカレッジコース」 ○「性暴力被害防止セミナー」 ○「知の探究講座」 ○「愛知県地域づくり活動フォーラム」 ○「放課後児童クラブ人材確保事業」説明会
	13回(11部局)	4件	5件

9. 地域課題の解決を目指す取組 (MAPU)

【県立大学】

(概要)

「少子高齢化」や「人口減少」などの様々な地域課題が挙げられる中で、行政機関、教育機関、地域コミュニティ、ボランティア・NPO 等の学外組織・団体から、大学に対して、課題解決への期待が寄せられています。これに対して、地域連携センターを中心に、教員の研究成果、経験知等を課題解決のヒントにつなげるために、市町村における課題を教職員とシェアする「場」(オンライン)を試行的に設けています。インタビュー形式で、組織・団体の皆様から直接課題についての具体的に説明をいただく機会として、「MAPU (マップ)」と称した意見交換会を開催しています。

(1) 【2024 年度 MAPU 「どうする愛知県の観光】

日時：令和 6 (2024) 年 10 月 28 日 (月) 16:15～17:30

開催方法：対面・オンライン (Zoom ウェビナー)

タイトル：2024 年度 MAPU 「どうする 愛知県の観光～愛知県の観光ポテンシャル～」

ゲスト：一般社団法人愛知県観光協会 地域連携部

学内参加者：29 名 (対面：16 名、オンライン：13 名)

概要：愛知県の観光資源を活用した地域づくりや観光振興に関する業務に取り組んでいる愛知県観光協会を招き、観光の視点で愛知県が現在抱えている課題点を直接聴くイベントを開催した。

MAPU (マップ)

MAPU… Meeting on A Problem-solving Unit 又は Make A Problem-solving Unit の略。

自治体の課題や連携希望等を取りまとめ、学内で共有しながらその解決を図る取組の呼称

また「Re」にあたる” R” をつけて、逆に学内の教職員から自治体や企業、団体等との連携希望を集約し、地域連携センターがその橋渡し (ハブ機能) として機能させる取組も計画している。

10. I C T リカレントコンシェルジュ

【県立大学】

(概要)

情報科学部では 2021 年 12 月から、社会人、団体、企業等を対象とした「 I C T リカレント教育コンシェルジュ」をスタートしました。

社会人の方々の場合、学習歴、背景知識、学習上の悩み、身につけているスキル、学習の目標等は多種多様と考えられます。したがって、学び直しにおいては、様々な学習の個性に合わせた学び方が不可欠と考えられることから、個別面談を通したニーズの把握により、相談者に応じた適切な学びの提案を行うことを目指します。

2024 年度は、以下のとおりサービスを実施しました。

(2024 年度の実施内容)

【方 法】個人面談によるカウンセリング

【日 時】相談者とスケジュール調整

【費 用】無料

【場 所】対面の場合：愛知県立大学長久手キャンパス
遠隔の場合：オンライン (Zoom を使用)

【相談員】教員 4 名が対応

【相談内容】①愛知県教育委員会からの愛知県立総合工科高校の新設予定中等部におけるデータサイエンス関連の教育内容に関する依頼（継続）、②あいち協働プラットフォーム構築事業に関する教育面の支援およびシステム構築に関する依頼（継続）、③名古屋市内の環境コンサルタント関連企業に所属する研究者への個別リカレント教育、④高校生への AI 関連教育に関する企業担当者からのリカレント教育についての依頼教職に関連するリカレント教育についての相談）

【申込方法】専用メールフォームから申し込み

【相談件数】4 件（個人）

11. 「医療・教育福祉現場を変革するエキスパート人材育成研修」

【県立大学】

(概要)

本学が実施するリカレント教育事業「医療・教育福祉現場を変革するエキスパート人材育成研修」は、デジタル技術も駆使しながら、医療・教育福祉現場の課題を明確にし、多職種連携を図りつつ課題解決に向けて現場に変革をもたらすことができるエキスパート人材として、スクールソーシャルワーカー及びスーパーバイザーと、クオリティ・マネジメントリーダー（※）にターゲットをあてて育成を図ることを目的に、本学初のリカレント教育事業として2023年度からスタートいたしました。

（※クオリティ・マネジメント・リーダー：環境の変化が激しい現代の医療実践現場において、多職種連携での課題解決に中心的役割を担える人材（本学での呼称））

本学大学院の人間発達学研究科・看護学研究科が持つ教育リソースを駆使し、自由な時間・場所で視聴できるオンデマンド講座を中心に、様々なニーズに合わせた各種コース・プラン（コースA・6プラン、コースB・3プラン）を用意するとともに、多職種人材が共同で学び実践できる講座を開講しました。

（2024年度の実施内容）

（1）開講講座

・コースA

コース名：『医療分野に強いスクールソーシャルワーカー及びスーパーバイザーの育成』

講座概要：子どもや学校を理解するだけにとどまらず、医療分野の知識を持ち、デジタル技術を含む情報収集・分析のスキルを高め、学校の教職員や関連機関と連携して課題解決の計画を立て実践できる力を育てるもの。（受講者属性：社会福祉士資格保有者、教員、スクールソーシャルワーカー等）

プランA-Iについては履修証明プログラム（※）として実施。

（※履修証明プログラム：主に社会人を対象とした一定のまとまりのある学習プログラムを開設し、その修了者に対して学校教育法に基づく履修証明書（Certificate）を交付するもの。総時間数60時間以上であることが必要）

2023年度のプランから2つのプランを増やして実施した。

・コースB

コース名：『医療の現場を支え看護の質を高めるクオリティ・マネジメントリーダーの育成』

講座概要：看護学研究科・人間発達学研究科といった本学の持つ教育リソースを駆使し、多職種連携場面で中心的役割を果たし、看護サービスの質保証に寄与できるクオリティ・マネジメントリーダー（※）を育成するもの。（受講者属性：看護管理者等）

両コース全プランとも2月末日に講座を終了し、各受講者に対し履修証明書、修了証等を発行しました。

(2) 受講者数等

プラン (受講方法) (総受講時間・受講料)	募集期間	募集定員	受講者数 (申込者数)	開講期間
A-I (オンライン・マンド・ライブ・対面) (60時間・48,000円)	7/12(金)～7/22(月) 事前受付 5/27(月)～6/14(金)	10名程度	18名	・8/1(木)～2/28(金)
A-II (オンライン・マンド・ライブ・対面) (24時間・36,000円)	7/1(月)～ 7/22(月)	10名程度	4名	
A-III① (オンライン・マンド) (24時間・20,000円)	7/1(月)～11/30(土)	なし	5名	・8/1(木)～2/28(金)
A-III② (オンライン・マンド) (1セット3時間・4,500円)	7/1(月)～11/30(土)	なし	3名	・8/1(木)～2/28(金)
A-IV (対面) (6時間・6,000円)	7/1(月)～ 10/31(木)	10名程度	4名	・11/17(日)
A-V (対面) (6時間・6,000円)	7/1(月)～11/30(土)	10名程度	3名	・12/22(日)
A-VI (オンライン・マンド) (4時間・4,000円)	7/1(月)～11/30(土)	なし	1名	・8/1(木)～2/28(金)
B-I (オンライン・マンド・対面) (21時間・30,000円)	9/2(月)～ 9/17(火)	20名程度	13名	・10/1(火)～12/27(金) (10/1オンライン実施)
B-II (オンライン・マンド) (5時間・7,500円)	9/2(月)～ 11/30(土)	なし	19名	・10/1(火)～2/28(金)
B-III (オンライン・マンド) (5時間・7,500円)		なし	18名	・10/1(火)～2/28(金)

A：医療分野に強いスクールソーシャルワーカー及びスーパーバイザーの育成

B：医療の現場を支え看護の質を高めるクオリティ・マネジメントリーダーの育成

12. 国際戦略方針に基づくアクションプラン

【県立大学】

(概要)

2019年の「国際戦略方針」に基づき、2020年には教育、研究、環境の3領域に跨る10項目のアクション対象分野を設定し、計41の活動から成る「アクションプラン」を公開しました。2024年度は、関連するアクションに取り組むとともに、アクションプランの6年間の達成状況に関する検証をおこないました。

(1) 海外留学と異文化間教育の活性化（教育）

- I 異文化共感力を高めるための学内教育
- II 多様な文化的背景をもつ学生の受入と教育支援
- III 違いを認め合い国際平和に資する異文化間教育
- IV 充実した留学を実現するための体制

(2) 専門分野を横断する国際的研究への挑戦（研究）

- V 国際学術交流の新展開
- VI 国境を越え専門を横断する研究体制
- VII 地域と共に生み出す多文化共生社会

(3) さらなる国際化を目指す大学づくり（環境）

- VIII 教職員の国際化とグローバル社会への対応能力
- IX 魅力ある大学国際戦略の策定と実行
- X 異文化間交流のための学内環境整備

（国際戦略方針に基づく2024年度の取組内容）

（1）海外留学と異文化間教育の活性化【教育】

特筆すべき取り組みとして、Iにおいては、フィールド実習のシミュレーションとして、国内パイロットプログラム実習（名古屋国際学園）および海外パイロットプログラム（ガジャマダ大学）を実施しました。IIに関しては、留学生対象科目において必修科目と選択科目の区別を廃止し、留学生のニーズに応じた柔軟な履修計画の策定が可能となりました。IVにおいては、新たに協定を締結したラプラプセブ国際大学（フィリピン）を夏期ショートプログラムの派遣先とし、英語研修を実施しました。このように、海外留学および異文化間教育の活性化に関する取り組みは、大きく前進しています。

（2）専門分野を横断する国際的研究への挑戦【研究】

特筆すべき取り組みとして、Vにおいては、教育福祉学部とサンティアゴ・デ・コンポステーラ大学との間で、教育・研究スタッフの交換に関する具体的な合意書を取り交わしました。また、看護学部においては、ナワミンタラティラート大学看護学部創立70周年記念シンポジウムにて、本学の看護教員が研究発表を行いました。VIでは、グローバル学術交流事業の一環として、スペインの研究者を招いた学術講演会を開催しました。VIIに関しては、RMIT大学、オーストラリア国家通訳認定機関（NAATTI）、愛知県等と連携し、「制度としてのコミュニティ通訳」に関する国際シンポジウムを開催しました。これらの取り組みにより、国際的な研究活動は大きく前進しています。

(3) さらなる国際化を目指す大学づくり【環境】

IXにおいては、新たに RMIT 大学、IMT アトランティック大学との包括協定を締結しました。Xでは、アクションプランの評価作業を実施するとともに、新たな国際戦略方針の策定に取り組みました。また、これまでの国際戦略に関わる課題解決を目的として、新たに「国際連携室（仮称）」の設置を決定しました。IXでは、留学経験者と留学希望者との交流を目的とした「留学相談ウィーク」や交流会を実施しました。このように、国際化を目指す大学づくりに関する取り組みは、着実に前進しています。

13. 名古屋工業大学との「アートフルキャンパス構想」

【芸術大学】

(概要)

本学は、名古屋工業大学と「アートフルキャンパス構想」を共創し、2021年度から「F+Project -御器所が丘にアートの風を-」と題したアートプロジェクトを実施しており、2022年4月に包括的連携に関する協定書を締結しました。

本構想は、名古屋工業大学において、『心で工学』のプラットフォームとしてのキャンパスづくりの一環として、アートによる風をキャンパス内に取り入れ、芸術に親しむことによって、学生及び教職員の豊かな感性を育む「アートフルキャンパス構想」と、愛知県立芸術大学による、現代の多様化した芸術表現が、社会とふれあう機会をより多く創出させたいという願いが一致して実現したものです。

(内容)

(1) 「F+ART」プロジェクトにおいて、名古屋工業大学のキャンパスに5点の作品（絵画、彫刻、写真、インсталレーション等）を設置。



(2) 「F+AIR」プロジェクトにおいて、名工大で滞在型制作を行うアーティスト（本学卒業生）による芸術体験ワークショップ及びアーティストトークと作品鑑賞ツアーを実施した。



(3) 「F+LAB」プロジェクトとして、陶磁専攻佐藤研究室と名工大の情報工学研究室との共同研究の成果発表として、名工大 F+GALLERY および本学サテライトギャラリー SA・KURA において成果展示と VR 体験ワークショップを開催した。

(4) 本学音楽学部教員が名古屋工業大学講堂 NITech Hall において、サウンドパフォーマンス特別公演「ゾンビ音楽（対象：名工大学生・教職員）」を開催。また、自動演奏ピアノを活用した公開レコーディング「音楽の風 I」を開催した。

14. 領域を超えた授業科目の連携（異分野のコラボレーション教育）

【芸術大学】

（内 容）

各専攻の明快な特色に基づく実技・専門教育による魅力ある学部教育推進を目的として、美術学部と音楽学部の学生が合同で課題に取り組む授業を新たに実施することとし、美術学部陶磁専攻芸術表現コースと音楽学部作曲専攻作曲コースによる、合同授業を2021年度に引き続き実施しました。2022年度は上記両専攻に加えて、芸術学専攻、メディア専攻も指導に参加し合同授業内容が更に充実したものとなりました。2023年度には、新たにメディア映像専攻のアニメーションと作曲コースの合同授業について検討を開始しました。2024年度は、「本」をテーマに両専攻の混合グループごとに作品を制作し、音楽作品については演奏会を開催しました。

本学では、美術学部と音楽学部を併せ持つ総合芸術大学としての強みを生かし、美術と音楽の複合芸術プロジェクトとしてオペラ公演に注力し、本学の明快な特色に基づく実技・専門教育を実施してきました。その特色をさらに深化・強化させるための取り組みとして、各学部の必修授業において、2か月にわたる合同制作授業を実施することとし、美術と音楽の垣根を超えた異分野のコラボレーション教育を実施しています。

授業科目	美術学部：陶磁実技 III（担当：長井千春教授） 音楽学部：作曲理論 IIIB（担当：成本理香教授）
開講時期	2024年度後期（11月～12月）
対象年次	3年
授業目的・ 到達目標	（授業目的）専門分野を超えた創作のコラボレーションを経験する （到達目標）各専門分野の創作に新たなアプローチ法や視座の獲得を目指す
授業内容	<ul style="list-style-type: none">まず、授業期間のプレ授業として前期7月に両専攻の学生が集まりグループ分けをし、各学生がこの日までに選んできた本（文庫または新書）の内容についてプレゼンテーションを行い、各グループで1冊の本を選定。陶磁専攻と作曲専攻に関する基礎講義を担当教員が実施。7月に選んだ本の内容にインスピアされた作品を両専攻コースの学生それぞれが制作、第1回目の各グループの作品発表と作品に関するプレゼンテーションを行う。続いて、同グループの陶磁学生と作曲学生が、互いの作品からインスピレーションを獲得し、または自作品の完成度をさらに深め、高め合うという形でそれぞれ2作品目を制作。2回の作品発表の機会を持ち、両専攻コース教員からの講評を実施。作曲コース安野太郎准教授による「音と芸術美術」に関する講義と輻輳を用いたワークショップを実施。作曲学生により成果作品発表のための計画、広報プランの立案、成果作品の発表演奏会の実施。
成果発表	陶磁学生の作品成果は、神戸財団受託事業に絡め「book and work 陶磁教育・作品交流展」として代官山蔦屋書店において展覧会を開催。2025年4月に作曲コースの成果発表として、タイトル『レソナンシア/ResonciaIV』のもとで成果発表演奏会を開催。

15. アーティスト・イン・レジデンス及び外国人客員教員による事業

【芸術大学】

(目的)

アーティスト・イン・レジデンスは、国内外の著名なアーティスト等の滞在型招聘により、本学の学生・教職員と交流事業を実施し、本学の国際化、芸術創造能力の向上を図ることによって、広く国際交流・文化振興に寄与することを目的とし 2007 年度より実施しています。2024 年度は、3 名のアーティストを招聘しました。

国際交流事業としては、2 企画採択しました。協定校である国立ソウル科学技術大学校より、8 月に教員、学生等が来学し、両大学教員による講演会、両大学学生による作品の講評会、今後の交流に関する会議、交流会を実施したほか、両大学学生の作品を、芸術資料館にて展示しました。11 月には、エストニア芸術アカデミーより、ルチア・ムルズヤク氏を招へいし、エストニアのアニメーション上映会を開催したほか、メディア映像専攻学生対象に、映像制作のワークショップを実施しました。

外国人客員教員による事業は、複数名の演奏家や作曲家を外国人客員教授として長期（2 年間）または短期（2～6 ヶ月間）で招聘し、授業や交流事業を実施することで、世界水準を肌で感じられる音楽教育を行うことを目的としています。

(1) アーティスト・イン・レジデンス

- ・北條知子（学外公募・サウンドアーティスト）

招聘期間：2024 年 6 月 17 日～2024 年 7 月 22 日

- ・アンドレアス・純・ヤンケ（チューリッヒ芸術大学教授・チューリッヒ・トーンハレ管弦楽団コンサートマスター）

招聘期間：2024 年 10 月 3 日～2024 年 10 月 12 日

- ・ファン・レイ教授（北京中央音楽学院教授・クラリネット奏者）

招聘期間：2024 年 11 月 12 日～2024 年 11 月 22 日

2) 外国人客員教員（音楽分野 4 名）

- ・イリーナ・チュコフスカヤ（ピアノコース）

雇用期間：2023 年 4 月 1 日～2025 年 3 月 31 日（2019 年度より継続）

- ・フェデリコ・アゴスティーニ（弦楽器コース）

雇用期間：2023 年 4 月 1 日～2025 年 3 月 31 日（2019 年度より継続）

- ・アンドリアン・ペルトー（作曲コース）

雇用期間：2024 年 5 月 7 日～2024 年 8 月 2 日

- ・イサオ・ナカムラ（管打楽器コース）

雇用期間：2024 年 11 月 7 日～2025 年 1 月 31 日

(3) 外国人客員教員による特別講座等

フェデリコ・アゴスティーニ教授

- ・芸術講座「レクチャーコンサート　さまざまな時代の弦楽四重奏曲を聴く」

- ・芸術講座「レクチャーコンサート　室内楽の響演Ⅱ vol. 1」

イサオ・ナカムラ教授

- ・芸術講座「2024 愛知パーカッション・フェア」

16. アウトリーチプロジェクト

(内 容)

本プロジェクトは、芸術を必要としているながらホールや美術館に足を運ぶことが困難な方たちの元へ芸術家が出向いてアートを届ける活動のうち、届け先を病院に絞った「病院アウトリーチ」を実践するもので、本学の音楽・美術の両大学院生を対象に病院における良質な芸術活動に関するアーティストを育成します。

大学院音楽研究科「アート・マネジメント」、美術研究科「プロジェクト研究」の授業を拡大し、病院における芸術活動に特化した音美合同の講座を2017年度より開設しています。受講生は、前期でアウトリーチの特色である対象者とのコミュニケーションに基づいた企画の実践として、子供向けアウトリーチを保育園や児童館等で行った後、後期で病院に特化したアウトリーチに関して理論と実習を通じてノウハウを学ぶことにより、「自ら企画し、実践できる」スキルを身に付けます。

医療における芸術活動は、必要性は認識されながらもいまだにノウハウが確立していません。本学においてそれに関わる芸術家が育成されることで、愛知県はもとより、日本全体にとって大きな成果が生まれることが期待されます。

また、本プロジェクトでは病院アウトリーチを行うアーティストの育成にとどまらず、病院における芸術活動に関する調査・研究を行うとともに、芸術による地域貢献も視野に入れた活動です。2019年度は、藤田医科大学病院において、従来の1階でのコンサートに加えて小児病棟でのコンサートを開始したほか、強い希望のあった名城病院や白山リハビリテーション病院、障害者支援等を行う施設などに活動の場を広げ、訪問先の患者に合わせたプログラムを検討して実施するなど、それぞれの病院の特性やニーズに合わせた取組を行いました。また、このプロジェクトが芸術教育自体に新たな可能性を開くものであることを提示する目的で、7月にシンポジウム「芸術教育の新たな可能性～愛知芸大「病院アウトリーチプロジェクト」がめざすもの」を開催し、本プロジェクトの今後の道筋を社会に問いかける機会を作りました。

2020年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で病院では実施できませんでしたが、保育園において実施しました。また、各施設で視聴してもらうための演奏動画を試作しました。

本プロジェクトで学んだ学生たちは、アール・ブリュットの演奏会などでその知見を活かした活躍をしています。

2021年度も病院に訪問しての演奏はできませんでしたが、藤田医科大学に対しては、動画配信により音楽を届けたほか、東部保育園及び社会福祉施設、障害者支援施設等に訪問しての演奏会を実施しました。また、あいちアール・ブリュットと連携して、10月にアール・ブリュット障害者アーツ展でコンサートを実施しました。さらに、東京藝術大学からの受託事業で「だれでもピアノ」のファシリテーターによるレッスンを実施しました。そのほか、愛知県立大学ICTテクノポリス研究所との連携による「音楽の感情測定プロジェクト」にも関わることができました。

本プロジェクトで学んだ学生たちは、アール・ブリュットの演奏会などでその知見を活かした活躍をしています。

2022年度は、東部保育園、豊田西病院、よつ葉の家に訪問して演奏会を実施しました。保育園だけではなく、精神科病院と障害者支援施設での実践を行いました。「病院アウトリーチプロジ

エクト」が医療分野を主眼に置きながらも、福祉分野への発展性をもつことを強く意識した一年であったと言えます。

2023年度は、尾張旭市立東部保育園、武豊町立北保育園、藤田医科大学病院、豊田西病院に訪問して演奏会を実施しました。今期、藤田医科大学病院の演奏場所が病棟内パーセージュから「フジタモール」横イベントペースに変更になり、音響もよく良い環境で行うことができました。

2024年度は、病院アウトリーチプロジェクトが始まって以降最多の20名が履修し、学生からの関心の高さが関心の高さが窺えました。前期は5か所の保育園で6回、後期は2か所の病院で7回の実践を行いました。病院アウトリーチプロジェクトには演奏依頼もあり、本プロジェクトの卒業生が福祉分野でも活躍できました。

【2024年度のアウトリーチプロジェクト実践場所一覧】

(1) 保育園

尾張旭市立東部保育園

武豊町立北保育園

社会福祉法人てとろ北保育園

社会福祉法人てとろ大永寺保育園

社会福祉法人ウィズ ALL4KIDS ナーサリースクール長久手

(2) 病院

藤田医科大学病院

豊田西病院

17. 美術学部デザイン・工芸科メディア映像専攻

【芸術大学】

(概要)

2022年度に新たに開設したメディア映像専攻は、現代社会のコミュニケーションツールとなっているメディア映像や先端的な技術をベースとしたデザイン・芸術にアプローチし、新たなメディア映像表現を開拓することに挑戦します。

このことを実現するため、これまでの芸術の枠にとらわれずに分野・領域を柔軟に横断する独自の少人数教育でカリキュラムは構成されています。

学生は、メディア映像のスペシャリストになるための基礎的デザイン造形力を習得し、デジタル映像やアニメーションの制作技術、CGを利用したVFX・ARコンテンツデザインなどを始めとする、ポストブロードキャストを視野においていたメディア映像表現の可能性を追求していきます。

さらに、デジタルアート&エンタテイメント・デザインとしてのメディア企画、アドバタイジングデザイン、メディアアート、デジタルアーカイブ、メディア映像文化研究など、新時代のアクティビティの多様性を学びます。

このように高度に情報化した社会に対するプロデュース能力を身につけていくことによって、様々な映像やメディアを通じた表現を新たなイメージで創造できるデザイナーやアーティストの育成をめざしています。

そして、最新情報を取り入れた質の高い教員を展開するため、2024年度は、国内の著名なアーティストである以下の5名を「特任教授」として招聘しました。

関口敦仁先生 (CG表現・デジタルアーカイブ)

石橋素先生 (テクノロジーアート、ハードウェア開発)

菅野創先生 (メディアアート表現)

比嘉了先生 (CG表現研究、ビジュアルアート)

堤幸彦先生 (演出家、映画監督)

[現行]

学科	専攻
デザイン・工芸科	デザイン専攻 〔入学定員 35人 (140人)〕
〔入学定員 45人 (180人)〕	陶磁専攻 〔入学定員 10人 (40人)〕

[2022年度～]

専攻
デザイン専攻 〔入学定員 25人 (100人)〕
メディア映像専攻 〔入学定員 10人 (40人)〕

専攻の
新設
→

※()内は収容定員

18. 芸術大学におけるキャリア支援

【芸術大学】

(概要)

近年の芸術学生は、卒業後すぐに自立を目指す傾向が強く、就職希望者が急増していることから、大学におけるキャリア支援の重要性が高まっています。

本学では、学生それぞれが学ぶ芸術の専門分野を活かして就職活動を進められるよう、独自に企画したガイダンスの開催等により学生を支援し、高い就職率を達成しています（2024 年度実績：就職内定率 92.2%）

また、アーティスト/クリエイター志望者へのキャリア支援として弁護士による「著作権セミナー」や公認会計士による「確定申告講座」を実施しています。

(実施状況)

キャリア支援講座：53 回実施（ガイダンス等 25 回、学内企業説明会 28 回）

（2023 年度 45 回実施 ガイダンス等 23 回、学内企業説明会 22 回実施）

ガイダンスの種類	内 容
キャリア支援 ガイダンス・講座 (25 回)	キャリアガイダンス～卒業後に必要なお金の話～ 就活準備スタートアップガイダンス、 インターンシップガイダンス、 ポートフォリオ作成講座 自己分析/職業適性検査、 筆記試験 (SPI) 美術学部内定者との就活座談会（全学部・デザイン専攻単独） 若手卒業生との交流会 エントリーシート/履歴書書き方対策講座 ポートフォリオアドバイス会 美大/芸大合同～生成 AI がアシスト！強み発見講座 芸術学生のための合同企業説明会 卒業/修了直前 進路変更&就活継続者説明会 アーティスト/クリエイター支援 著作権セミナー アーティスト/クリエイター支援 確定申告講座 アーティスト/クリエイター支援 JASRAC 委託管理講座 アーティスト支援 自衛隊浜松基地（音楽隊）見学
学内企業説明会 (28 回)	愛知県教育委員会、名古屋市教育委員会、千葉県教育委員会、 自衛隊音楽隊、コクヨ、任天堂、1 up スタジオ、シャープ、パソナ、 キャノン、東芝テック、サイゲームス、サイバーエージェント、 (株)豊田自動織機、富士フィルムビジネスイノベーション、 日産自動車、ヤンマー、カプコン、リクルート、コロプラ、 TBS アクト、オリバー、コンセント、エイチーム、ぺんてる

19. 教員による芸術・研究活動の主な実績

【芸術大学】

<美術学部>

氏名	業績
清水 由朗	再興第 109 回院展「昂」出品、第 80 回春の院展出品
井手 康人	春の院展出品
岡田 真治	<ul style="list-style-type: none"> ・第 79 回春の院展（名古屋松坂屋、日本橋三越） ・第 9 回湧心会（富山大和）、 ・第 13 回名美アートアリウム青美展（名古屋美術俱楽部） ・日本画の極みを求めて（平野美術館）たつのこフェス（名鉄百貨店） ・個展（日本橋三越、あべのハルカス）
吉村 佳洋	<ul style="list-style-type: none"> ・リヴィエール（創英ギャラリー・銀座） ・湧心の会（富山大和） ・院展 8 月青美展（名古屋美術俱楽部） ・春の院展 2 月 ・日比科学技術振興財団 研究助成
岩永 てるみ	<p>日本画創作研究を行い、下記展覧会に出品する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高知和紙日本画展晴晴会（大丸高知店・神戸店・松坂屋名古屋店・東京店 7 月～10 月） ・再興院展（東京都美術館他）、・春の院展（日本橋三越他 3 月） ・風景のいま展（銀座ギャラリー和田/7 月） ・個展（日本橋三越、松坂屋、大丸） <p>古典絵画の研究を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文化財保存修復研究所の活動と研究を積極的に進める。 ・科研研究「中世大画面祭礼図の構図法の研究－月次祭礼図屏風模本の失われた左隻の推定を中心に－」（代表者）及び阪野智啓准教授の科研研究にも参加し研究を行う。
阪野 智啓	<ul style="list-style-type: none"> ・日本画制作活動 ・科研／基盤研究B「中世やまと絵」の研究遂行（代表） ・科研／基盤研究C「月次祭礼図」の研究遂行（分担） ・科研／基盤研究C「芸術教育」の研究協力（分担） ・科研／基盤研究A「和紙データサイエンス」（分担） ・科研／基盤研究B「文化としての武」（復元画協力） ・第46回文化財保存修復学会口頭発表・紀要54号論文投稿 ・文化財保存修復研究所年報第5号作成・金沢金箔伝統技術保存会との共同研究 ・東京大学「長篠合戦図屏風復元研究」研究員 ・愛知県立大学「人間の尊厳と生命のための人文社会研究所」研究員
倉地 久	<p>○個展</p> <p>HIASASHI KURACHI SORO exhibition 「Bipedalism—二足歩行」（万画廊 YOROZU GALLERY） 「Quadrupedalism」（Galleria Finarte ガレリア フィナルテ） ・2024 台湾国際版画ビエンナーレファイナリスト（台湾国立美術館・台北）</p> <p>○グループ展</p> <p>日本×台湾の国際交流展「版画黒潮」（台南美術館）</p> <p>○台南市美術館作品収蔵</p> <p>一般社団法人日本版画協会第 91 回版画展（東京都美術館）</p> <p>○学生展覧会企画参画</p> <p>インダイレクト展（GALERIE LaPaix ガルリラペ）</p>
額田 宣彦	<p>研究テーマ「絵画の可能性」3～200 号 10～30 点、他ドローイング等制作。</p> <p>展覧会「ひらいてむすんで」岡崎市美術博物館、個展ハギワラプロジェクト（東京）、美術学部教員展/芸術資料館（愛知）</p>
井出 創太郎	<p>『落石計画』第 14 期—霧界 Unbound—（旧落石無線送信局/北海道根室市落石西）</p> <p>『教員展』（愛知県立芸術大学資料館/愛知県）</p> <p>『光射す器/種蔵の影 2024』（種蔵集落/岐阜県飛騨市宮川町種蔵）</p>
高橋 信行	<p>個展『絵になる景色』ベイスギャラリー（東京）</p> <p>ゼミでのグループ展（市民ギャラリー矢田）</p>
増田 直人	<p>個展（栄、ハセガワアート）研究発表</p> <p>第 98 回国展（新国立美術館）、第 98 回国展名古屋展（愛知県立美術館）中日新聞挿絵掲載</p>

	第 62 回記念中部国展(愛知県立美術館) 中日新聞挿絵掲載 美術学部教員展(芸術資料館)、第 30 回北陸国展(石川県立美術館) 年始め 2025 年展(ギャラリーくさ笛)、第 16 回私のマチエール展(ギャラリー綾)
大崎 宣之	<p>〈展覧会・作品発表〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「Mit allen Wassern gewaschen-すべては水であらわれる」 MIKIKO SATO GALLERY Temporary(ハンブルク) ・第 49 回愛知県立芸術大学教員展 愛知県立芸術大学資料館 ・「DUO-Nobuyuki Osaki und Ken Matsubara」, MIKIKO SATO GALLERY(ハンブルク) ・「「忘年会-Bōnenkai」, MIKIKO SATO GALLERY Temporary (ハンブルク) <p>〈所属学会〉 「版画学会」</p> <p>〈イベント〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「SSK Open Studio 2024」スタジオ内展示、イベント：大崎のぶゆき-公開制作-, 7/19-21, Super Studio Kitakagaya (大阪) ・「SSK Open Studio 2024」※資料展示、 Super Studio Kitakagaya (大阪) <p>〈助成金〉 公益財団法人日東学術振興財団海外派遣助成採択</p> <p>〈リサーチ研究〉 第 60 回ヴェネチアビエンナーレにおける現代美術表現の調査研究</p>
猪狩 雅則	作品研究制作の充実。教員展への出品、研究展覧会 GROUND 3 の記録集の編集、自主企画展示への出品。
安藤 正子	<ul style="list-style-type: none"> ・「天王洲アートウィーク サマーショー」小山登美夫ギャラリ一天王洲/東京 ・「ART in MINO 土から生える 2024」多治見市、瑞浪市、土岐市 各会場/岐阜 ・「第 49 回美術学部教員展」愛知県立芸術大学 芸術資料館/愛知 ・Art Taipei Tomio Koyama Gallery/Taipei World Trade Center/ Taiwan. ・「川端龍子+高橋太郎コレクション ファンタジーの力」大田区立龍子記念館/東京
平川 祐樹	<ul style="list-style-type: none"> ・個展 ギャラリー・Standing Pine (東京) 新たな研究制作の方向性を提示する。 ・韓国・光州ビエンナーレ、Frieze Seoul を訪問し、現代アートの時勢に見識を深める。 ・Art ScienceMuseum (シンガポール) のグループ展に大型のインスタレーション作品を出品
横山 奈美	<ul style="list-style-type: none"> ・NANJO SELECTION vol.4 「広い空に/Big Sky Mind」 N&A art SITE ・ラインズ一意識に流れを合わせる 金沢 21 世紀美術館 ・L O V E ファッションー私を着替えるとき 京都国立近代美術館
田中 藍衣	<ul style="list-style-type: none"> ・「自己と他者によるコミュニケーションと絵画の関係について」の考察を進める。 ・2024 年 8 月、旧落石無線送信局/現 池田良二スタジオ (北海道根室市落石) にてグループ展「第 14 期落石計画 霧界/Unbound」を開催。 ・2025 年 1 月に愛知県立芸術大学サテライトギャラリー SA・KURA にて個展を開催。
高橋 伸行	<ul style="list-style-type: none"> ・瀬戸内国際芸術祭関連事業 ART SETOUTCHI、国立療養所大島青松園での取り組み {つながりの家} (カフェとギャラリー、ガイドツアーを連動させたプロジェクト) のディレクションを継続、通年で実施。 ・瀬戸内国際芸術祭 2025 に向けた新作のリサーチおよび制作。関連企画ワークショップの実施。 ・瀬戸内国際芸術祭でのプロジェクトの研究報告を一昨年に引き続いて執筆、もしくは能登半島地震における災害支援活動との連携プロジェクトについて、紀要に掲載予定。
竹内 孝和	<ul style="list-style-type: none"> ・ドイツのトリアー市にある Kunsthalle Trier での国際交流展 “Reizender” に招聘され、現地での滞在制作と展覧会を開催する。 <p>滞在制作：2024 年 9 月 2 日～9 月 27 日、展覧会：2024 年 9 月 28 日～10 月 27 日</p> <ul style="list-style-type: none"> ・芸術資料館で開催される教員展に出品 ・“International Invitation Exhibition of Color Works” (韓国) に出品
森北伸	自身の彫刻制作と絵画制作に対して、より深い表現を探る。 野外彫刻 1 点、木彫彫刻 3 点、絵画約 10 点、ドローイング多数を制作し、より深い表現を探った。
村尾 里奈	カラーステンレスによる彫刻作品の制作研究に取り組む。 ・鋼鉄の大型彫刻を野外彫刻とするための制作方法を研究する。前期にテストピースを制作し、パーツの作り方を研究する。 ・作品 Balcony シリーズの 2 つの中型作品をカラーステンレスの作品として完成させる。教員展で展示をする。
葉栗 里	木彫を軸とした作品制作を行う。 ○展覧会 ①ART TAICHUNG(台湾)、②日本無極限藝術博覽會 Infinity Japan(台湾) ③愛知県立芸術大学 第 49 回 美術学部教員展、④CBC が選ぶ新鋭作家展 (愛知) ⑤KOGEI art fair Kanazawa(金沢)、⑥第 10 回 日本彫刻コンクール入選者作品展 (兵庫)

	<p>⑦ONE ART TAIPEI (台湾) ○受賞 第10回 日本彫刻コンクール銅賞、●助成 日本芸術協会 奖学金 ○掲載 INTE-LLIGENCE 2025年1月号 vol.7 (フリーペーパー)</p>
迎 英里子	<ul style="list-style-type: none"> ・マンマンデーvol.1『マンマンデーカードダス』(ABAB UENO 4F) ・展覧会「土から生える'24 art in MINO」 会場: 軍需工場跡・地球回廊(瑞浪市) 中島醸造所(瑞浪市) 小山富士夫邸(土岐市) 下石工業組合(土岐市) 高田焼窯場(多治見市) ギャルリ百草(多治見市) ・展覧会「国際的非暴力展#W_INTER24」(京都市立芸術大学) ・個展「approach 13.2」(anonymous studio) 名古屋市 ・個展 ザ・トライアングル「approach 3.1」(京セラ美術館)
小西 信之	<p>欧米及び国内の現代アートの研究</p> <ul style="list-style-type: none"> ・欧米・アジア・国内のアートの情報の収集と研究 ・紀要に論文を投稿
本田 光子	<p>研究代表者 基盤C「光則・光起を中心とする近世土佐派絵師の基礎的研究」 研究分担者 基盤A「源氏文化ポータルを共有・活用した源氏絵の俯瞰的・創発的研究」代表者: 稲本万里子 基盤B「中世やまと絵屏風の光技法復元を中心とする総合的研究」代表者: 阪野智啓 基盤A「データサイエンスによる紙の道の解明—量的・質的調査とAI多面的解析に基づいて—」代表者: 柴崎幸次</p>
金子 智太郎	<p>戦後日本美術と音の結びつきを中心とする研究の継続。 資料調査にもとづく成果を学術論文、学会発表、調査報告、展覧会などのかたちで公開する。1970年代に焦点を合わせ、美術だけでなく同時代の音楽や音文化にも目を向ける。また、ジョナサン・スター『MP3』翻訳や地域の音文化をめぐる共同調査なども行う。</p>
柴崎 幸次	<ul style="list-style-type: none"> ・和紙素材の研究: 和紙工房の整備、芸大生のための和紙を作るプロジェクト ・「素材の現在(いま)を見て、未来を考える」などのプロジェクト、①小津和紙、②東京日本橋商工会、③コメダ珈琲店、④ホクト株式会社、⑤山口農園 ・東京小津和紙での展覧会開催 ・2024年、ウズベキスタンでのセミナー、展覧会の実施 ・科研費基盤A「データサイエンスによる紙の道の解明—量的・質的調査とAI多面的解析に基づいて—」の実施 ・サマルカンド紙、ミニアチュール関連研究の出版 ・科研費基盤C「創造能力を育成する”芸術と科学”による教育プログラムの実践的研究」 ・平和中島財団のアジア地域重点学術研究助成に関する研究 ・NYの日本ギャラリーでの展覧会
佐藤 直樹	<ul style="list-style-type: none"> ・デザイン研究1「グラフィックデザイン」タイポグラフィ・ロゴタイプ・VI/CI・ポスター・エディトリアル等のデザイン研究 ・デザイン研究2「オペラ舞台デザイン」オペラの舞台デザインアートディレクション ・デザイン研究3「大学のグラフィックデザイン」広報印刷物の制作、サインデザイン監修
本田 敬	<ul style="list-style-type: none"> ・外部(他大学、企業)との連携を積極的に行いながら、新しい領域と自分の研究分野の融合や、触発をはかる。 ・地場産業、就労支援施設との連携をはかり、製品デザイン開発分野で専門領域であるプロダクトデザインの研究を行う。
夏目 知道	<p>空間デザイン研究の実践</p> <ul style="list-style-type: none"> ・綾部別荘_アートディレクション&インテリアデザイン・嬉野新市庁舎_家具デザイン ・京都古民家_インテリアアリノベーションデザイン・M邸_インテリアコーディネーション ・A邸_インテリアコーディネーション
春田 登紀雄	<ul style="list-style-type: none"> ・アントレプレナーシップ教育の開発・運営: 競争的獲得資金EDGE-PRIME Initiative2024の研究を推進。県教育委員会とも連携し、公開ピッチを含む高校生向けアントレ教育を夏/冬の講座を2件開講(参加: 36名 12校) ・共同研究(3件): 生分解性樹脂を活用しサーキュラーエコノミーの事業企画及びデザイン(10点)を提案する ・研究発表: 紀要(1件)、展示会(3件)、国際シンポジウム口頭発表及び作品展示(1件)、講演会(3件)、レポートブック(2点)による研究成果の発表活動をおこなう ・海外連携: パリのビジネススクールの教員・学生に向けてアイディエーションプログラムを開発し、ビジネス・商品企画を創出するワークショップを主催し成果の評価分析によって創造性教育の汎知化を検証する(2月)

望月 未来	業績名：わんの形 Part3 陶芸を中心に、ガラス・金属など、全国から集まった388名の作家による「わん」をテーマにした小品展に出品。
和 祐里	<ul style="list-style-type: none"> 研究プロジェクト「サインデザインにおける暗示的表現の類型化およびそのデザイン手法確立に対する研究」において、事例調査ならびに、新たなサインデザインのプロトタイピングのための素材(=マテリアル)研究をおこなう。 大学構内のサイン計画について研究し、長寿命化計画に基づき実践する。
梅本 孝征	<ul style="list-style-type: none"> 研究テーマ 独自の色絵磁器を制作するための成形技法及び装飾技法の研究から発表活動(展覧会・公募展等)に繋がる制作をおこなう。 展覧会 <ul style="list-style-type: none"> 「梅本孝征の面白いカタチ展その2」工芸ギャラリー手児奈 「第84回瀬戸陶芸協会展」瀬戸信用金庫ギャラリーひまわり 「瀬戸信用金庫新収蔵作家作品展」瀬戸信用金庫アートギャラリー 「手児奈45周年企画展その1朝のテーブルの器展」工芸ギャラリー手児奈、 「小さなお皿展」瀬戸市観光案内所、「せともの祭秀作展」瀬戸蔵 「愛知県立芸術大学陶磁専攻教員展」瀬戸信用金庫アートギャラリー 「陶磁教育・作品交流展2025」代官山蔦屋書店 Anjin、 公募展 「第55回東海伝統工芸展」入選 愛知県芸術文化センター 研究 色絵流加彩技法における釉の研究
長井 千春	<ul style="list-style-type: none"> 「愛知県立芸術大学陶磁専攻教員展」瀬戸信用金庫アートギャラリー 「陶磁教育・作品交流展—book&work」代官山 蔦屋書店 Anjin 第49回愛知県立芸術大学美術学部教員展(芸術資料館)
崔 宰熏	<ul style="list-style-type: none"> 陶磁器デザインを中心に研究・制作、発表 <ul style="list-style-type: none"> 「リボーンクラフト展」・2024 京畿世界陶磁ビエンナーレ展(京畿生活陶磁美術館) 「book and work」展(蔦屋書店代官山2F Anjin)・「seed展 vol.7」に参画 第49回愛知県立芸術大学美術学部教員展 出展 2024.10
田上 知之介	<ul style="list-style-type: none"> 日本デザイン学会 教育成果集寄稿 リボーンクラフト展(ノリタケの森ギャラリー) 第49回愛知県立芸術大学美術学部教員展出品 Book and Work 神戸財団「陶磁教育・作品交流展」出品(代官山T-SITE) 陶磁専攻教員展(瀬戸信用金庫アートギャラリー) 研究室グループ展「seed展 vol.7」企画・出品、研究報告書の作成(Gallery blanka)
佐藤 文子	<ul style="list-style-type: none"> ○研究テーマ <ul style="list-style-type: none"> 陶磁技法の研鑽と装飾表現の可能性を追求する。 陶磁原料と素材の可能性について調査研究を行う。 <助成研究活動> <ul style="list-style-type: none"> 日東学術振興財研究助成 研究テーマ: 陶芸制作技法をつかったワークショップの可能性~こどもを対象とした工芸教育と創作に有効な方法を探る ARTFUL CAMPUS F+LAB(美術) 研究テーマ: 陶芸素材が変化していく様子をデジタル技術を活用して可視化する (公社) 豊秋獎学会令和7年度研究費 研究テーマ: 灰を使った釉薬の可能性を探る—イシコールの再現実験と意匠研究— ○展覧会 <ul style="list-style-type: none"> 公募展: 「第55回東海伝統工芸展」愛知県美術館ギャラリー8階G室 企画展: 「第84回瀬戸陶芸協会展」瀬戸信用金庫本店ギャラリーひまわり ○学会活動・東洋陶磁学会・日本美術教育学会 東洋陶磁学会: ポスター発表: 「ウズベキスタンのやきもの-塩基性植物による灰釉の再現実験研究-」東京大学本郷キャンパス ○共同研究—(株)中部リサイクル「石材を活かした新製品開発」
小枝 真人	<ul style="list-style-type: none"> ○研究テーマ <ul style="list-style-type: none"> 陶磁技法の研鑽と装飾表現(染付)の可能性を追求する。 陶磁原料と素材の可能性について調査実験を行う。 ○展覧会 <ul style="list-style-type: none"> 公募展: 第55回東海伝統工芸展、第50回静岡工芸会展(静岡朝日テレビ賞受賞) ○グループ展 <ul style="list-style-type: none"> 「第13回名美アートアリウム 青美展」(名古屋美術俱楽部) 「ぐい呑展(ギャラリー数寄)、2024酒器展(三越日本橋本店、福岡三越) 愛知県立芸術大学陶磁専攻教員展(瀬戸信用金庫アートギャラリー) Book and work 神戸財団「陶磁教育・作品交流展」(代官山蔦屋書店) 個展 染付小枝真人展(日本橋三越)

森 真弓	<ul style="list-style-type: none"> ・メディア企画研究・共鳴 (Kyo-mei) プロジェクト、「愛知パーカッションフェア2024」 ・COI-NEXT マイモビリティ共創拠点 課題4 ・日本映像学会、日本デザイン学会
有持 旭	<ul style="list-style-type: none"> ・現代アニメーション研究の国際会議「Animafest Scanner 11」(クロアチア) で、エストニア・アニメーション史の研究発表を行う。(鹿島美術財団助成) ・日本アニメーション学会(佐賀大学)で研究発表を行う。 ・科研費基盤C「シュルレアリスム芸術におけるアニメーションの受容とその適用」の分担者として研究を行う。 ・科研費基盤C(研究代表者)研究成果報告書を作成する。 ・韓国の企業と共同で進行しているLED-ART作品の制作を行う。 ・イエール大学の助成で進めているアニメーション作品と論文の完成を目指す。 ・日東学術振興財団から受けた研究助成の成果報告をまとめる。
池田 泰敬	<p>作品上映 1 [イメージフォーラムシネママーク]NO. 1078 前田真二郎×芹沢洋一郎「映像から見えるもの」(2025年3月1日-3月2日/イメージフォーラム)にて自作 BETWEEN YESTERDAY & TOMORROW #3 Hanging in midair(2012), #5Ghosts(2021)の上映が行われた</p> <p>作品上映 2 [Experimental Film Culture in Japan] (ポレポレ東中野/2025年3月21日) Experimental Film Culture in Japanが主催する上映会にて自作品の特集上映が行われた (上映作:7X7(2004), 3Portraits&June night(2009-2014), 《埋没する3つのbluesに捧げるcondensed music》ビデオドキュメント(2012))</p> <p>展覧会 [glow - in practice] (2024年11月29日-12月11日/新宿眼科画廊) 作品アーカイヴに関連する研究プロジェクトの成果を展示</p> <p>上映会企画 [ドキュメンタリースタディーズ vol.3] (鴨江アートセンター/2024年9月) 現代ドキュメンタリー映画表現の中から主にアジアや中東、南米の短編・中編を中心に紹介するプログラムを企画し実施した。</p> <p>研究プロジェクト 1 ・「鑑賞者主観情報と時空間データによるVRアーカイブシステムの開発」(23K00238) 2023-2027年度(研究代表)</p> <p>研究プロジェクト 2 3Dスキャニング技術を応用した<3Dデータレコーダー>と異種データを統合して閲覧する<タイムベーストレー タビューワー>を用いたアーカイブシステムの運用と記録資料の検証 (2023年度日東学術振興財団採択研究 研究代表)</p> <p>研究プロジェクト 3 共創の場形成支援プログラム(COI-NEXT) 地域共創分野 地域を次世代につなぐマイモビリティ競争拠点 研究開発課題4(メンバー)</p>
八嶋 有司	<ul style="list-style-type: none"> ・日本感性工学会論文誌へ論文「Virtual Reality空間におけるWebページ内要素の立体的配置方法の検討」(共著)を投稿した。(学会誌に掲載予定) ・愛知県立芸術大学 第49回 美術学部教員展にて、新作の映像作品「存在と肖像へのアプローチ」を発表した。 ・展覧会「glow - in practice」(新宿眼科画廊)にて、授業/研究成果の発表を行なった。
清道 正嗣	<ul style="list-style-type: none"> ・結晶タンパク質の機能について研究を行う。・発光器の細胞・生理的な研究を行う。
石垣 享	<ul style="list-style-type: none"> ・学会発表(教育医学会大会、標準化学会全国大会、東海体育学会大会、生産管理学会) ・名古屋大学、豊橋市およびサーラ株式会社との産官学官連携共同研究に着手する。
数森 寛子	<p>19世紀フランス文学の研究を行い、論文を執筆・投稿する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・『Victor Hugo et la vision panthéiste』(立教大学紀要) ・『L'Esthétique de la rêverie : Promontorium somnii de Victor Hugo』(フランス国立科学研究中心Web雑誌) ・[書評] 稲垣直樹(著)『レ・ミゼラブル』包括論 世紀を超える神話創造』、平凡社、2023年(日本フランス語フランス文学会『cahier』, 2024年3月)。
<音楽学部>	
小林 聰	<p>○研究テーマ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ハープについて(歴史・構造・奏法)についての研究 ・フルートと弦楽オーケストラための新作の作曲・ピアノのための新作の作曲 <p>○作品発表</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ピアノのための新作初演・フルートと弦楽オーケストラための新作初演

	<ul style="list-style-type: none"> “Glass Swan” for Piano 再演・“Glass Swan” for Piano 再演 <p>○研究発表</p> <ul style="list-style-type: none"> ヘルシンキ大学での研究発表・イェーテボリ大学でのセミナー
山本 裕之	<p>○作品発表（演奏）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・チェロのための作品（初演：浦安音楽ホール、永生寺蔵ホール（江南市）） ・フルート、ヴィオラ、ハープのための作品 ・7人編成のための作品（以上初演：杉並公会堂小ホール） ・バスクラリネットとヴィオラのための作品（改訂初演：杉並公会堂小ホール） ・バスクラリネットとアルトサクソフォンのための作品 ・チェロのための作品（以上再演：杉並公会堂小ホール） ・映像作品（初公開：杉並公会堂小ホール） ・吹奏楽のための作品（再演：まなみーる（岩見沢）、キタラホール（札幌）） ・ピアノトリオのための作品（初演：東京オペラシティ・リサイタルホール（東京）、フェニックスホール（大阪））
成本 理香	<p>○作曲活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ミニキーボードのための新作初演 ・電子キーボードによるアルバム収録（CD）のための新作作曲 <p>○研究活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昨年度まで行った「クロスジャンル（ジャンルの越境）」により生まれる音楽作品の研究を引き続き行う。特に、「一絃琴」についての研究を深める。
安野 太郎	<ul style="list-style-type: none"> ・永野伶実氏委嘱のバロック・フルートのための作曲 ・低音デュオのための委嘱作品作曲 ・逸脱する自動演奏楽器のための作曲、「ゾンビ音楽」を通して問う『音楽』についての研究、論文として結実。 ・山本裕之教授主催の音楽クラコ座において、音響として参加し、音響増幅を必要とするアコースティック音楽作品についての研究を深める。
安原 雅之	<ul style="list-style-type: none"> ・ロシア音楽研究を進める。 ・愛知ロシア音楽研究会の活動を通じて行うことができた。
東谷 譲	<p>前年度に引き続き、科研費の研究分担者として採択された研究については、成果を出せるよう地道に研究を進め、科研費をはじめとする外部競争的資金の獲得を目指す。</p> <p>継続的に行っている研究の成果として学術書籍の出版を準備しているが、この草稿を執筆する。</p>
七條 めぐみ	<ul style="list-style-type: none"> ・「大正時代の日本におけるドイツ軍捕虜の音楽活動」に関して、一次資料の分析と成果発表を行う。 ・「大正・戦前昭和期の名古屋の音楽文化」に関して、新聞記事の整理、分析を行い、音楽記事を検索できるデータベースの作成を進める。 ・「バロック時代の楽譜出版とオペラの伝播」に関して、博士論文にもとづく書籍の執筆を進める。
中巻 寛子	<p>【研究課題】日本における「イタリア古典歌曲」需要</p> <p>主要な研究課題のひとつとしている「イタリア古典歌曲」について、本年度は日本における需要を採り上げ、「イタリア古典歌曲」が今日のように、声楽初学者の誰もが歌う基本的な教材となった経過を明らかにし、学習者は「イタリア古典歌曲」から何を学ぶべきであるのかを再確認する。</p>
森川 栄子	<ul style="list-style-type: none"> ・主に現代の声楽作品の研究を深め、演奏活動を行う。 ・学内外の演奏活動を3件実施した。 ・コロナ禍での中断を経て昨年度再開した海外研修を引き続き実施した。 ・自己の演奏表現の充実を図るために、他の音楽家による演奏や作品発表の鑑賞も積極的に行う。
小原 啓楼	<ul style="list-style-type: none"> ・東京都 SaLaD 音楽祭 SaLaD スプリングコンサート 日比谷公園大音楽堂 指揮：下野竜也 管弦楽：東京都交響楽団 ・日本声楽発声学会第114回例会（演奏・発表） 東京藝術大学第6ホール ・東京フィルハーモニー定期演奏会「マクベス」演奏会形式 サントリーホール他 指揮：チヨンミュンフン ・郡山市政施行100周年公会堂等記念事業演奏会「ベートヴェン交響曲第9番」他 ・名古屋市民コーラス創立65周年記念演奏会ドヴォルザーク「レクイエム」指揮：下野竜也 管弦楽 名古屋フィルハーモニー交響楽団 ・郡山みんなで歌う第九の会第12回演奏会 ・兵庫芸術文化センター管弦楽団 第156回定期演奏会 マーラー「千人の交響曲」指揮：佐渡裕

初鹿野 剛	<p>【オペラへの出演】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・名古屋テアトロ管弦楽団《椿姫》（7/7、東海市芸術劇場） ・愛知県立芸術大学オペラ《フィガロの結婚》バルトロ役（12月、長久手市文化の家） <p>【コンサートへの出演】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・郡山市制施行100周年記念式典音楽祭（11月3日、福島県郡山市） 【音楽指導、合唱指導等】 ・大学オペラ《フィガロの結婚》副指揮、合唱指導等 ・こども愛知芸大における声楽ワークショップ指導
川島 幸子	<p>【演奏会等の出演】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・川島幸子・基 ジョイントリサイタル ・岐阜バッハ合唱団 マタイ受難曲 ソプラノソロ
森 寿美	<ul style="list-style-type: none"> ・第15回男声合唱団ゾンターク定期演奏会 指揮・独唱（奈良県） ・第25回 Toms Japan コンサート 藤原義久：女声合唱《「別れの時に」》独唱（名古屋市） ・文化の家【2024 おんぱく】ナビゲーター（長久手市） ・さかえ中日女声合唱団定期演奏会 コルネリウス：《ミサ ニ短調》独唱（名古屋市） ・レオンカヴァッソ：歌劇《道化師》トニオ役（江南市） ・シューベルト：《ハイネ歌曲集》ピアノ：出光世利子（大阪市） ・第39回三重音楽祭 ベートヴェン：《第九》三重フィル独唱（津市） ・武豊春の音楽祭 ベートヴェン：《第九》中部フィル 独唱
北住 淳	<ul style="list-style-type: none"> ・演奏技術と芸術表現の一層の練成を目指し、演奏の多様性と音楽表現の深化を心掛けた演奏活動・音楽活動を行う。 ・トリオの東京・名古屋・大阪・福岡での公演、岐阜での室内楽コンサートとセミナーに加え、本学芸術講座（退官記念演奏会）が好評を博し、専任としての最終年度を充実してとめた。
内本 久美	<ul style="list-style-type: none"> ・イタリアでの演奏会に複数回出演、CD録音を行う。 ・哲学と音楽の関連性に関する研究を継続的に行う。 ・演奏時の身体の弛緩と楽器の音色との関係性、技術の向上も併せ、複合的観点から研究を進める。 ・ヨーロッパの国立音楽院に於いて教鞭を執るピアノ教授と複数回の研究、意見交換の場を持ち、研究を深めた。
掛谷 勇三	<ul style="list-style-type: none"> ・セルゲイ・ラフマニノフ生誕150周年記念ピアノ独奏作品婉曲演奏会 Vol.4（全4回）の実施。 ピアノリサイタル開催（東京公演）「S.ラフマニノフ生誕150周年記念ピアノ独奏作品婉曲演奏会 Vol.4」ラフマニノフ：前奏曲 ニ短調 遺作／オリエンタル スケッチ／断章 遺作／ショパンの主題による22の変奏曲 作品22／練習曲集「音の絵」作品39／愛の悲しみ（クライスラー）／子守唄（チャイコフスキー）／V. R. のポルカ、の作品研究及び発表 ・ピアノリサイタル（岡山公演）の実施。 <p>シューマン：子供の情景 作品15／シューベルト：即興曲 D899 作品90 第3番 変ト長調・第4番 変イ長調／ドビュッシー：前奏曲集第1巻より 第8番「亞麻色の髪の乙女」／リムスキー＝コルサコフ（ラフマニノフ編曲）熊蜂の飛行／チャイコフスキー（ラフマニノフ編曲）子守唄／リスト：ラ・カンパネラ／ショパン：バラード第1番ト短調作品23、幻想ポロネーズ 作品61、スケルツォ 変ロ短調 作品31</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ヴァイオリンリサイタルで伴奏者として共演（尾張旭市文化会館）。 モーツアルト：ヴァイオリンソナタホ短調 K.304／シューベルト：ヴァイオリンソナタ／モンティ：チャルダッシュ 他
鈴木 謙一郎	<p>古典（モーツアルト、ハイドン等）における様式感と演奏法の研究。</p> <p>ロシア音楽におけるヴィルトオーザの演奏法の研究</p>
中尾 純	<ul style="list-style-type: none"> ・ベートーヴェン後期の大曲、ディアベッリ変奏曲を含む二大変奏曲によるピアノ・リサイタルを東京文化会館他3公演を開催する。 ・シューベルトの後期作品の演奏に関する調査研究。
武内 俊之	<ul style="list-style-type: none"> ・メインテーマとして、アンサンブル作品（室内楽及びリート作品）をめぐる諸相の研究を進め、公開演奏会にて発表した。
秋場 敬浩	<ul style="list-style-type: none"> ・国際音楽祭出演／第21回軽井沢国際音楽祭に出演、フランス、日本の演奏家たちと共に演。 ・愛知芸大芸術講座／R. シューマンの全3曲のヴァイオリンソナタの演奏とレクチャー（共演：小林美恵） ・海外でのリサイタル発表／コミタス博物館ホール（アルメニア、イエレヴァン）で、バッハ、ベートーヴェン、邦人およびアルメニアの作曲家の作品から成るプログラムでリサイタルを行う。KOGHB財団主催。

	<ul style="list-style-type: none"> ・ピアノトリオ演奏会／東京・トップホールにて、チャイコフスキイ、ババジャニアン等のトリオを演奏（共演：漆原啓子、D. フェイギン） ・楽譜出版／音楽之友社『ロシア・ピアノ小品集』（編纂、運指、解説執筆を担当）上梓。
福本 泰之	<ul style="list-style-type: none"> ・トリオF コンサート 長久手市文化の家風のホール ・蒲郡フィルハーモニー第 56 回定期演奏会（指揮者）蒲郡市民会館大ホール ・オーブンキャンパス弦楽合奏セミナー（指揮者） ・ザ・ストリングス名古屋第 26 回定期（2nd Vn 首席）電気文化会館ザ・コンサートホール ・長久手フォレ스트合奏団 長久手市文化の家風のホール ・第 57 回定期演奏会 学生との弦楽オーケストラ Va 出演 ・A. J. ヤンケ教授との室内楽コンサート 室内楽ホール ・大学オペラ「フィガロの結婚」 コンマス出演 ・弦楽合奏第 19 回定期演奏会（長久手公演） 指揮者出演 ・弦楽合奏第 19 回定期演奏会（豊田公演） 指揮者出演 ・室内楽の響演 II vol. 1 Va 出演 宗次ホール
白石 禮子	<ul style="list-style-type: none"> ・愛知芸大弦楽アンサンブル（2004 年に弦楽器コース教員が共同で立ち上げ以来継続） ・アーティストインレジデンス招聘アーティストとの共演 ・「室内楽の競演 2」シリーズ演奏会等
桐山 建志	<p>・ブルージュ国際古楽コンクール優勝 25 周年記念リサイタルシリーズを行う。</p> <p>・イタリアバロック音楽の歴史をたどる CD を制作する。</p> <p>主な演奏会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・TAMA 音楽フォーラム イタリアバロックの歴史 ・ポンポルティとバッハの協奏曲 第 1 回 ・生誕 280 年ブルネッティの弦楽四重奏曲 ・奏楽塾演奏会 ヴィヴァルディの四季 ・長野市交響楽団定期演奏会 (Beethoven Op. 61) ・ポンポルティとバッハの協奏曲 第 2 回
渡邊 玲雄	<ul style="list-style-type: none"> ・NHK 交響楽団第 2009 回定期演奏会 於 サントリーホール ・NHK 交響楽団第 128 回オーチャード定期演奏会 於 オーチャードホール ・N 韶ゴールデン・クラシック 2024 於 東京文化会館 ・山形交響楽団小学校音楽教室 於 村山市民会館 ・N 韶 Music Tomorrow 2024 於 東京オペラシティコンサートホール ・NHK 交響楽団第 2014 回定期演奏会 於 NHK ホール ・新潟シンフォニエッタ TOKI 第 3 回定期演奏会 於 りゅーとぴあ新潟市民芸術文化会館コンサートホール 他 ・ロームフェス 2024in 東京 於 紀尾井ホール ・アンサンブル of トウキョウ ソウル公演 於 IBK ホール ソウルアートセンター ・アンサンブル of トウキョウ 東京公演 於 東京文化会館小ホール ・こども愛知芸大 於 本学奏楽堂他 ・静岡富士山交響楽団第 12 回浜松国際ピアノコンクールオープニングコンサート 於 アクトシティ浜松 ・東京交響楽団フレッシュ名曲コンサート 於 立川市市民会館 ・新潟シンフォニエッタ TOKI 第 4 回定期演奏会 於 りゅーとぴあコンサートホール ・コントラバスリサイタル 於 東京（バッハ・ザール） 名古屋・電気文化会館 ・愛知県立芸術大学第 18 回弦楽定期演奏会 於 長久手市文化の家 ・NHK 交響楽団演奏会 於 みなとみらいホール、兵庫県立芸術文化センター、びわ湖ホール ・愛知県立芸術大学弦楽合奏演奏会豊田公演 於 豊田市コンサートホール ・ザ・オペラ・バンド東京 於 新国立劇場、室内楽の響演 於 宗次ホール
西谷 牧人	<ul style="list-style-type: none"> ・神戸ポートピアホールにて弦楽アンサンブル「石田組」公演 ・奈良東大寺大仏殿にて「ムジークフェストなら 2024」オープニングコンサート ・東京ムジカーザにて「橋高昌男・西谷牧人デュオ・リサイタル ・サントリーホール・ブルーローズにて「ヤーノシュ・シュタルケル生誕 100 周年チェロ・エスティバル」 ・日本武道館にて「石田組」公演、宗次ホールにて「トリオ・ジャパン」コンサート ・サントリーホール・ブルーローズにて国際チェロ大会 ・宗次ホールにて愛知県立芸術大学室内楽コンサート
深町 浩司	<ul style="list-style-type: none"> ・浜松国際管楽器アカデミー ワールド・ドリーム・ウインド・オーケストラを始め各公演に出演し、打楽器奏法実践研究および合奏法研究実践を行う。 ・第 151 回日本音響学会（2024 秋季）研究発表会において発表を行い、演奏家の立場から打楽器の音響と奏法を結び付けた研究成果の発表を行う。

倉田 寛	<ul style="list-style-type: none"> トロンボーンソロに於けるレパートリーの開拓（1月、12月横浜にて） 室内楽、金管アンサンブルレパートリー開拓（7月神奈川にて） 低音楽器オーケストラスタディーの充実（授業を通して） 声楽曲を生かし、金管楽器奏法の新たな充実をはかる（12月横浜にて） オーケストラの作品にも深く研究を進めていく（キリストマ祝祭管弦楽団等、TVでも放送） R6 学校における文化芸術鑑賞・体験推進事業（本学にて9月） こども愛知芸大（名古屋中ロータリークラブ&本学 10月） 台湾にてマスタークラス実施（11月）
橋本 岳人	オーケストラ演奏では、新日本フィルハーモニー交響楽団、ソウルフィルフィルハーモニー、愛知室内オーケストラ、大阪フィルハーモニー交響楽団他に首席客員奏者として招聘される他、多くの室内楽演奏会に参加。
ブルックス信雄 トーン	日本のプロオーケストラで演奏する：アンサンブル、大阪フィルハーモニー交響楽団、桐朋オーケストラアカデミー、グランドフィルはモニック東京など。
井上 圭	<ul style="list-style-type: none"> プロオーケストラに在籍するトランペット奏者との共同研究 各地のオーケストラに客演しレパートリーを拡充させる。・室内楽公演の開催。
三宮 敦生	<ul style="list-style-type: none"> ベイズ統計学全般について理解を深める。マルコフ連鎖モンテカルロ法まで理解する。 ベイズ統計学の認知心理学への応用についてリサーチする。
水野 留規	<ul style="list-style-type: none"> イタリア文学の叙事詩に関する研究と冊子の編集 紀要に掲載する翻訳の完成：10月に「詩に綴られた夢の十字軍、解放されたエルサレム」と題して、タッソの叙事詩を書籍にした。（簡易版であるが、日本語の全訳としては最初となる。完全版を2026年冬に出版予定。長年の翻訳作業の成果物として図書館にも寄贈した。）
大塚 直	<p>《劇作家ホルヴァート研究》 科研費による研究「劇作家エデン・フォン・ホルヴァートの初期社会劇とバイエルン革命の遺産」（課題番号：21K00419）を継続して行う。 日本の上演史におけるホルヴァート受容を考察する。</p>
井上 彩	<ul style="list-style-type: none"> ハワイ・クレオールにおける視覚的語彙認識（科研費助成事業 基盤C 21K00506） 6月と7月の国際学会で発表し、3月には国内学会の地区例会でも発表した。 日本語系混成言語研究（共同研究） メディアディスコース分析（複数の研究手法で生成系AI対応の言説を分析）（共同研究） 共著論文として学会誌に提出し、査読結果に応じて修正・校正をへて刊行された
三品 陽平	日本教師教育学会課題研究第2部会の研究会に参加し、教師教育学の学術的な基盤について検討する。

20. 企業、研究機関などとの連携、共同研究

【芸術大学】

<共同研究>

内容	共同研究者
繊維産業におけるサステイナブル領域での新事業振興	時田毛織(株)
サステイナブル事業における商品企画	関東プラスチック工業(株)
生分解性素材を活用した循環型社会の新生活様式に向けた トータルプランディング	(株)V&A Japan

<受託研究>

内容	研究者
「長久手合戦図屏風」模写制作	長久手市、徳川美術館、日本 画専攻教員、文化財保存修復 研究所
油彩画 寺崎武男《ヴェロネーゼ「レビィ家の饗宴」模写》の 修復	公益財団法人目黒区芸術文化 振興財団と油画専攻教員
須賀神社農村舞台襖絵欠失面の復元画制作	須賀神社と文化財保存修復研 究所、日本画専攻教員
【COI-NEXT】地域を次世代につなぐマイモビリティ共創拠 点	名古屋大学、東海大学、KDD I 総合研究所、KDDI 株式 会社、メディア映像専攻教員
絵画 16 点 岸本清子《春の七草》の修復	文化財保存修復研究所、油画 専攻教員
立体作品 高崎元尚《装置》の修復	文化財保存修復研究所、油画 専攻教員
油彩画 水谷清《北京風景》・服部保《水仙》の修復	文化財保存修復研究所、油画 専攻教員
スタートアップ・エコシステム形成支援	国立研究開発法人科学技術振 興機構、デザイン専攻教員
崇覚寺板戸絵の調査及び復元彩色	文化財保存修復研究所、日本 画専攻教員

＜企業、研究機関などとの連携＞

内容	連携
神戸財団から委託を受け、武蔵野美術大学とともに「book and work 神戸財団『陶磁教育・作品交流展』」を企画し、国内芸術大学陶磁専攻・陶磁学科の学生作品と教育に関する交流展を開催、11 大学 133 名の出展があった。	一般財団法人神戸財団（受託事業）
次世代を担う若手芸術家の発信発表の場を創出し、経済界と現代アートとの融合、停滞した経済への考え方を変革する新たな価値観を生み出す活動を実施。イノベーターズガレージ賞の受賞者の審査を行った。（2021 年度～4 回目）	中部圏イノベーション推進機構
Music in the GARAGE ! 受託事業 8 月と 12 月にコンサートを実施した。	中部圏イノベーション推進機構
中部電力が所有する地域共生施設（「メグラスガーデンナゴヤ」2026 年 4 月リニューアルオープン予定）に設置するガーデンオブジェ制作の依頼を受け、調査・プラン提示に引き続き、制作を行っている。	中部電力株式会社

21. アートラボあいち芸術大学連携プロジェクト

【芸術大学】

(概要)

あいちトリエンナーレが取り組んできた先鋭的な芸術の創造を継承し、発展させていくことを目指して設立されたアートラボあいちを拠点として、2016年より、愛知県立芸術大学、名古屋芸術大学、名古屋造形大学の県内3つの芸術大学による企画展示を行ってきました。2022年度からは、名古屋学芸大学が加わり4大学連携となりました。

各大学の境界を超えて、若いアーティストたちの飛躍を期待するものとして毎年展覧会を開催しています。

(1) 開催場所

アートラボあいち（大津橋）

(2) 企画内容

○2024年度大学連携プロジェクト 県芸・名芸・造形・学芸 夏休み連続講座

期間	2024年8月
内容	<p>連携大学の在学生と卒業生（10年以内）を対象に、美術・芸術の分野で活動していく上で知っておきたい、考えておきたいことなどに焦点を当てた講座を実施されました。4つのテーマ「活動の継続」「現代美術作品の保存」「作品の鑑賞」「社会と芸術」を設け、様々な分野の専門家からのレクチャーとディスカッションを通して、各自の目指すシーンで活用できる考え方を学びました。</p> <p>※本学からは卒業生1名（彫刻領域）参加。</p>

＜愛知県立芸術大学独自企画＞

○本学主催展覧会「Beyond A and Z」来場者数629名

期間	2024年7月12日～8月12日
内容	<p>近年の社会の中に見出される様々な分断や対立、不確実性を、若手アーティストたちの絵画、映像、インсталレーションによって表現する展覧会を開催。本学学生6名、教員1名が出品（企画：本学教員2名）</p> <p>個人と社会、自然と人間、ITと人間、倫理と資本主義、善と悪、等々を安定させていた既存のシステムが流動化する今、わたしたちは既知の価値観に安住する事はできない。…この分断と対立、価値の不確実化と流動化に向き合い、その向こうに自由なアートの再生の刹那を見出すことを目標に企画されたもの。</p>

22. あいちアール・ブリュット

【芸術大学】

(概要)

あいちアール・ブリュットとは、愛知県内の障害のある人の芸術・文化活動を通じて、障害のある方の社会参加と障害への理解が深まり、障害の有無をこえた交流が広がることを目指す活動です。

2024 年度は、美術学部については出前講座（陶芸）を実施しました。音楽学部においては、2024 年 9 月に障害者アーツ展におけるコンサートや、2024 年 12 月から 2025 年 3 月にかけ出前コンサートを実施しました。

(内容)

(1) 出前講座（陶芸）

実施日時：2024 年 12 月 3 日 13:00～15:30

2025 年 12 月 10 日 13:00～15:30

2025 年 1 月 21 日 13:00～16:00 (全 3 回)

実施場所：江南市布袋病院-デイケア風

実技指導：教員 1 名、大学院生 1 名

参加人数：17 名（スタッフ：4 名）

実施内容：「ねんどでつくるランプシェード-暮らしの中で楽しむあかり」

完成した作品は、2025 年 3 月開催「あいちアール・ブリュット優秀作品特別展」（愛知芸術文化センター12 階アートスペース G）の出前講座 作品展示にて披露。

(2) 障害者アーツ展 コンサート

・開催日時・場所

2024 年 9 月 13 日（金）13:00 開場 14:00 開演 名古屋市東文化小劇場

・内容

サクソフォン、ピアノ、パーカッションのトリオによるクラシックコンサート

(3) 出前コンサート

・開催日時・場所

2024 年 12 月 6 日（金）社会福祉法人アパティア福祉会 生活介護事業所パレット シンシア豊川

2024 年 12 月 10 日（火）社会福祉法人愛恵協会 多機能事業所てんじん

2023 年 12 月 24 日（火）社会福祉法人愛知県厚生事業団 愛厚藤川の里

2025 年 3 月 5 日（水）社会福祉法人憩の郷 地域活動支援センターおおぶ

23. 収蔵品展・収蔵品の他機関への貸出件数

【芸術大学】

(1) コレクション展

コレクション+ノットコレクション展 夢の中で

日時：2024年8月24日（土）～9月15日（日） 12:00～19:00

場所：サテライトギャラリーSA・KURA

＜概要＞

時間も空間も超えて現実との整合性なく展開する夢は、色彩を伴って脳内で映像として再生されるものの決して手の届かない意思も及ばない儘く不可侵なものであり、芸術家たちの創作にインスピレーションを与えてきました。本展では、作品の主題が夢であるかどうかは問わず、作品の全体やその一部の情景、色、形、雰囲気についていつかの夢で見たことがあるのではと思えるような、もしくはそれらが脳裏に焼き付いて今夜の夢で見てしまうのではと思えるような、そんな現実との間にどこか違和感のある作品を、本学の収蔵品だけでなく収蔵していない作品も交えながら展示しました。

＜主な展示作品＞

ベン・シャーン 《リルケ「マルテの手記」より 一行の詩のためには…<版画集>》 1968年
愛知県立芸術大学蔵

横山奈美 《アナタと私のラブゲーム》 2012年 愛知県立芸術大学蔵

関口敦仁 《トラバター》 1985年 作家蔵

浅野弥衛 《Untitled》 1966年 愛知県立芸術大学蔵

登山博文 《意識のスケール》 1994年 愛知県立芸術大学蔵

(2) コレクションの活用

つづきりょうこ個展「Layer」

日時：2024年5月11日（土）～6月2日（日） 12:00～19:00

場所：サテライトギャラリーSA・KURA

＜概要＞

2019年に本学大学院美術研究科油画・版画領域を修了したつづきりょうこによる個展。

つづきは、大学時代より、シルクスクリーンを用いて数ミクロンの色面が幾度も刷り重ねられることで「色」が物質として立ち現れるような絵画を制作してきました。今回の展示ではつづきが現在のスタイルになるきっかけとなった作品として、優秀作品賞を受賞して本学に収蔵された自身の修了制作を展示、そこから繋がる現在への流れとして最新作数点を展示しました。

(3) 収蔵品の他機関への貸出件数

なし（改修工事による収蔵品貸出の停止による）

※法隆寺金堂壁画模写展示館長寿命化工事 2023年7月～2024年6月）

24. サテライトギャラリー SA・KURA

【芸術大学】

(概要)

名古屋栄のサテライトギャラリー閉廊から1年9ヶ月を経て、2019年6月に栄北（オアシス21至近）に「サテライトギャラリーSA・KURA」を開廊しました。ギャラリーの名称には、大学の研究や教育成果をアピールする場所として、県民や市民の記憶に残り親しみやすい名称がふさわしいとの考え方や、地名である東桜の一文字を取り入れることで、地域や社会と連携する意図を込めています。

S=Satellite・サテライト

A=Aichi Art・愛知アート・AUA

KURA=蔵／研究や資料などの宝物を、ここから発信する拠点としての蔵

SA・KURA=東桜町の地名

2024年度のサテライトギャラリーSA・KURAは、全11の展覧会を開催しました。

<2024年度実施の展覧会一覧>

展示名称	日数	入場者数	一日平均
菅隆紀「HOGAN」	20	165	8
つづき りょうこ個展「Layer」	20	163	8
浅野典子「刹那の記憶」	19	109	6
アーティスト・イン・レジデンス 2024 北條知子「recordari」	8	135	17
コレクション+ノットコレクション展 夢の中で	20	197	10
石場文子個展「えいきゅうほぞんぶつ / permanent object」	20	133	7
A・FAM 展@NAF2024（第5回愛知県立芸術大学美術学部同窓会展）	21	286	14
織田真二個展 JOUSETSU3→#satellitegallerysakura	19	127	7
田中藍衣個展 共有地	20	377	19
博士学位論文・作品展	5	84	17
名古屋工業大学+愛知県立芸術大学 ARTFUL CAMPUS F+LAB（美術） 共創研究の成果展	6	52	9
合計	178	1828	10

25. 芸術大学におけるブランディング・知名度向上に向けた取組

【芸術大学】

(概要)

芸大のブランドや知名度のより一層の向上を目指すため、大学WebサイトやSNS等の情報発信ツールの充実を図り、教育研究、地域・社会貢献活動などに関する情報発信・広報を行っています。

(1) 大学Webサイトリニューアル

リニューアル後のウェブサイトは2023年3月31日に公開しました。グローバルメニューを5項目にし、第一階層から順番にウェブページが回遊できるよう、情報を探しやすいページ構成やスマートフォンやタブレット端末からもより利用しやすいサイトデザインに全面的に刷新しています。各専攻で管理している専攻サイトや各施設等のWebサイトも本学Webサイトへ統合しました。

ウェブサイトのデザインは、デザイン専攻春田登紀雄准教授が監修し、吉村順三氏が設計した本学のキャンパスをイメージし、新しいホームページにおける特徴的な蘇芳色（すおういろ）の枠は、本学の校舎の窓をモチーフとしています。

他大学等と差別化し、最新のデザインで本学らしいWebサイトの構築を目指し、リニューアル作業を行いました。

2023年度は、新コンテンツの開設や、改修に取り組みました。

新コンテンツとして、教員の「研究室ページ」を開設しました。本ページは、教員自ら、大学Webサイトにおいて自身の活動や各専攻のお知らせ等を発信することが可能となるもので、11月上旬に公開しました。また、「在学生の声」ページを設け、学生のインタビューや活動の様子を掲載しました。「活躍する卒業生・修了生」ページでは、紙媒体である大学案内より、情報量の制約がないことから、より多くの卒業・修了生のプロフィールや作品等を紹介しました。これらを通じ、より受験生はじめ多くの方のニーズに応えることができました。

リニューアル後の改修として、より利便性を向上させるため、イベント情報をカテゴリ別で検索できるようにしました。

2024年度は4月に英語ウェブサイトの大学概要のページ、8月に専攻・コースのページを公開しました。新たに、「社会連携／研究活動」「キャリア支援」のコンテンツの拡充を進めました。2025年以降、順次情報を掲載する予定です。ウェブサイトの視認性を高めるため、Webフォントの導入について検証を進めました。2025年度にWebフォントを導入予定です。

(2) 大学Webサイト・SNSによる情報発信

・大学Webサイト

掲載内容：大学の概要（専攻・コース案内、教員情報など）、

大学の主要行事（入学式・卒業式など）、

在学生・卒業生や教員の受賞・活動状況、展覧会・演奏会の案内など

アクセス件数：592,573件（2023年度：574,552件）

- Facebook

掲載内容：大学の主要行事（入学式・卒業式など）、
在学生・卒業生や教員の受賞・活動状況、展覧会・演奏会の案内など
アクセス数 14,151 件 リーチ数 221,473 人（2024/4/1～2025/3/31）

- X（旧 Twitter）（2018 年度より公式 SNS として運用開始）

掲載内容：大学の主要行事（入学式・卒業式など）、在学生・卒業生や教員の受賞・活動
状況、展覧会・演奏会の案内など
アクセス件数：571,974 件（2023 年度 762,919 件）

（3）全学広報会議

- 大学の広報方針、ブランディングの検討のため、6 月より全学広報会議を立ち上げ、6 回
開催しました。
- 大学広報に広く活用するため、コピーライティング（キャッチコピー等）を検討しました。
今後、大学案内や広報動画等に実装する予定です。

（4）広報動画制作について

- 大学公式 YouTube に運用方針を定め、運用を開始しました。これまでの動画掲載用として
の運用から、直接当該ページを閲覧されるものとして、掲載動画を整理し、見やすくしま
した。また、動画制作について、全学広報会議等で方針を検討し、3 月に大学のイメ
ージ動画を投稿しました。4 月に、広報委員長企画による広報動画を公開しました。

26. トップマネジメントによる予算配分

【法人運営】

2025 年度当初予算編成において、人件費や物価の上昇が見込まれるが、愛知県からの交付金による一部措置があり、収入も増加することとなった。事業費においては、前年度までの予算執行状況や費用対効果の検証を踏まえ、さらなる削減に努めることにより、トップマネジメントによる予算枠を 1.13% 確保し指標を達成した。

※参考：2025 年度当初予算については、第 4 期中期目標期間の新たな運営費交付金算定方法に基づき、収入が増える一方で、その収入増は人件費・物価（一部）の上昇に対する措置であるため、業務費は従来の規模とほぼ変わらない。第 4 期中期計画では、「事業費を 3 %以上削減し、重点事業費を確保する」という指標を設定しており、トップマネジメントにより年度途中に使途を決定する予算枠を 15,000 千円確保した。

[トップマネジメントによる事業費予算]

21,234 千円（業務費総額（人件費除く）1,873,289 千円の 1.13%）

県大・・・ 2,576 千円（大学裁量経費）

芸大・・・ 366 千円（大学裁量経費）

法人・・・ 18,292 千円（大学・法人政策経費 15,000 千円、2 大学連携等 3,292 千円）

2025年度

（単位:千円）

業務費総額(人件費除く)	※	※の割合	県大	※	芸大	※	事務局	※
1,873,289	21,234	1.13%	1,176,577	2,576	515,372	366	181,340	18,292

※…トップマネジメントによる予算枠

2024年度

（単位:千円）

業務費総額(人件費除く)	※	※の割合	県大	※	芸大	※	事務局	※
1,865,665	20,523	1.10%	1,177,751	10,000	518,664	868	169,250	9,655

※…トップマネジメントによる予算枠

2023年度

（単位:千円）

業務費総額(人件費除く)	※	※の割合	県大	※	芸大	※	事務局	※
1,874,116	14,285	0.76%	1,168,335	0	527,088	2,355	178,693	11,930

※…トップマネジメントによる予算枠

2022年度

（単位:千円）

業務費総額(人件費除く)	※	※の割合	県大	※	芸大	※	事務局	※
1,887,242	35,985	1.91%	1,180,761	4,263	519,116	1,500	187,365	30,222

※…トップマネジメントによる予算枠

2021年度

（単位:千円）

業務費総額(人件費除く)	※	※の割合	県大	※	芸大	※	事務局	※
1,861,215	19,132	1.03%	1,161,710	12,435	502,807	4,060	196,698	2,637

※…トップマネジメントによる予算枠

2020年度

（単位:千円）

業務費総額(人件費除く)	※	※の割合	県大	※	芸大	※	事務局	※
1,866,844	16,626	0.89%	1,169,886	6,708	495,275	1,675	201,683	8,243

※…トップマネジメントによる予算枠

2019年度

(単位:千円)

業務費総額(人件費除く)	※	※の割合	県大	※	芸大	※	事務局	※
2,091,087	15,774	0.75%	1,237,977	7,396	604,861	1,350	248,249	7,028

※…トップマネジメントによる予算枠

[2024年度のトップマネジメント事業費の主な用途]

- ①(県大) 教室の内装整備、Web会議用モニターの設置等
- ②(芸大) 音楽学部の志願者増施策の実施
- ③(事務局) 中日新聞への広告掲載
- ④(事務局) 外部アドバイザーを招聘しての業務改善の取り組み
- ⑤「第3回スタートアップ国際シンポジウム」をSTATION Aiにて開催
- ⑦2大学連携研究「データサイエンスによる紙の道の解明」に係る研究補助員の雇用
- ⑧両大学の学生を対象にアントレプレナーシップ教育の専門家(バブソン大学 山川准教授)を招聘し特別集中授業を実施

27. 2大学による連携事業

【法人運営】

(1) 2大学による連携

- ・本法人の先進的な2大学連携研究であり、かつ科学研究費助成事業基盤研究Aに採択された「データサイエンスによる紙の道の解明」が、2022年度より研究を開始（2026年度まで継続）。
- ・専門のワーキンググループを立ち上げ、2大学が連携した教養科目の開講に向けた検討を開始。
- ・その他、両大学を対象としたスタートアップ関連事業を実施（参考資料28参照）。

(2) 2大学連事業に係る会議の開催

- ・2大学連携推進会議

（構成員：10名）

理事長、事務局長、次長、学長（2名）、副学長（3名）、大学事務部門長（2名）

2024年度開催状況	議事等
第1回(2024年3月28日 (金))	教養教育に係る2大学連携ワーキンググループの取組状況について、2大学連携事業の実施に係る報告フォームの運用について

- ・教養教育に係る2大学連携ワーキンググループ

（主な構成員）

県大：教養教育センター長、同副センター長、学務部長、学務課長

芸大：副学長、美術学部長、音楽学部長、芸術教育・学生支援センター長、教養専門部会議長、学務部長、学務課長

法人：法人企画部長、企画財務課長

2024年度開催状況	議事等
第1回(2024年4月26日 (金))	趣旨説明、検討スケジュールについて、直近の課題・検討事項
第2回(2024年6月18日 (火))	開講年度について、検討事項、次回以降の開催日について
第3回(2024年7月30日 (火))	第四期中期計画における教養教育における2大学連携について、今後のスケジュールについて
第4回(2024年9月17日 (火))	県大エッセンシャルを基にした2大学連携科目の開講について、中期計画の指標について
第5回(2024年11月19日 (火))	2025・2026年度でのトライアルの実施について
第6回(2025年3月5日 (水))	第四期中期計画について、次年度以降の講座等の取組について、2大学連携事業の実施状況に関する報告フォームの作成について、今後のワーキンググループの開催について

(3) 2大学連携に関する窓口

両大学教員のマッチングの仕組みとして、2大学連携に関する研究、その他全般についての相談窓口を次のとおり設置し、周知しています。

窓 口	
県立大学	研究支援・地域連携課 (研究支援担当)
芸術大学	芸術情報・広報課 (研究支援担当)
法人事務局	企画財務課 (2大学連携全般)

28. スタートアップの推進

【法人運営】

愛知県や他大学と連携し、スタートアップの取組を推進しています。

(内 容)

(1) 愛知県経済産業局革新事業創造部海外連携推進課との連携

フランスの高等教育機関、愛知県経済産業局革新事業創造部と連携し、「第3回スタートアップ国際シンポジウム」を11月にSTATION Aiで開催。

＜第3回スタートアップ国際シンポジウム＞

- ・共 催：愛知県海外連携推進課
- ・日 程：2024年11月4日(祝・月)
- ・場 所：STATION Ai
- ・参加者：114名
- ・内 容：県大・芸大の教員を始め、IMT Atlantique学長等による講演の他、講演後にはポスター展示及び交流会を実施

(2) 両大学を対象としたアントレプレナーシップ教育の専門家による特別集中授業の実施

芸大の山川恭弘客員教授(バブソン大学准教授)が講師となり、「アントレウィーク2024」を6月に実施。

＜アントレウィーク2024＞

- ・講 師：山川恭弘 愛知県立芸術大学客員教授(バブソン大学准教授)
- ・日 程：2024年6月3日(月)～6日(木)
- ・対 象：愛知県立大学及び愛知県立芸術大学の学生
- ・参加人数：25名
- ・内 容：アントレプレナーシップ・ワークショップを8コマ(12時間)実施

(3) 起業家育成プロジェクト「Tongali (Tokai Network for Global Leading Innovators)」

両大学が参加している東海地区の起業家育成プロジェクト「Tongali (Tokai Network for Global Leading Innovators)」(名古屋大学が代表)を通して採択された「研究成果展開事業 大学発新産業創出プログラム(START)」にて、アントレプレナーシップ教育などを実施。

また、同じくTongaliを通じて採択された「高校生等を対象としたアントレプレナーシップ教育(起業家教育)の推進施策である「EDGE-PRIME Initiative」にて、高校生向けのアントレ教育を県立大学、芸術大学それぞれにおいて実施。

＜高校生等を対象としたアントレプレナーシップ教育＞

(県大)

- ・プログラム：「ジブリパークの隣で考えるアントレプレナーシップ教育」
- ・主 催：次世代ロボット研究所
- ・日 程：2024年10月19日(土)、26日(土)、11月9日(土)、16日(土)
- ・参加者：4日間で延べ98名

- ・内 容：愛・地球博記念公園、次世代ロボット研究所、企業の研究開発現場の工場の見学の他、起業家精神等についてグループディスカッションを実施
(芸大)
 - ・プログラム：「サマースクール 2024」
 - ・日 程：2024年8月8日(木)、9日(金)、26日(月)、9月23日(祝)
 - ・参加者：19名
- ・内 容：バブソン大学山川准教授と開催している学部生向けアントレプレナーシップ教育とデザイン実技で実施しているアイディエーションメソッドを連携させて開発した高校生向け教育プログラム（ワークショップ）を実施
 - ・プログラム：「ウインターランドスクール 2024」
 - ・日 程：2024年12月25日(水)、26日(木)、1月6日(月)
 - ・参加者：14名
- ・内 容：バブソン大学山川准教授と開催している学部生向けアントレプレナーシップ教育とデザイン実技で実施しているアイディエーションメソッドを連携させて開発した高校生向け教育プログラム（ワークショップ）を実施

29. 事務職員の育成（海外・他機関派遣研修）

【法人運営】

（概要）

短期海外研修は、職員に海外研修の機会を提供し、国際的な資質や見識を高め、国際交流関係業務の運営や本法人研究者の国際的教育研究活動の支援を円滑に行うことができる事務職員の育成を目的としています。

他機関派遣研修は、法人の将来を担う人材の計画的かつ効果的な育成を図るため、法人以外での実務を経験させ、外部で学ぶ刺激を得ることで当該職員の視野の拡大を図るとともに、外部職員の交流受入を行うことにより、組織の活性化を図っていきます。

（内容）

（1）短期海外研修

① 対象

本研修に参加したことがない事務職員（プロパー職員）のうち、本研修に対する参加意欲があり、派遣することが適当であると所属する課の課長が認め推薦した者。

（ただし、研修内容によっては語学力等の要件を追加する。）

② 研修の種類

- ・名古屋大学事務職員の短期海外研修に参加し、名古屋大学の学術研究拠点及びそれに準ずる拠点、または教育研究機関を訪問する。
- ・本法人で実施する国際交流関係業務に同行し、教育、研究支援、国際交流等の推進に必要となる知識を習得するために業務の補助を行う。

（2）他機関派遣

① 対象

過去に他機関へ研修生等として派遣されたことがない事務職員のうち、原則、当該年度末時点の年齢が35歳以下の主事・主任級職員であり、現所属における勤務年数が今年度末時点で1年9か月以上である者

② 研修の種類

- ・文部科学省実務研修
実務研修生として勤務し、配属先が作成する研修計画に基づき、業務に従事する。
- ・名古屋大学派遣研修
研修として出向し、大学運営の実務を習得させるとともに、大学間の情報交換及び人的交流を行う。
- ・愛知県派遣研修
研修生として出向し、地方行政の実務を習得させるとともに、愛知県との情報交換及び人的交流を行う。
- ・一般社団法人公立大学協会派遣研修

研修として出向し、公立大学及び国の高等教育制度を習得させるとともに、大学及び文部科学省等との人的交流を行う。

(3) 各研修の実績

【短期海外派遣】

	年度	所属	課	職級	研修先	期間
1	2015	県立大学	県大総務課	主事	タイ	H27. 11. 3～8
2		県立大学	学生支援課	主事	モンゴル	H27. 9. 12～17
3		県立大学	学務課	主任	中国	H27. 7. 18～24
4		法人事務局	人事課	主任	同上	同上
5	2016	県立芸術大学	芸術情報・広報課	主任	カンボジア	H28. 11. 21～25
6	2017	法人事務局	情報課	主事	タイ	H29. 11. 13～17
7		法人事務局	経営企画課	主事	シンガポール	H30. 3. 24～29
8	2018	県立大学	学務課	主事	スイス	H30. 9. 10～16
9	2019	県立大学	研究支援・地域連携課	主任	タイ	R1. 9. 24～29
10		県立芸術大学	学生支援課	主事	米国	R1. 11. 17～22

※所属・職級は派遣当時のもの

※退職者は除く

【他機関派遣】

	年度	派遣前所属	課	職級	研修先	期間
1	2016	県立大学	県大総務課	主事	名古屋大学	H28. 4. 1～H30. 3. 31
2	2017	県立大学	守山学務課	主任	愛知県	H29. 4. 1～H30. 3. 31
3	2018	法人事務局	総務課	主事	文部科学省	H30. 4. 1～H31. 3. 31
4		法人事務局	契約課	主事	名古屋大学	H30. 7. 1～R2. 7. 31
5	2020	県立芸術大学	芸術情報・広報課	主事	名古屋大学	R2. 8. 1～R4. 6. 30
6	2021	法人事務局	人事課	主査	愛知県	R3. 4. 1～R4. 3. 31
7		県立大学	研究支援・地域連携課	課長補佐	公立大学協会	R3. 4. 1～R5. 3. 31
8	2022	県立大学	戦略企画・広報室	主事	愛知県	R4. 4. 1～R4. 10. 31
9		法人事務局	人事課	主事	文部科学省	R4. 4. 1～R5. 3. 31

※職級は派遣当時のもの

※退職者は除く

職員現員数のうち、派遣研修経験者（退職者を除く）の割合

研修実績（2025年3月時点）	合計	職員数※	割合
	19	87	21.8%

※3月時点のプロパー現員数（育休・休職者除く）

2024年度業務実績報告書

データ集

2025年6月

愛知県公立大学法人

データ集目次

	ページ	関連項目番号
1 選抜試験別入学定員	・・・ P 1	16・37
2 入学者選抜試験の状況	・・・ P 3	16・37
3 卒業生の進路状況	・・・ P 9	14・36
4 国家試験受験・免許資格取得の状況	・・・ P 13	7
5 外部資金の状況	・・・ P 17	19・40・55
6 科学研究費補助金等の申請状況	・・・ P 18	19・40・55
7 公開講座等の開催状況	・・・ P 21	24・25・42
8 展覧会の開催状況	・・・ P 25	39・41・42・43
9 演奏会・演奏派遣等の開催状況	・・・ P 27	39・41・42・43
10 国際交流協定大学の状況	・・・ P 30	28・29・44
11 留学生の受入状況	・・・ P 33	29・44
12 学長特別教員研究費交付状況	・・・ P 34	21

1. 選抜試験別入学定員 (2025年度入学生)

県立大学
[学部]

区分	一般選抜		特別選抜			合計	
	前期日程	後期日程	推薦 (愛知県内枠)	推薦 (全国枠)	社会人		
外国語学部	英米学科	66	3	9	12	若干名	
	ヨーロッパ学科						
	フランス語圏専攻	33	3	3	6		
	スペイン語・ポルトガル語圏専攻	40	4	4	7		
	ドイツ語圏専攻	33	3	3	6		
	中国学科	38	3	3	6		
日本文化学部	国際関係学科	42	3	3	7	若干名	
	国語国文学科	42	3	5			
教育福祉学部	歴史文化学科	40	5	5		若干名	
	教育発達学科	34	2	4			
看護学部	社会福祉学科	42	3	5		若干名	
	看護学科	45	5	15	25		
情報科学部	情報科学科	54	18	3	15	若干名	
	合計	509	55	62	84		
学部合計					0	—	710

[学部3年次編入学]

区分	一般学生	—	—	—	—	合計
情報科学部 情報科学科	若干名	—	—	—	—	若干名

[大学院研究科]

区分	一般学生	社会人	外国人留学生			合計
国際文化研究科 (国際文化専攻)	博士前期課程	10	若干名	若干名		10
	博士後期課程	3				3
国際文化研究科 (日本文化専攻)	博士前期課程	5				5
	博士後期課程	2				2
人間発達学研究科	博士前期課程	10				10
	博士後期課程	3				3
看護学研究科 (看護学専攻)	博士前期課程	21				21
	博士後期課程	4				4
情報科学研究科 (情報システム専攻) (メディア情報専攻) (システム科学専攻)	博士前期課程	10				10
		10				10
		10				10
	博士後期課程	3				3
大学院合計	91	—	—	—	—	91

芸術大学

区分	一般選抜	特別選抜			合計
		総合型	社会人	学校推薦型	
美術学部	日本画専攻	10	若干名	若干名	10
	油畫専攻	25			
	彫刻専攻	10	若干名		
	芸術学専攻	5			
	学科計	50	—		
	デザイン専攻	17	8		
芸芸科	陶磁専攻	8	2	若干名	10
	メディア映像専攻	8	2		
	学科計	33	12		
	小計	83	12		
音楽学部	作曲専攻	8	若干名	若干名	8
	音楽学	2			
	計	10			
	声楽専攻	26	4		
	ピアノ	25			
	器楽専攻	12			
	弦楽器	20			
	管打楽器	20			
	計	57			
	小計	93	4		
学部合計	176	16	—	—	192
美術研究科 (美術専攻)	博士前期課程	40			40
	博士後期課程	5			
	音楽研究科 (音楽専攻)	30			
	博士後期課程	3			
大学院合計	78				78

1. 選抜試験別入学定員 (2024年度入学生)

県立大学
[学部]

区分	一般選抜		特別選抜			合計	
	前期日程	後期日程	推薦 (愛知県内枠)	推薦 (全国枠)	社会人		
外国語学部	英米学科	66	3	9	12	若干名	
	ヨーロッパ学科						
	フランス語圏専攻	33	3	3	6		
	スペイン語・ポルトガル語圏専攻	40	4	4	7		
	ドイツ語圏専攻	33	3	3	6		
	中国学科	38	3	3	6		
日本文化学部	国際関係学科	42	3	3	7	若干名	
	国語国文学科	42	3	5			
教育福祉学部	歴史文化学科	40	5	5		若干名	
	教育発達学科	34	2	4			
看護学部	社会福祉学科	42	3	5		若干名	
	看護学科	45	5	15	25		
情報科学部	情報科学科	54	18	3	15	若干名	
	合計	509	55	62	84		
学部合計					0	—	710

[学部3年次編入学]

区分	一般学生	—	—	—	—	合計
情報科学部 情報科学科	若干名	—	—	—	—	若干名

[大学院研究科]

区分	一般学生	社会人	外国人留学生			合計
国際文化研究科 (国際文化専攻)	博士前期課程	10	若干名	若干名		10
	博士後期課程	3				3
国際文化研究科 (日本文化専攻)	博士前期課程	5				5
	博士後期課程	2				2
人間発達学研究科	博士前期課程	10				10
	博士後期課程	3				3
看護学研究科 (看護学専攻)	博士前期課程	21				21
	博士後期課程	4				4
情報科学研究科 (情報システム専攻) (メディア情報専攻) (システム科学専攻)	博士前期課程	10				10
		10				10
		10				10
	博士後期課程	3				3
大学院合計	91	—	—	—	—	91

芸術大学

美術学部	学科	合計	特別選抜			合計
			総合型	社会人	学校推薦型	
美術学部	日本画専攻	10	若干名	若干名		10
	油畫専攻	25				25
	彫刻専攻	10				10
	芸術学専攻	5				5
	学科合計	50				50
	デザイン専攻	17		8	若干名	25
音楽学部	陶磁専攻	10		若干名		10
	メディア映像専攻	8		2		10
	学科合計	35		10		45
	小計	85		10	—	95
音楽学部	作曲専攻	8	若干名	若干名		8
	音楽学	2				2
	計	10				10
	声楽専攻	30				30
	ピアノ	25				25
	器楽専攻	15				15
	弦楽器	20				20
	管打楽器	20				20
	計	60				60
	小計	100				100
学部合計		185		10	—	195
美術研究科 (美術専攻)	博士前期課程	40				40
	博士後期課程	5				5
	音楽研究科 (音楽専攻)	30				30
	博士後期課程	3				3
大学院合計		78				78

2. 入学者選抜試験の状況（2025年度入学生）

県立大学
[学部]

区分			募集人員 A	志願者数 B	受験者数 C	合格者数 D	志願倍率 B/A	競争率 C/D	備考
外 国 語 学 部	英米学科	一般選抜	前期日程	66	149	133	82	2.3	1.6
			後期日程	3	39	39	3	13.0	13.0
			推薦（県内枠）	9	27	27	10	3.0	2.7
			推薦（全国枠）	12	64	64	13	5.3	4.9
			社会人	若干名	2	2	0	—	—
		特別選抜	帰国生徒	若干名	1	1	0	—	—
			外国人留学生	若干名	0	0	0	—	—
			計	90	282	266	108	3.1	2.5
	フランス語 圈専攻	一般選抜	前期日程	33	150	136	42	4.5	3.2
			後期日程	3	50	50	3	16.7	16.7
			推薦（県内枠）	3	6	6	3	2.0	2.0
		特別選抜	推薦（全国枠）	6	17	17	6	2.8	2.8
			社会人	若干名	0	0	0	—	—
			帰国生徒	若干名	0	0	0	—	—
			外国人留学生	若干名	0	0	0	—	—
			計	45	223	209	54	5.0	3.9
	ヨーロッパ学科	スペイン 語・ポルト ガル語圈専 攻	前期日程	40	137	126	50	3.4	2.5
			後期日程	4	68	68	4	17.0	17.0
			推薦（県内枠）	4	15	15	5	3.8	3.0
		特別選抜	推薦（全国枠）	7	24	24	7	3.4	3.4
			社会人	若干名	0	0	0	—	—
			帰国生徒	若干名	2	2	1	—	2.0
			外国人留学生	若干名	0	0	0	—	—
			計	55	246	235	67	4.5	3.5
	ドイツ語圈 専攻	一般選抜	前期日程	33	84	79	43	2.5	1.8
			後期日程	3	44	44	3	14.7	14.7
			推薦（県内枠）	3	5	5	4	1.7	1.3
		特別選抜	推薦（全国枠）	6	8	7	6	1.3	1.2
			社会人	若干名	1	1	1	—	1.0
			帰国生徒	若干名	0	0	0	—	—
			外国人留学生	若干名	0	0	0	—	—
			計	45	142	136	57	3.2	2.4
	中国学科	一般選抜	前期日程	38	71	66	50	1.9	1.3
			後期日程	3	38	38	3	12.7	12.7
			推薦（県内枠）	3	11	11	3	3.7	3.7
			推薦（全国枠）	6	18	18	6	3.0	3.0
			社会人	若干名	1	1	1	—	1.0
			帰国生徒	若干名	0	0	0	—	—
			外国人留学生	若干名	0	0	0	—	—
			計	50	139	134	63	2.8	2.1
	国際関係学科	一般選抜	前期日程	42	124	109	47	3.0	2.3
			後期日程	3	78	78	3	26.0	26.0
			推薦（県内枠）	3	12	12	4	4.0	3.0
			推薦（全国枠）	7	35	35	8	5.0	4.4
			社会人	若干名	0	0	0	—	—
			帰国生徒	若干名	2	2	0	—	—
			外国人留学生	若干名	1	1	0	—	—
			計	55	252	237	62	4.6	3.8
			小計	340	1,284	1,217	411	3.8	3.0
日本文化 学部	国語国文学科	一般選抜	前期日程	42	126	124	51	3.0	2.4
			後期日程	3	59	59	3	19.7	19.7
			推薦	5	23	23	5	4.6	4.6
		特別選抜	社会人	若干名	0	0	0	—	—
			帰国生徒	若干名	0	0	0	—	—
			外国人留学生	若干名	0	0	0	—	—
			計	50	208	206	59	4.2	3.5
	歴史文化学科	一般選抜	前期日程	40	137	130	48	3.4	2.7
			後期日程	5	33	33	5	6.6	6.6
			推薦	5	24	24	5	4.8	4.8
		特別選抜	社会人	若干名	0	0	0	—	—
			帰国生徒	若干名	0	0	0	—	—
			外国人留学生	若干名	2	2	1	—	2.0
			計	50	196	189	59	3.9	3.2
			小計	100	404	395	118	4.0	3.3
教育福祉 学部	教育発達学科	一般選抜	前期日程	34	90	88	37	2.6	2.4
			後期日程	2	40	40	3	20.0	13.3
			推薦	4	15	15	4	3.8	3.8
			社会人	若干名	0	0	0	—	—
			帰国生徒	若干名	0	0	0	—	—
			外国人留学生	若干名	0	0	0	—	—
			計	40	145	143	44	3.6	3.3
	社会福祉学科	一般選抜	前期日程	42	123	121	49	2.9	2.5
			後期日程	3	49	49	3	16.3	16.3
			推薦	5	13	13	5	2.6	2.6
		特別選抜	社会人	若干名	0	0	0	—	—
			帰国生徒	若干名	1	1	0	—	—
			外国人留学生	若干名	0	0	0	—	—
			計	50	186	184	57	3.7	3.2
			小計	90	331	327	101	3.7	3.2
看護学部	看護学科	一般選抜	前期日程	45	164	136	47	3.6	2.9
			後期日程	5	153	33	5	30.6	6.6
			推薦（県内枠）	15	51	51	15	3.4	3.4
		特別選抜	推薦（全国枠）	25	63	63	25	2.5	2.5
			社会人	若干名	2	1	0	—	—
			帰国生徒	若干名	0	0	0	—	—
			外国人留学生	若干名	0	0	0	—	—
			計	90	433	284	92	4.8	3.1
			小計	90	433	284	92	4.8	3.1
情報科学部	情報科学科	一般選抜	前期日程	54	221	200	60	4.1	3.3
			後期日程	18	136	59	21	7.6	2.8
			推薦	18	30	30	17	1.7	1.8
		特別選抜	社会人	若干名	0	0	0	—	—
			帰国生徒	若干名	0	0	0	—	—
			外国人留学生	若干名	1	1	0	—	—
			計	90	388	290	98	4.3	3.0
			小計	90	388	290	98	4.3	3.0
			学部合計	710	2,840	2,513	820	4.0	3.1

区分			募集人員 A	志願者数 B	受験者数 C	合格者数 D	志願倍率 B/A	競争率 C/D	備考			
情報科学部情報科学科			若干名	6	5	2	-	2.5				
[大学院研究科]												
国際文化研究科	区分			募集人員 A	志願者数 B	受験者数 C	合格者数 D	志願倍率 B/A	競争率 C/D	備考		
	国際文化専攻	博士前期課程	一般	10	12	12	7	1.2	1.7			
		社会人	若干名	4	4	4	-	-	1.0			
		外国人留学生		3	3	1	-	-	3.0			
		計		10	19	19	12	1.9	1.6			
	日本文化専攻	博士後期課程	一般	3	0	0	0	0.0	-			
		社会人	若干名	1	1	1	-	-	1.0			
		外国人留学生		1	1	1	-	-	1.0			
		計		3	2	2	2	0.7	1.0			
	小計			20	30	30	18	1.5	1.7			
人間発達学研究科	人間発達学専攻	博士前期課程	一般	10	5	4	3	0.5	1.3			
		社会人	若干名	6	6	6	-	-	1.0			
		外国人留学生		8	7	1	-	-	7.0			
		計		10	19	17	10	1.9	1.7			
	博士後期課程	一般	若干名	3	4	3	2	1.3	1.5			
		外国人留学生		0	0	0	-	-	-			
		計		3	4	3	2	1.3	1.5			
	小計			13	23	20	12	1.8	1.7			
看護学研究科	看護学専攻	博士前期課程	一般	21	28	28	15	1.3	1.9			
		社会人	若干名	9	9	7	-	-	1.3			
		計		21	37	37	22	1.8	1.7			
	博士後期課程	一般	若干名	4	2	2	1	0.5	2.0			
		外国人留学生		0	0	0	-	-	-			
	小計			4	2	2	1	0.5	2.0			
	小計			25	39	39	23	1.6	1.7			
情報科学研究科	情報システム専攻	博士前期課程	一般	10	12	12	12	1.2	1.0			
			社会人	若干名	0	0	0	-	-			
			外国人留学生		0	0	0	-	-			
			計	10	12	12	12	1.2	1.0			
	メディア情報専攻	博士前期課程	一般	10	10	10	10	1.0	1.0			
			社会人	若干名	0	0	0	-	-			
			外国人留学生		0	0	0	-	-			
			計	10	10	10	10	1.0	1.0			
	システム科学専攻	博士前期課程	一般	10	14	14	13	1.4	1.1			
			社会人	若干名	0	0	0	-	-			
			外国人留学生		0	0	0	-	-			
			計	10	14	14	13	1.4	1.1			
	情報科学専攻	博士後期課程	一般	3	1	1	1	0.3	1.0			
			社会人	若干名	1	1	1	-	-	1.0		
			外国人留学生		0	0	0	-	-	-		
			計	3	2	2	2	0.7	1.0			
小計				33	38	38	37	1.2	1.0			
大学院合計				91	130	127	90	1.4	1.4			

芸術大学

区分			募集人員 A	志願者数 B	受験者数 C	合格者数 D	志願倍率 B/A	競争率 C/D	備考
美術学部	美術科	日本画専攻	一般	10	104	98	9	10.4	10.9
			総合型		25	25	3	-	8.3
			計		129	123	12	12.9	10.3
		油畫専攻	一般	25	257	232	27	10.3	8.6
		彫刻専攻	一般	10	58	49	12	5.8	4.1
			総合型		8	8	1	-	8.0
			計	10	66	57	13	6.6	4.4
		芸術学専攻	一般	5	17	10	6	3.4	1.7
			学科計	50	469	422	58	9.4	7.3
			小計	95	858	753	113	9.0	6.7
音楽学部	音楽科	作曲専攻	作曲 (一般)	8	14	12	5	1.8	2.4
			総合型		8	8	1	-	8.0
			音楽学 (一般)	2	8	8	4	4.0	2.0
			学校推薦型	0	0	0	0	-	0.0
			計	10	30	28	10	3.0	2.8
		声楽専攻	一般	26	42	40	25	1.6	1.6
			総合型	4	25	25	6	6.3	4.2
			計	30	67	65	31	2.2	2.1
		器楽専攻	ピアノ (一般)	25	37	35	23	1.5	1.5
			弦楽器 (一般)	12	10	10	5	0.8	2.0
			学校推薦型	3	5	5	5	1.7	1.0
			管打楽器 (一般)	20	60	55	11	3.0	5.0
			学校推薦型	0	25	25	7	-	3.6
			計	60	137	130	51	2.3	2.5
			小計	100	234	223	92	2.3	2.4
			学部合計	195	1,092	976	205	5.6	4.8
美術研究科	美術専攻	博士前期課程	日本画領域	40	22	16	8	-	2.0
			油畫・版画領域		48	38	15	-	2.5
			彫刻領域		14	13	6	-	2.2
			芸術学領域		3	3	2	-	1.5
			デザイン領域		74	74	7	-	10.6
			陶磁領域		15	12	9	-	1.3
			計	40	176	156	47	4.4	3.3
		博士後期課程	日本画研究分野	5	2	2	1	-	2.0
			油畫・版画研究分野		1	1	0	-	0.0
			彫刻研究分野		0	0	0	-	0.0
			芸術学研究分野		0	0	0	-	0.0
音楽研究科	音楽専攻	博士前期課程	デザイン研究分野	30	4	3	1	-	3.0
			陶磁研究分野		2	2	2	-	1.0
			計		5	9	8	4	1.8
			小計		45	185	164	51	4.1
			作曲領域		7	7	6	-	1.2
			音楽学領域		2	1	0	-	0.0
		博士後期課程	声楽領域	3	19	19	8	-	2.4
			鍵盤楽器 (ピアノ) 領域		22	21	8	-	2.6
			弦楽器領域		9	8	6	-	1.3
			管・打楽器領域		15	15	7	-	2.1
			計	30	74	71	35	2.5	2.0
		博士後期課程	作曲研究分野	3	1	1	0	-	0.0
			音楽学研究分野		1	1	1	-	1.0
			声楽研究分野		1	1	1	-	1.0
			鍵盤楽器 (ピアノ) 研究分野		0	0	0	-	0.0
			弦楽器 (ヴァイオリン) 研究分野		0	0	0	-	0.0
			管・打楽器 (フルート) 研究分野		0	0	0	-	0.0
			管・打楽器 (トロンボーン) 研究分野		0	0	0	-	0.0
			管・打楽器 (打楽器) 研究分野	1	1	1	-	1.0	
			計	3	4	4	3	1.3	1.3
			小計	33	78	75	38	2.4	2.0
大学院合計			78	263	239	89	3.4	2.7	

日本画専攻、彫刻専攻の一般選抜募集人員は、総合型選抜若干名を含む。
デザイン専攻の一般選抜募集人員は、社会人特別選抜若干名を含む。

音楽学部作曲専攻作曲コース・音楽学コース、器楽専攻管打楽器コースの一般選抜募集人員は、学校推薦型選抜・総合型選抜若干名を含む。

2. 入学者選抜試験の状況 (2024年度入学生)

県立大学

[学部]

区分			募集人員 A	志願者数 B	受験者数 C	合格者数 D	志願倍率 B/A	競争率 C/D	備考	
外 国 語 学 部	英米学科	一般選抜	前期日程	66	193	171	78	2.9	2.2	
			後期日程	3	38	38	3	12.7	12.7	
			推薦(県内枠)	9	32	32	10	3.6	3.2	
			推薦(全国枠)	12	59	59	12	4.9	4.9	
			社会人		3	2	1	—	2.0	
		特別選抜	帰国生徒		若干名	0	0	—	—	
			外国人留学生			0	0	—	—	
			計	90	325	302	104	3.6	2.9	
	フランス語 圈専攻	一般選抜	前期日程	33	62	54	41	1.9	1.3	
			後期日程	3	26	26	6	8.7	4.3	
		特別選抜	推薦(県内枠)	3	9	9	3	3.0	3.0	
			推薦(全国枠)	6	7	7	6	1.2	1.2	
			社会人		若干名	1	1	—	1.0	
	ヨーロッパ学科	特別選抜	帰国生徒			0	0	—	—	
			外国人留学生			0	0	—	—	
			計	45	105	97	57	2.3	1.7	
		スペイン 語・ポルト ガル語圈専 攻	一般選抜	40	111	104	52	2.8	2.0	
			後期日程	4	33	33	4	8.3	8.3	
			推薦(全国枠)	7	14	14	7	2.0	2.0	
	ドイツ語圈 専攻	特別選抜	社会人		若干名	0	0	—	—	
			帰国生徒			0	0	—	—	
			外国人留学生			0	0	—	—	
			計	55	165	158	68	3.0	2.3	
		一般選抜	前期日程	33	140	129	45	4.2	2.9	
			後期日程	3	27	27	3	9.0	9.0	
			推薦(全国枠)	6	17	17	6	2.8	2.8	
	中国学科	特別選抜	社会人		若干名	0	0	—	—	
			帰国生徒			0	0	—	—	
			外国人留学生			0	0	—	—	
			計	45	188	177	57	4.2	3.1	
		一般選抜	前期日程	38	177	165	44	4.7	3.8	
			後期日程	3	63	63	3	21.0	21.0	
			推薦(全国枠)	6	14	14	6	2.3	2.3	
	国際関係学科	特別選抜	社会人		若干名	1	1	—	1.0	
			帰国生徒			0	0	—	—	
			外国人留学生			0	0	—	—	
			計	50	258	246	57	5.2	4.3	
		一般選抜	前期日程	42	102	90	50	2.4	1.8	
			後期日程	3	33	33	3	11.0	11.0	
			推薦(全国枠)	7	32	32	8	4.6	4.0	
	歴史文化学科	特別選抜	社会人		若干名	1	0	—	—	
			帰国生徒			1	1	—	1.0	
			外国人留学生			0	0	—	—	
			計	55	178	165	65	3.2	2.5	
		小計		340	1,219	1,145	408	3.6	2.8	
日本文化 学部	国語国文学科	一般選抜	前期日程	42	143	137	49	3.4	2.8	
			後期日程	3	44	44	3	14.7	14.7	
		特別選抜	推薦	5	18	18	5	3.6	3.6	
			社会人		若干名	0	0	—	—	
			帰国生徒			0	0	—	—	
			外国人留学生			0	0	—	—	
		計		50	205	199	57	4.1	3.5	
	歴史文化学科	一般選抜	前期日程	40	99	97	51	2.5	1.9	
			後期日程	5	55	55	5	11.0	11.0	
		特別選抜	推薦	5	22	22	5	4.4	4.4	
			社会人		若干名	0	0	—	—	
			帰国生徒			0	0	—	—	
			外国人留学生			0	0	—	—	
		計		50	176	174	61	3.5	2.9	
	小計			100	381	373	118	3.8	3.2	
教育福祉 学部	教育発達学科	一般選抜	前期日程	34	107	101	40	3.1	2.5	
			後期日程	2	36	36	2	18.0	18.0	
		特別選抜	推薦	4	15	15	4	3.8	3.8	
			社会人		若干名	0	0	—	—	
			帰国生徒			0	0	—	—	
			外国人留学生			0	0	—	—	
		計		40	158	152	46	4.0	3.3	
	社会福祉学科	一般選抜	前期日程	42	98	97	50	2.3	1.9	
			後期日程	3	50	50	3	16.7	16.7	
		特別選抜	推薦	5	17	17	6	3.4	2.8	
			社会人		若干名	1	1	—	—	
			帰国生徒			0	0	—	—	
			外国人留学生			0	0	—	—	
		計		50	166	165	59	3.3	2.8	
	小計			90	324	317	105	3.6	3.0	
看護学部	看護学科	一般選抜	前期日程	45	150	120	47	3.3	2.6	
			後期日程	5	166	41	5	33.2	8.2	
		特別選抜	推薦(県内枠)	15	36	36	15	2.4	2.4	
			推薦(全国枠)	25	49	48	25	2.0	1.9	
			社会人		若干名	0	0	—	—	
			帰国生徒			0	0	—	—	
			外国人留学生			0	0	—	—	
		計		90	401	245	92	4.5	2.7	
		小計		90	401	245	92	4.5	2.7	
	情報科学部	一般選抜	前期日程	54	229	210	67	4.2	3.1	
			後期日程	18	199	51	22	11.1	2.3	
		特別選抜	推薦	18	16	16	10	0.9	1.6	
			社会人		若干名	0	0	—	—	
			帰国生徒			1	1	—	—	
			外国人留学生			2	2	—	—	
		計		90	447	280	99	5.0	2.8	
小計				90	447	280	99	5.0	2.8	
学部合計				710	2,772	2,360	822	3.9	2.9	

区分			募集人員 A	志願者数 B	受験者数 C	合格者数 D	志願倍率 B/A	競争率 C/D	備考
情報科学部情報科学科			若干名	7	6	4	-	1.5	
[大学院研究科]									
国際文化研究科	国際文化専攻	区分	募集人員 A	志願者数 B	受験者数 C	合格者数 D	志願倍率 B/A	競争率 C/D	備考
		博士前期課程	一般	10	7	7	2	0.7	3.5
		社会人	若干名	6	6	3	-	2.0	
		外国人留学生		6	6	3	-	2.0	
		計		10	19	19	8	1.9	2.4
	日本文化専攻	博士後期課程	一般	3	0	0	0	0.0	-
		社会人	若干名	0	0	0	-	-	
		外国人留学生		1	1	1	-	1.0	
		計		3	1	1	1	0.3	1.0
		小計		20	25	25	14	1.3	1.8
人間発達学研究科	人間発達学専攻	博士前期課程	一般	10	2	2	2	0.2	1.0
		社会人	若干名	8	8	5	-	1.6	
		外国人留学生		4	4	0	-	-	
		計		10	14	14	7	1.4	2.0
	看護学専攻	博士後期課程	一般	3	3	3	1	1.0	3.0
		外国人留学生	若干名	0	0	0	-	-	
		計		3	3	3	1	1.0	3.0
		小計		13	17	17	8	1.3	2.1
情報科学研究科	情報システム専攻	博士前期課程	一般	21	27	27	17	1.3	1.6
		社会人	若干名	9	9	5	-	1.8	
		計		21	36	36	22	1.7	1.6
		博士後期課程	一般	4	3	3	3	0.8	1.0
		計		4	3	3	3	0.8	1.0
		小計		25	39	39	25	1.6	1.6
	メディア情報専攻	博士前期課程	一般	10	11	11	11	1.1	1.0
		社会人	若干名	0	0	0	-	-	
		外国人留学生		0	0	0	-	-	
		計		10	11	11	11	1.1	1.0
	システム科学専攻	博士前期課程	一般	10	12	12	12	1.2	1.0
		社会人	若干名	0	0	0	-	-	
		外国人留学生		1	1	1	-	1.0	
		計		10	13	13	13	1.3	1.0
	情報科学専攻	博士前期課程	一般	10	12	12	12	1.2	1.0
		社会人	若干名	0	0	0	-	-	
		外国人留学生		0	0	0	-	-	
		計		10	12	12	12	1.2	1.0
	小計			33	36	36	36	1.1	1.0
	大学院合計			91	117	117	83	1.3	1.4

芸術大学

区分		募集人員 A	志願者数 B	受験者数 C	合格者数 D	志願倍率 B/A	競争率 C/D	備考			
美術 学 部	美術科	日本画専攻	一般	10	117	104	12	11.7	8.7		
		油画専攻	一般	25	228	205	27	9.1	7.6		
		彫刻専攻	一般	10	41	38	11	4.1	3.5		
			総合型		7	7	1	-	7.0		
			計	10	48	45	12	4.8	3.8		
		芸術学専攻	一般	5	22	18	6	4.4	3.0		
			学科計	50	415	372	57	8.3	6.5		
	デザイン・ 工芸科	デザイン専攻	一般	17	243	189	22	14.3	8.6		
			社会人		3	3	0	-	0		
			総合型	8	51	51	9	6.4	5.7		
			計	25	297	243	31	11.9	7.8		
		陶磁専攻	一般	10	34	22	9	3.4	2.4		
音 楽 学 部	音楽科		総合型		6	6	3	-	2.0		
			計	10	40	28	12	4.0	2.3		
		メディア	一般	8	72	61	7	9.0	8.7		
		映像専攻	総合型	2	25	25	3	12.5	8.3		
			計	10	97	86	10	9.7	8.6		
			学科計	45	434	357	53	9.6	6.7		
			小計	95	849	729	110	8.9	6.6		
	器楽専攻	作曲(一般)		8	7	3	1.0	2.3			
			総合型	8	6	6	-	2.0			
		音楽学(一般)		2	11	10	3	5.5	3.3		
		学校推薦型			3	3	1	-	3.0		
			計	10	28	26	10	2.8	2.6		
美術 研究 科	声楽専攻	声楽専攻	一般	30	42	39	27	1.4	1.4		
			学校推薦型		14	14	5	-	2.8		
			計	30	56	53	32	1.9	1.7		
		ピアノ(一般)		25	28	26	24	1.1	1.1		
		弦楽器(一般)		15	9	7	4	0.6	1.8		
	博士前期課程	学校推薦型			7	7	4	-	1.8		
		管打楽器(一般)		20	62	59	17	3.1	3.5		
		学校推薦型			27	27	3	-	9.0		
			計	60	133	126	52	2.2	2.4		
			小計	100	217	205	94	2.2	2.2		
音楽 研究 科	学部合計		195	1,066	934	204	5.5	4.6			
	美術専攻	日本画領域			17	16	7	-	2.3		
		油画・版画領域			54	41	15	-	2.7		
		彫刻領域			7	7	5	-	1.4		
		芸術学領域			1	1	0	-	0		
		デザイン領域			47	47	7	-	6.7		
		陶磁領域			11	11	9	-	1.2		
			計	40	137	123	43	3.4	2.9		
		日本画研究分野			2	2	1	-	2.0		
		油画・版画研究分野			3	3	0	-	0		
	博士後期課程	彫刻研究分野			0	0	0	-	0		
		芸術学研究分野			0	0	0	-	0		
		デザイン研究分野			4	4	1	-	4.0		
		陶磁研究分野			2	2	2	-	1.0		
			計	5	11	11	4	2.2	2.8		
	小計		45	148	134	47	3.3	2.9			
音楽 研究 科	音楽専攻	作曲領域			1	1	1	-	1.0		
		音楽学領域			4	3	1	-	3.0		
		声楽領域			19	18	8	-	2.3		
		鍵盤楽器(ピアノ)領域			18	17	8	-	2.1		
		弦楽器領域			9	8	6	-	1.3		
		管・打楽器領域			16	16	5	-	3.2		
			計	30	67	63	29	2.2	2.2		
		作曲研究分野			0	0	0	-	0		
		音楽学研究分野			1	1	0	-	0		
		声楽研究分野			0	0	0	-	0		
	博士後期課程	鍵盤楽器(ピアノ)研究分野			0	0	0	-	0		
		弦楽器(ギタ/ギタ)研究分野			0	0	0	-	0		
		管・打楽器(フルート)研究分野			0	0	0	-	0		
		管・打楽器(トランボーン)研究分野			1	1	1	-	1.0		
		管・打楽器(打楽器)研究分野			0	0	0	-	0		
	小計		3	2	2	1	0.7	2.0			
大学院合計			33	69	65	30	2.1	2.2			
大学院合計			78	217	199	77	2.8	2.6			

3. 卒業生の進路状況(2024年度)

区分		県立大学			芸術大学		
		男	女	計	男	女	計
卒業者数		218人	575人	793人	66人	178人	244人
就職希望者	就職内定者	民間企業	144人	423人	567人	19人	60人
		教員	4人	34人	38人	5人	17人
		公務員	15人	71人	86人	0人	5人
		計	163人	528人	691人	24人	82人
	就職未定者		1人	0人	1人	3人	6人
計		164人	528人	692人	27人	88人	115人
就職を希望しない者	進学	自大学	34人	19人	53人	11人	33人
		他大学 (海外を含む)	3人	1人	4人	2人	12人
		専修学校等	0人	2人	2人	1人	3人
		計	37人	22人	59人	14人	48人
	その他		17人	25人	42人	25人	42人
	計		54人	47人	101人	39人	90人
就職希望率		75.2%	91.8%	87.3%	40.9%	49.4%	47.1%
就職内定率		99.4%	100.0%	99.9%	88.9%	93.2%	92.2%

※2025年3月31日現在

※大学院修了生で現職を継続する者は「就職内定者」に含む

[県立大学]

区分	大学院			
	国際文化	人間発達学	看護学	情報科学
卒業者数	人 15 (14)	人 12 (12)	人 21 (21)	人 26 (32)
就職希望者数	8 (12)	10 (6)	21 (19)	25 (32)
	就 職 内 定 者 民 間 企 業 教 員 公 務 員 計	3 (9) 3 (2) 2 (1) 8 (12)	6 (2) 4 (3) 0 (1) 10 (6)	13 (10) 5 (4) 3 (5) 21 (19)
	就 職 未 定 者	0 (0)	0 (0)	0 (0)
	就職を希望しない者	7 (2)	2 (6)	0 (2)
	内 進 学 訣 その他	1 (1) 6 (1)	0 (0) 2 (6)	0 (0) 0 (2)
就職希望率(%)	53.3 (85.7)	83.3 (50.0)	100.0 (90.5)	96.2 (100.0)
就職内定率(%)	100.0 (100.0)	100.0 (100.0)	100.0 (100.0)	100.0 (100.0)

区分	学部					計
	外国語学部	日本文化学部	教育福祉学部	看護学部	情報科学部	
卒業者数	人 341 (325)	人 111 (113)	人 102 (89)	人 86 (90)	人 79 (88)	人 793 (784)
就職希望者数	314 (303)	101 (100)	98 (85)	74 (79)	41 (50)	692 (686)
	就 職 内 定 者 民 間 企 業 教 員 公 務 員 計	279 (258) 10 (12) 25 (32) 314 (302)	73 (71) 8 (9) 20 (19) 101 (99)	57 (47) 8 (14) 33 (24) 98 (85)	74 (79) 0 (0) 0 (0) 74 (79)	38 (44) 0 (2) 2 (4) 40 (50)
	就 職 未 定 者	0 (1)	0 (1)	0 (0)	0 (0)	1 (0)
	就職を希望しない者	27 (22)	10 (13)	4 (4)	12 (11)	38 (38)
	内 進 学 訣 その他	6 (2) 21 (20)	5 (5) 5 (8)	2 (0) 2 (4)	10 (10) 2 (1)	34 (35) 4 (3) 42 (45)
就職希望率(%)	92.1 (93.2)	91.0 (88.5)	96.1 (95.5)	86.0 (87.8)	51.9 (56.8)	87.3 (87.5)
就職内定率(%)	100.0 (99.7)	100.0 (99.0)	100.0 (100.0)	100.0 (100.0)	97.6 (100.0)	99.9 (99.7)

[芸術大学]

区分	大学院		学部		計
	美術研究科	音楽研究科	美術学部	音楽学部	
卒業者数	人 39 (47)	人 33 (32)	人 77 (95)	人 95 (98)	人 244 (272)
就職希望者数	25 (26)	9 (9)	44 (49)	37 (34)	115 (118)
	就 職 内 定 者 民 間 企 業 教 員 公 務 員 計	11 (18) 9 (2) 1 (2) 21 (22)	4 (3) 5 (5) 0 (0) 9 (8)	34 (40) 6 (1) 2 (2) 42 (43)	30 (17) 2 (11) 2 (4) 34 (32)
	就 職 未 定 者	4 (4)	0 (1)	2 (6)	3 (2)
	就職を希望しない者	14 (21)	24 (23)	33 (46)	58 (66)
	内 進 学 訣 その他	2 (5) 12 (16)	5 (3) 19 (20)	21 (35) 12 (11)	34 (39) 24 (27)
就職希望率(%)	64.1 (55.3)	27.3 (28.1)	57.1 (51.6)	38.9 (34.7)	47.1% (43.4)
就職内定率(%)	84.0 (84.6)	100.0 (88.9)	95.5 (87.8)	91.9 (94.1)	92.2% (89.0)

[2大学計]

区分	県大	芸大	合計
	卒業者数	719 (705)	172 (193)
学部	就職希望者数	628 (617)	81 (83)
	就職希望率	87.3 (87.5)	47.1 (43.0)
	就職内定者数	627 (615)	76 (75)
	就職内定率	99.8 (99.7)	93.8 (90.4)
	卒業者数	74 (79)	72 (79)
大学院	就職希望者数	64 (69)	34 (35)
	就職希望率	86.5 (87.3)	47.2 (44.3)
	就職内定者数	64 (69)	30 (30)
	就職内定率	100.0 (100.0)	88.2 (85.7)
	卒業者数	146 (158)	99.2 (98.6)

※2025年3月31日現在 () は2024年3月31日現在

※大学院修了生で現職を継続する者は「就職内定者」に含む

3. 卒業生の進路状況(2023年度)

区分		県立大学			芸術大学			
		男	女	計	男	女	計	
卒業者数		229人	555人	784人	72人	202人	274人	
就職希望者	就職内定者	民間企業	164人	387人	551人	12人	66人	78人
		教員	9人	37人	46人	4人	15人	19人
		公務員	17人	70人	87人	1人	7人	8人
		計	190人	494人	684人	17人	88人	105人
	就職未定者		1人	1人	2人	4人	9人	13人
	計		191人	495人	686人	21人	97人	118人
就職を希望しない者	進学	自大学	28人	21人	49人	18人	37人	55人
		他大学 (海外を含む)	0人	1人	1人	8人	14人	22人
		専修学校等	0人	3人	3人	1人	4人	5人
		計	28人	25人	53人	27人	55人	82人
	その他		10人	35人	45人	24人	50人	74人
	計		38人	60人	98人	51人	105人	156人
就職希望率		83.4%	89.2%	87.5%	29.2%	48.0%	43.1%	
就職内定率		99.5%	99.8%	99.7%	81.0%	90.7%	89.0%	

※2024年3月31日現在

※大学院修了生で現職を継続する者は「就職内定者」に含む

[県立大学]

区分	大学院				人
	国際文化	人間発達学	看護学	情報科学	
卒業者数	人 14 (8)	人 12 (9)	人 21 (23)	人 32 (29)	
就職希望者数	人 12 (3)	人 6 (9)	人 19 (23)	人 32 (27)	
就職内定者	人 9 (1)	人 2 (5)	人 10 (16)	人 31 (27)	
教員	人 2 (1)	人 3 (3)	人 4 (5)	人 0 (0)	
公務員	人 1 (1)	人 1 (1)	人 5 (2)	人 1 (0)	
計	人 12 (3)	人 6 (9)	人 19 (23)	人 32 (27)	
就職未定者	人 0 (0)	人 0 (0)	人 0 (0)	人 0 (0)	
就職を希望しない者	人 2 (5)	人 6 (0)	人 2 (0)	人 0 (2)	
内進学	人 1 (4)	人 0 (0)	人 0 (0)	人 0 (1)	
訳その他	人 1 (1)	人 6 (0)	人 2 (0)	人 0 (1)	
就職希望率(%)	85.7 (37.5)	50.0 (100.0)	90.5 (100.0)	100.0 (93.1)	
就職内定率(%)	100.0 (100.0)	100.0 (100.0)	100.0 (100.0)	100.0 (100.0)	

区分	学部					人	人	人
	外国語学部	日本文化学部	教育福祉学部	看護学部	情報科学部			
卒業者数	人 325 (331)	人 113 (96)	人 89 (93)	人 90 (82)	人 88 (97)	人 784 (768)		
就職希望者数	人 303 (302)	人 100 (84)	人 85 (92)	人 79 (73)	人 50 (70)	人 686 (683)		
就職内定者	人 258 (263)	人 71 (62)	人 47 (47)	人 79 (73)	人 44 (66)	人 551 (560)		
教員	人 12 (7)	人 9 (9)	人 14 (20)	人 0 (0)	人 2 (1)	人 46 (46)		
公務員	人 32 (30)	人 19 (11)	人 24 (25)	人 0 (0)	人 4 (3)	人 87 (73)		
計	人 302 (300)	人 99 (82)	人 85 (92)	人 79 (73)	人 50 (70)	人 684 (679)		
就職未定者	人 1 (2)	人 1 (2)	人 0 (0)	人 0 (0)	人 0 (0)	人 2 (4)		
就職を希望しない者	人 22 (29)	人 13 (12)	人 4 (1)	人 11 (9)	人 38 (27)	人 98 (85)		
内進学	人 2 (8)	人 5 (4)	人 0 (0)	人 10 (9)	人 35 (25)	人 53 (51)		
訳その他	人 20 (21)	人 8 (8)	人 4 (1)	人 1 (0)	人 3 (2)	人 45 (34)		
就職希望率(%)	93.2 (91.2)	88.5 (87.5)	95.5 (98.9)	87.8 (89.0)	56.8 (72.2)	87.5 (88.9)		
就職内定率(%)	99.7 (99.3)	99.0 (97.6)	100.0 (100.0)	100.0 (100.0)	100.0 (100.0)	100.0 (100.0)	99.7 (99.4)	

[芸術大学]

区分	大学院		学部		人	人	人
	美術研究科	音楽研究科	美術学部	音楽学部			
卒業者数	人 47 (47)	人 32 (34)	人 95 (100)	人 98 (105)	人 272 (286)		
就職希望者数	人 26 (20)	人 9 (7)	人 49 (42)	人 34 (38)	人 118 (107)		
就職内定者	人 18 (13)	人 3 (4)	人 40 (34)	人 17 (19)	人 78 (70)		
教員	人 2 (3)	人 5 (3)	人 1 (0)	人 11 (10)	人 19 (16)		
公務員	人 2 (0)	人 0 (0)	人 2 (1)	人 4 (2)	人 8 (3)		
計	人 22 (16)	人 8 (7)	人 43 (35)	人 32 (31)	人 105 (89)		
就職未定者	人 4 (4)	人 1 (0)	人 6 (7)	人 2 (7)	人 13 (18)		
就職を希望しない者	人 21 (27)	人 23 (27)	人 46 (58)	人 66 (67)	人 156 (179)		
内進学	人 5 (10)	人 3 (5)	人 35 (20)	人 39 (35)	人 82 (70)		
訳その他	人 16 (17)	人 20 (22)	人 11 (38)	人 27 (32)	人 74 (109)		
就職希望率(%)	55.3 (42.6)	28.1 (20.6)	51.6 (42.0)	34.7 (36.2)	43.4% (37.4)		
就職内定率(%)	84.6 (80.0)	88.9 (100.0)	87.8 (83.3)	94.1 (81.6)	89.0% (83.2)		

[2大学計]

区分	県大		芸大		合計	人
	卒業者数	就職希望者数	就職希望率	就職内定者数	就職内定率	
学部	705 (699)	617 (621)	87.5 (88.8)	43.0 (39.0)	78.0 (77.5)	
大学院	615 (617)	69 (62)	87.3 (89.9)	44.3 (33.3)	65.8 (59.3)	
	100.0 (100.0)	85.7 (85.2)	100.0 (99.4)	90.4 (82.5)	98.6 (97.4)	
	79 (69)	35 (27)	87.3 (89.9)	30 (23)	158 (150)	
	69 (62)	30 (23)	87.3 (89.9)	27 (32)	104 (89)	
	69 (62)	85.7 (85.2)	100.0 (99.4)	95.2 (95.5)	99 (85)	
	100.0 (100.0)	85.7 (85.2)	100.0 (99.4)	95.2 (95.5)	99.0% (83.2)	

※2024年3月31日現在 () は2023年3月31日現在

※大学院修了生で現職を継続する者は「就職内定者」に含む

4. 国家試験受験・免許資格取得の状況(2024年度)

県立大学(看護学部・看護学研究科以外)

学部	学科	免許・資格の種類	2024年度																					
			卒業者数	国家試験受験資格				免許資格取得者数(教免は一括申請数)	学科別免許取得率(%)	他学部他学科教員免許状取得学生数及び全学共通免許資格者数														
				受験者数	合格者数	合格率	全国大学平均合格率			英米	仏	西	独	中国	国際	国文	歴文	教育発達	社会福祉	情報	院(国)	院(人)	院(情)	計
外国語学部	英米	教免	96	英語中(英米)1種・2種				17	17.7%			1	1		2		1						5	
		教免		英語高(英米)1種				19	19.8%			2	2		2		1						7	
		学芸員の資格						1	1.0%														0	
	ヨーロッパ(フランス)	教免	51	仏語中1種・2種				0	0.0%														0	
		教免		仏語高1種				0	0.0%														0	
	ヨーロッパ(スペイン)	教免	33	西語中1種・2種				0	0.0%														0	
		教免		西語高1種				0	0.0%														0	
	ヨーロッパ(ドイツ)	教免	57	独語中1種・2種				0	0.0%														0	
		教免		独語高1種				1	1.8%														0	
	中国	教免	46	中国語中1種・2種				0	0.0%														0	
		教免		中国語高1種				0	0.0%														0	
日本文化学部	国文		47					0	0.0%														0	
		教免		国語中1種・2種				10	20.0%														4	
		教免		国語高1種				10	20.0%														2	
	歴文		50	学芸員の資格				1	2.0%														0	
		教免		社会中1種・2種				7	11.9%														2	
		教免		地理歴史高1種				7	11.9%														2	
教育福祉学部	教育発達		59	学芸員の資格				24	40.7%														0	
		教免		小1種・2種				18	39.1%														0	
		教免		幼1種・2種				26	56.5%														0	
		保育士						28	60.9%														0	
	社会福祉		46	学芸員の資格				0	0.0%														0	
		教免		公民高1種				0	0.0%														3	
		社会福祉士国家受験資格						49	90.7%														0	
情報科学部	情報科学科		78	精神保健福祉士国家受験資格				5	9.3%														0	
		教免		情報高1種				4	5.1%														0	
		教免		数学中1種				3	3.8%														0	
		教免		数学高1種				4	5.1%														0	
	情報科学科		617					0	0	3	3	0	4	0	2	12	0	1	0	0	0	25		
		教免		国語中専修				1	7.1%														0	
		教免		国語高専修				1	7.1%														0	
大学院	国際文化研究科		14	英語中専修				0	0.0%														0	
		教免		英語高専修				0	0.0%														0	
		教免		社会中専修				1	7.1%														0	
		教免		地理歴史高専修				1	7.1%														0	
		教免		小専修				2	20.0%														0	
		教免		幼専修				0	0.0%														0	
	情報科学研究科	教免	26	情報高専修				0	0.0%														0	
		小計						0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		合計						0	0	3	3	0	4	0	2	12	0	1	0	0	0	0	25	
日本語教員			539					14	2.6%	3	1	1	3	2	2	1	1						14	
学校図書館司書教諭(単位取得者数)			667					10	1.5%	2						4	1	3					10	

※社会福祉士及び精神保健福祉士の国家受験資格欄は新卒のみ。

※日本語教員欄は認定者数。（情報科学部、大学院生及び非正規生は対象外。）

※太学院の対象者は、博士前期課程修了者のみ

※9月卒業・修了者は含まない

県立大学(看護学部・看護学研究科)

学部	学科	免許・資格の種類	2024年度					
			卒業者数 (保健師国家 試験受験資 格は、公衆 衛生看護学 コース履修者 数)	国家試験受験資格 (新卒)			免許取 得率(%)	
			受験者数	合格者数	合格率	全国平均合 格率(大学・ 大学院(助 産師のみ)) ※		
看護 学部	看護学科	看護師国家試験受験資格	85	85	84	98.8%	95.9%	98.8%
大学院	看護学研 究科	保健師国家試験受験資格	4	4	4	100.0%	96.4%	100.0%
		助産師国家試験受験資格	5	5	5	100.0%	99.3%	100.0%

※看護師:3年課程大学新卒者の平均合格率、保健師:大学院新卒者の平均合格率、助産師:大学院新卒者の平均合格率

学部	学科	専攻	免許・資格の種類	2024年度			
				卒業者数	免許資格取得 者数(教免は 一括申請数)	学科別免 許取得率 (%)	
美術 学部	美術科	日本画・ 油画・彫 刻・芸術 学専攻	教免	美術中1種	45	12 26.7%	
				美術高1種		16 35.6%	
				工芸高1種		1 2.2%	
			学芸員の資格			8 17.8%	
	デザイン・ 工芸科	デザイン・ 陶磁専攻	教免	美術中1種	32	5 15.6%	
				美術高1種		8 25.0%	
				工芸高1種		6 18.8%	
音楽 学部	音楽科	作曲・声 楽・器楽	教免	学芸員の資格		1 3.1%	
				音楽中1種	95	42 44.2%	
				音楽高1種		53 55.8%	
			学芸員の資格			1 1.1%	
			小計		172		
大学院	美術研究科		教免	美術中専修	39	8 20.5%	
				美術高専修		8 20.5%	
				工芸高専修		0 0.0%	
			学芸員の資格			1 2.6%	
	音楽研究科		教免	音楽中専修	33	10 30.3%	
				音楽高専修		11 33.3%	
				学芸員の資格		0 0.0%	
			小計		72		
合計				244			

※9月卒業・修了者は含まない

4. 国家試験受験・免許資格取得の状況(2023年度)

県立大学(看護学部・看護学研究科以外)

学部	学科	免許・資格の種類	2023年度																					
			卒業者数	国家試験受験資格			免許資格取得者数(教免は一括申請数)	学科別免許取得率(%)	他学部他学科教員免許状取得学生数及び全学共通免許資格者数															
				受験者数	合格者数	合格率			英米	仏	西	独	中国	国際	国文	歴文	教育発達	社会福祉	情報	院(国)	院(人)	院(情)	計	
外国語学部	英米	教免	英語中(英米)1種・2種	116			18	15.5%	/	1			4		4							9		
			英語高(英米)1種				24	20.7%	/	2			4		4							10		
	ヨーロッパ(フランス)	教免	仏語中1種・2種	33			0	0.0%	/													0		
			仏語高1種				1	3.0%	/													0		
			学芸員の資格				1	3.0%	/													0		
	ヨーロッパ(スペイン)	教免	西語中1種・2種	48			0	0.0%														0		
			西語高1種				0	0.0%														0		
	ヨーロッパ(ドイツ)	教免	独語中1種・2種	39			0	0.0%														0		
			独語高1種				1	2.6%														0		
	中国	教免	中国語中1種・2種	42			0	0.0%														0		
			中国語高1種				0	0.0%														0		
日本文化学部	国文	教免	国語中1種・2種	56			0	0.0%														0		
			国語高1種				5	8.9%														3		
	歴文	教免	社会中1種・2種	57			12	21.4%														0		
			地理歴史高1種	57			2	3.5%														1		
			学芸員の資格				4	7.0%														1		
							23	40.4%														0		
教育福祉学部	教育発達	教免	小1種・2種	41			12	29.3%														2		
			幼1種・2種				25	61.0%														0		
			保育士				27	65.9%														0		
			学芸員の資格				0	0.0%														0		
	社会福祉	教免	公民高1種	48			0	0.0%														0		
			社会福祉士国家受験資格				42	87.5%														0		
			精神保健福祉士国家受験資格				13	27.1%														0		
							3	3.4%														0		
							3	3.4%														0		
							4	4.5%														0		
情報科学部	情報科学科	教免	情報高1種	88			0	3.4%														0		
			数学中1種				3	3.4%														0		
			数学高1種				4	4.5%														0		
小計				615			0	3	0	0	0	9	1	0	13	0	0	0	0	0	26			
大学院	国際文化研究科	教免	国語中専修	12			0	0.0%														0		
			国語高専修				0	0.0%														0		
			英語中専修				0	0.0%														0		
			英語高専修				1	8.3%														0		
			社会中専修				0	0.0%														0		
			地理歴史高専修				0	0.0%														0		
			学芸員の資格				1	8.3%														0		
	人間発達学研究科	教免	小専修	12			4	33.3%														0		
			幼専修				1	8.3%														0		
	情報科学研究科	教免	情報高専修	32			0	0.0%														0		
小計				56			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
合計				671			0	3	0	0	0	9	1	0	13	0	0	0	0	0	26			
日本語教員				527			19	3.6%	3	1	1	4	1								10			
学校図書館司書教諭(単位取得者数)				671			9	1.8%								5	6	1			12			

※社会福祉士及び精神保健福祉士の国家受験資格欄は新卒のみ。

※日本語教員欄は認定者数。(情報科学部、大学院生及び非正規生は対象外。)

※大学院の対象者は、博士前期課程修了者のみ。

※9月卒業・修了者は含まない。

県立大学(看護学部・看護学研究科)

学部	学科	免許・資格の種類	2023年度					
			卒業者数 (保健師国家 試験受験資 格は、公衆 衛生看護学 コース履修者 数)	国家試験受験資格 (新卒)			全国平均合 格率(大学・ 大学院(助 産師のみ)) ※	免許取 得率(%)
				受験者数	合格者数	合格率		
看護 学部	看護学科	看護師国家試験受験資格	90	90	90	100.0%	93.2%	100.0%
大学院	看護学研 究科	保健師国家試験受験資格	4	4	4	100.0%	97.7%	100.0%
		助産師国家試験受験資格	2	2	2	100.0%	99.3%	100.0%

※看護師:3年課程大学新卒者の平均合格率、保健師:大学院新卒者の平均合格率、助産師:大学院新卒者の平均合格率

学部	学科	専攻	免許・資格の種類	2023年度			
				卒業者数	免許資格取得 者数(教免は 一括申請数)	学科別免 許取得率 (%)	
美術 学部	美術科	日本画・ 油画・彫 刻・芸術 学専攻	教免	48	11	22.9%	
					18	37.5%	
					0	0.0%	
	デザイン・ 工芸科	デザイン・ 陶磁専攻	学芸員の資格		8	16.7%	
			47	2	4.3%		
				3	6.4%		
音楽 学部	音楽科	作曲・声 楽・器楽		教免		2	4.3%
						2	4.3%
						55	56.1%
	音楽科	作曲・声 楽・器楽	学芸員の資格	98	64	65.3%	
					2	2.0%	
小計				193			
大学院	美術研究科		教免	47	6	12.8%	
					8	17.0%	
					1	2.1%	
			学芸員の資格		0	0.0%	
	音楽研究科		教免	32	14	43.8%	
					15	46.9%	
			学芸員の資格		0	0.0%	
			小計		79		
合計					272		

※9月卒業・修了者は含まない

5. 外部資金の状況(第3期:2019年度～2024年度)

区分	年度	県立大学		芸術大学		事務局		合計	
		件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
奨学寄附金 (利息を含む)	2018年度 (参考)	20	55,702	134	9,260			154	64,962
	2019年度	38	17,272	136	7,720			174	24,992
	2020年度	17	16,193	127	6,549			144	22,742
	2021年度	24	23,118	130	9,372			154	32,490
	2022年度	29	9,904	284	16,783	1	1,000	314	27,687
	2023年度	24	16,252	122	6,638			146	22,890
	2024年度	21	54,495	118	7,549			139	62,044
受託研究費	2018年度 (参考)	3	8,296	7	21,203			10	29,499
	2019年度	3	8,309	6	11,102			9	19,411
	2020年度	3	2,803	6	3,565			9	6,368
	2021年度	4	6,385	10	18,134			14	24,519
	2022年度	8	17,575	4	22,106			12	39,681
	2023年度	12	27,454	10	40,820			22	68,274
	2024年度	9	13,380	6	22,265			15	35,645
共同研究費	2018年度 (参考)	15	22,620	1	1,525			16	24,145
	2019年度	10	11,571	1	1,859			11	13,430
	2020年度	6	9,028	3	2,012			9	11,040
	2021年度	5	5,700	3	3,013			8	8,713
	2022年度	5	15,518	3	3,162			8	18,680
	2023年度	7	15,185	3	1,603			10	16,788
	2024年度	5	12,556	3	2,000			8	14,556
科学研究費 補助金等	2018年度 (参考)	154	145,355	15	15,765			169	161,120
	2019年度	151	127,708	15	20,260			166	147,968
	2020年度	153	133,854	14	13,879			167	147,733
	2021年度	161	146,796	14	17,597			175	164,393
	2022年度	157	125,588	22	32,632			179	158,220
	2023年度	135	103,598	18	25,317			153	128,915
	2024年度	136	103,406	15	21,710			151	125,116
受託事業費等	2018年度 (参考)	3	482	22	40,550			25	41,032
	2019年度	6	1,461	14	19,469			20	20,930
	2020年度	6	2,171	8	14,008			14	16,179
	2021年度	8	6,048	17	27,100			25	33,148
	2022年度	8	6,972	16	28,429			24	35,401
	2023年度	8	6,957	19	40,894			27	47,851
	2024年度	8	7,494	14	26,064			22	33,558
その他補助金	2018年度 (参考)	0	—	0	—			0	0
	2019年度	1	2,145	1	2,530			2	4,675
	2020年度	5	3,522	4	3,272			9	6,794
	2021年度	7	10,478	6	2,634			13	13,112
	2022年度	9	22,361	7	2,993	1	500	17	25,854
	2023年度	4	24,984	9	4,165			13	29,149
	2024年度	8	70,374	6	2,922			14	73,296
計	2018年度 (参考)	195	232,455	179	88,303	0	0	374	320,758
	2019年度	209	168,466	173	62,940	0	0	382	231,406
	2020年度	190	167,571	162	43,285	0	0	352	210,856
	2021年度	209	198,525	180	77,850	0	0	389	276,375
	2022年度	216	197,918	336	106,105	2	1,500	554	305,523
	2023年度	190	194,430	181	119,437	0	0	371	313,867
	2024年度	187	261,705	162	82,510	0	0	349	344,215

注1) 科学研究費補助金等の金額については、当該年度の分担金相当額を含めた実受入額とし、転出及び他機関へ送金する分担額は除く。

注2) 金額については、千円未満を切り捨て。

〈参考〉

- 奨学寄附金 : 学術研究経費に充てることを目的として受け入れる寄付金
- 受託研究費 : 民間企業等から委託を受けて研究を行う際に受け入れる研究費
- 共同研究費 : 民間企業等と大学教員が共同して研究を行う際に受け入れる研究費
- 科学研究費補助金等 : 学術振興のため、あらゆる分野で独創的・先駆的な研究を発展させることを目的とする研究助成費
- 受託事業費等 : 民間企業等から委託を受けて事業を行う際に受け入れる事業費

6. 科学研究費補助金等の申請状況

【県立大学】

申請率	2018年度 (参考)	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
教員数(人) A	193	189	190	191	192	189	189
(うち休退職予定者)	-	(1)	(3)	(7)	(6)	(3)	(9)
代表者(継続・延長分含む) (人) B	145	142	141	138	134	141	139
(うち新規)	(69)	(83)	(65)	(61)	(70)	(82)	(86)
分担者(新規・継続) (人) C	11	18	14	16	17	19	19
申請率 (B+C)/A	80.8%	85.1%	82.0%	81.1%	79.1%	85.1%	84.0%

- ・2020年度教員数は2020年10月1日時点。
- ・教員数には、学長、外国人教員、客員教授、長期休業中や任期付教員を含まない。
- ・研究代表者と研究分担者で重複した場合、研究代表者を優先する。
- ・新規と継続で重複した場合、新規を優先する。

【芸術大学】※第三期中期計画における指標：科学研究費補助金及び他の助成金を毎年度20件以上申請

	2018年度 (参考)	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
科学研究費 (件)	12	10	12	10	10	11	10
その他助成金 (件)	21	18	18	13	21	21	19
計	33	28	30	23	31	32	29

- ・教員数には、学長、外国人教員及び客員教授を含まない。

科学研究費の新規採択率

【県立大学】

2023年度申請分 ↓

	2018年度 (参考)	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
新規応募件数 (件)	88	80	92	72	64	80	86
新規採択件数 (件)	25	20	34	23	13	27	21
新規採択率 (%)	28.4%	25.0%	37.0%	31.9%	20.3%	33.8%	24.4%

【芸術大学】

2023年度申請分 ↓

	2018年度 (参考)	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
新規応募件数 (件)	9	11	8	12	12	9	11
新規採択件数 (件)	4	2	0	3	6	1	1
新規採択率 (%)	44.4%	18.2%	0.0%	25.0%	50.0%	11.1%	9.1%

【参考】

- 文部科学省「研究者が所属する研究機関別 採択件数・配分一覧」をもとに作成

(各年度の科学研究費として採択された研究について、新規応募件数及び新規採択件数並びに新規採択率を集計)

(参考)2024年度科学研究費の新規採択率による他大学比較

【県立大学】

※学生数が同規模程度（2,500～5,000名）の公立大学

	愛知県立大学	名古屋市立大学	静岡県立大学	都留文科大学	高崎経済大学	滋賀県立大学	長崎県立大学
新規応募件数（件）	86	536	160	32	20	102	38
新規採択件数（件）	21	134	54	6	7	29	2
新規採択率（%）	24.4%	25.0%	33.8%	18.8%	35.0%	28.4%	5.3%

【芸術大学】

※美術系学部もしくは芸術系学部のみを有する国公立大学

	愛知県立芸術大学	秋田公立美術大学	金沢美術工芸大学	静岡文化芸術大学	京都市立芸術大学	沖縄県立芸術大学	東京藝術大学（国立）
新規応募件数（件）	10	18	3	15	14	23	55
新規採択件数（件）	1	2	1	3	3	8	17
新規採択率（%）	10.0%	11.1%	33.3%	20.0%	21.4%	34.8%	30.9%

【参考】

- 文部科学省「研究者が所属する研究機関別 採択件数・配分一覧（令和6年度）」をもとに作成
(2024年度科学研究費に採択された研究について、新規応募件数及び新規採択件数並びに新規採択率を集計)

7. 公開講座等の開催状況(2024年度)

大学名	事業区分	講座名	回数	実施日数(延べ)	参加者数(延べ)
県立大学	学術講演会	「紫式部は何を伝えたかったのか? —昭和13年『小學国語讀本 卷十一』の『源氏物語』を手がかりに—」	1	1	268
	公開講座	連続公開講座「県大アゲイン」	1	3	122
	公開講座	高齢化する外国人住民:日本の年金制度と介護保険制度」	1	1	125
	公開講座	「災害と伝承」	1	1	79
	公開講座	「スマートフォンやパソコンなんてこわくない! 健康のために高齢期の今こそ活用しよう」	1	1	47
	公開講座	「飯山由貴『In-Mates』上映会+対談 現代アートが描く人権、精神障がい、レイシズムの現在」	1	1	115
	公開講座	「和装本講座」	1	1	29
	公開講座	「未来を拓く共創活動～次なる“空飛ぶクルマ”を生み出す人をどう育むか」	1	1	404
	公開講座	「オンライン・メディアの感動ニュースから英語と異文化を学ぼう」	1	1	15
	公開講座	「異文化「終活」セミナー(その5)」	1	1	105
	公開講座	「日本におけるコミュニティ通訳」	1	1	445
	公開講座	「文化財レスキュー活動の啓蒙・普及 大学が取り組むべき課題「中部地方の歴史保全活動に学ぶ」」	1	1	142
	公開講座	2024年度発達障害フォーラム「子どもの発達を保障するための支援とは」	1	1	70
	公開講座	「激変する世界を地域から考える」	1	1	118
	公開講座	「東アジアの版本を問う」	1	1	176
	公開講座	「2024年度第1回 愛知県立大学 世界史セミナー アメリカはなぜイスラエルを支援するのか」	1	1	44
	公開講座	「不安」から照らす「生」の諸相 ことば・こころ・肉体…キュレーターを招く 暮らしから建築を見る～自然、都市、社会～	1	1	107
	公開講座	「インドネシア現地政治経済事情講演会 プラボウォ政権をどう見るか—ジョコウィ政権からの継承と刷新—」	1	1	36
	公開講座	「サンパウロ市におけるジェンダーの不平等とインターフェクショナリティ —都市、環境と社会問題—」	1	1	83
	公開講座	もっと知りたいインドネシア語講座(初～中級)	1	4	77
	公開講座	「第7回 国際セミナー 2025年、世界の展望」	1	1	110
	公開講座	「2024年度第2回 愛知県立大学 世界史セミナー 20世紀ドイツにおける戦争障害者支援の一側面—盲導犬の活用」	1	1	25
	公開講座	「認知症セミナー 知る 気づく 認知症について知ろう! ～すべての人が希望をもって暮らす共生社会のために～」	1	1	82
	公開講座	「性暴力被害防止セミナー」	1	1	80
	公開講座	看護実践センター セミナー	10	10	2,441
小計			34	39	5,345

大学名	事業区分	講座名	回数	実施日数(延べ)	参加者数(延べ)
芸術大学	公開講座(芸術講座)	レクチャーコンサート ヴァイオリンとピアノ・デュオの魅力 Vol.1ロベルト・シューマンの3つの《ヴァイオリンとピアノのためのソナタ》	1	1	129
	公開講座(芸術講座)	レクチャーコンサート サクソフォンとピアノで切り拓く ピアノトリオの新たな可能性 Vol. 1	1	1	70
	公開講座(芸術講座)	レクチャーコンサート ベートーヴェンのヴァイオリン・ソナタ 第2回	1	1	103
	公開講座(芸術講座)	レクチャーコンサート 鳥の聖地	1	1	65
	公開講座(芸術講座)	レクチャーコンサート さまざまな時代の弦楽四重奏曲を聴く	1	1	110
	公開講座(芸術講座)	LIVING ROOM A LIVE TALK ①	1	1	74
	公開講座(芸術講座)	クリティカル・ライティング・ワークショップ 「スピーキング・アウト！書きたくないけど、どうしても伝えたい」	1	2	8
	公開講座(芸術講座)	《 災害と文化財第9回》—地域とのつながり	1	1	74
	公開講座(芸術講座)	Charles Neidich レクチャー／マスタークラス	1	1	20
	公開講座(芸術講座)	愛知パーカッション・フェア2024 ～「共鳴～Kyo-mei」が繋ぐさまざまなパーカッションの世界～ メディア・クロス・トーク	1	2	68
	公開講座(芸術講座)	“フランスのソナタとロシアのトリオ” レクチャーコンサート 北住 淳 退任記念	1	1	241
	公開講座(芸術講座)	Animation in Academia/アニメーション・イン・アカデミア	1	1	35
	公開講座(芸術講座)	室内楽の饗演Ⅱ(全3回)vol.1 ～福本泰之教授プロデュース～ 愛知県立芸術大学弦楽器コース教員を中心として	1	1	271
小計			13	15	1,268
合計			47	54	6,613

7. 公開講座等の開催状況(2023年度)

大学名	事業区分	講座名	回数	実施日数(延べ)	参加者数(延べ)
県立大学	学術講演会	学術講演会「若者へのメッセージ」～複雑化する行政の現場から～	1	1	63
	公開講座	連続公開講座「県大アゲイン」	1	4	175
	公開講座	ジブリの森へ 宮崎駿作品を読む	1	1	116
	公開講座	ともに夢見る未来—ブラジル人住民のキャリア形成と職業アスピレーション	1	1	105
	公開講座	死刑を考える	1	1	143
	公開講座	ポリフォニー的世界への窓III -3・11子ども甲状腺がんと日本の原子力政策	1	1	195
	公開講座	教育福祉学部創設70周年記念事業「サブカルチャーの描いた自然と調和する社会のヴィジョンは、社会を変えていくのか」	1	1	116
	公開講座	UNHCR 難民映画祭パートナーズ上映『ナディアの誓い』	1	1	77
	公開講座	終末期ケア・看取りの視点から異文化「終活」を考えるセミナー(その4)	1	1	85
	公開講座	和装本講座	1	1	36
	公開講座	海外英字新聞を読み、英語と国際情勢を学ぶ	1	1	23
	公開講座	発達障がいフォーラム(自閉スペクトラム症児者の理解と支援)	1	1	165
	公開講座	2023年度 第1回愛知県立大学世界史セミナー 秩序と犯罪から見る近世ドイツ:暴力が渦巻く非文明的な社会?	1	1	54
	公開講座	着る・触れる・学ぶ 日本古代の衣装～書物と復元から～	1	1	56
	公開講座	自然環境を利用した新たな健康づくり－森林セラピーへの誘い－	1	1	55
	公開講座	愛知県立大学 ポリフォニー的世界への窓IV 日本で暮らす南米にルーツをもつ人の現在から次世代へ	1	1	115
	公開講座	「不安」から照らす「生」の諸相 ことば・こころ・肉体…ジャーナリストを招く「ドイツの地方都市から考える、「余暇」の未来」	1	1	112
	公開講座	東日本大震災後のふくしまの資料保全活動に学ぶ—歴史・文化の護り手になるために—	1	1	144
	公開講座	第6回国際セミナー 2024年、世界の展望	1	1	112
	公開講座	2023年度 第2回愛知県立大学世界史セミナー アラブ・イスラーム世界で最も古い歴史をもつ王国モロッコ	1	1	61
	公開講座	性暴力被害防止セミナー	1	1	80
	公開講座	知る 気づく 若年性認知症とは?~届け、ヤングケアラーへの支援	1	1	83
	公開講座	しだみゅー歴史セミナー記念講演会「尾張連草香の國—尾張氏が王権とその歴史の舞台に登場する時代—」	1	1	215
	公開講座	看護実践センター セミナー	10	10	2,130
小計			33	36	4,516

大学名	事業区分	講座名	回数	実施日数(延べ)	参加者数(延べ)
芸術大学	公開講座(芸術講座)	ベートーヴェンのヴァイオリン・ソナタ 第1回	1	1	105
	公開講座(芸術講座)	レクチャーコンサート シューベルトの弦楽四重奏曲	1	1	138
	公開講座(芸術講座)	クリティカル・ライティング・ワークショップ 「結んだりほどいたりする(批評)」	1	1	10
	公開講座(芸術講座)	日本映像学会メディアアート研究会企画「”AIと映像表現”」	1	1	27
	公開講座(芸術講座)	アニメーションのナラティブ序説	1	1	32
	公開講座(芸術講座)	「共鳴～Kyo-mei」プロジェクト講座 ～共に鳴り、共に在る～ Vol.3	1	1	17
	公開講座(芸術講座)	「テューバ専攻から録音のスペシャリストへ」&「スマホを使った録音ワークショップ」	1	2	59
	公開講座(芸術講座)	《第8回災害と文化財講座》「減災—美術館の取り組み」	1	1	35
	公開講座(芸術講座)	レクチャーコンサート ピアノ内部の宇宙	1	1	100
	公開講座(芸術講座)	レクチャーコンサート フィンランド・ピアノ音楽を概観する	1	1	25
	公開講座(芸術講座)	レクチャーコンサート ロシアのクラシック音楽におけるロシア正教の影響	1	1	120
	公開講座(芸術講座)	レクチャーコンサート サクソフォンとテクノロジーの融合する瞬間	1	1	24
	公開講座(芸術講座)	城戸保展アーティストトーク	1	1	18
小計			13	14	710
合計			46	50	5,226

8. 展覧会の開催状況(2024年度)

芸術大学

場所	展示名称	日数	入場者数	一日平均	備考
芸術資料館	デザイン専攻展	7	830	119	2024年5月30日(木)～6月6日(木)
	油画・版画領域研究発表展(博士前期課程2年)	7	183	26	2024年6月13日(木)～6月20日(木)
	油画・版画領域研究発表展(博士前期課程1年)	7	184	26	2024年6月27日(木)～7月4日(木)
	油画専攻4年研究発表展	7	188	27	2024年7月11日(木)～7月18日(木)
	AICHI GEIDAI × SEOULTECH, CERAMIC ART & DESIGN EXCHANGE EXHIBITION	7	115	16	2024年8月30日(金)～9月8日(日)
	日本映像学会メディアアート研究会企画展示「反射するリアリティ展」	8	221	28	2024年9月20日(金)～10月5日(土)
	第49回美術学部教員展	10	1,612	161	2024年10月25日(金)～11月4日(月・祝)
	愛知パーカッション・フェア2024～共鳴が繋ぐさまざまなパーカッションの世界	2	131	66	2024年11月9日(土)、11月10日(日)
	陶磁領域研究発表展(博士前期)・陶磁専攻研究発表展(学部3.4年)	7	180	26	2024年11月14日(木)～11月21日(木)
	博士後期課程研究発表展(1.2年)	5	118	24	2024年11月27日(水)～12月1日(日)
	博士学位論文・作品本審査展	5	119	24	2025年1月22日(水)～1月26日(日)
	卒業・修了制作展	7	3,018	431	2025年2月20日(木)～2月26日(水) 卒展全体は「その他」欄に記載
	彫刻専攻オーブンスタジオ	5	—	—	
	小計	84	6,899	82	
法隆寺金堂壁画模写春季展示館	法隆寺金堂壁画模写春季展(4月)【特別陳列】	0	0	0	※長寿命化工事のため閉館
	法隆寺金堂壁画模写春季展(5月)【特別陳列】	0	0	0	※長寿命化工事のため閉館
	法隆寺金堂壁画模写秋季展(10月)【特別陳列】	0	0	0	※長寿命化工事のため閉館
	法隆寺金堂壁画模写秋季展(11月)【特別陳列】	0	0	0	※長寿命化工事のため閉館
	小計	0	0	0	
サテライトギャラリー	菅隆紀「HOGAN」	20	165	8	2024年4月13日(土)～5月5日(日)
	つづき りょうこ個展「Layer」	20	163	8	2024年5月11日(土)～6月2日(日)
	浅野典子「刹那の記憶」	19	109	6	2024年6月9日(日)～6月30日(日)
	アーティスト・イン・レジデンス2024 北條知子「recordari」	8	135	17	2024年7月13日(土)～7月21日(日)
	コレクション+ノットコレクション展 夢の中で	20	197	10	2024年8月24日(土)～9月15日(日)
	石場文子個展「えいきゅうほぞんぶつ / permanent object」	20	133	7	2024年9月28日(土)～10月20日(日)
	A・FAM展@NAF2024(第5回愛知県立芸術大学美術学部同窓会展)	21	286	14	2024年10月25日(金)～11月17日(日)
	織田真二個展	19	127	7	2024年11月24日(日)～12月15日(日)
	田中藍衣個展	20	377	19	2025年1月18日(土)～2月9日(日)
	博士学位論文・作品展	5	84	17	2025年2月20日(木)～2月26日(水)
	名古屋工業大学+愛知県立芸術大学ARTFUL CAMPUS F+LAB(美術) 共創研究の成果展	6	52	9	2025年3月8日(土)～3月14日(金)
	小計	178	1,828	10	
その他	令和6年度卒業・修了制作展	7	3,891	556	2025年2月20日(木)～2月26日(水)
	「Beyond A and Z」 アートラボあいち	17	629	37	2024年7月12日(金)～8月12日(月・祝)
	小計	24	4,520	188	
合計		286	13,247	46	

8. 展覧会の開催状況(2023年度)

芸術大学

場所	展示名称	日数	入場者数	一日平均	備考
芸術資料館	resonancia: II 作曲専攻作曲コース×陶磁専攻芸術表現コース合同課題発表展	3	148	49	
	油画・版画領域研究発表展(博士前期課程2年)	7	236	34	
	デザイン専攻展	6	846	141	
	油画・版画領域研究発表展(博士前期課程1年)	7	220	31	
	油画専攻4年研究発表展	7	299	43	
	日本映像学会メディアアート研究会企画展示「移動と身体－知覚する表現」	10	128	13	
	博士前期課程彫刻領域・彫刻専攻研究生発表展	7	240	34	
	第48回美術学部教員展	9	1,111	123	
	陶磁領域研究発表展(博士前期)・陶磁専攻研究発表展(学部3.4年)	7	187	27	
	博士後期課程研究発表展(1.2年)	5	58	12	
	石井先生・神田先生退任展	8	382	48	
	博士学位論文・作品本審査展	6	147	25	
	卒業・修了制作展	7	2,769	396	卒展全体は「その他」欄に記載
	小計	89	6,771	76	
法隆寺金堂壁画模写春季展(4月)【特別陳列】絵の中の動植物	法隆寺金堂壁画模写春季展(4月)【特別陳列】絵の中の動植物	15	105	7	
	法隆寺金堂壁画模写春季展(5月)【特別陳列】絵の中の動植物	12	152	13	
	法隆寺金堂壁画模写秋季展(10月)【特別陳列】				※長寿命化工事のため閉館
	法隆寺金堂壁画模写秋季展(11月)【特別陳列】				※長寿命化工事のため閉館
	小計	27	257	10	
サテライトギャラリ	田島圭個展 1-135 縁側からのルポルタージュ「白い紙に黒い四角」	20	210	11	
	コレクション展1 ひとのかたち—写実—	17	150	9	
	コレクション展2 ひとのかたら—抽象—	17	181	11	
	ラルフ・フリッツ・ベアガー Ralf Fritz Berger 名古屋方面は7路線 SEVEN LINES FOR NAGOYA	20	178	9	
	"Shamanic Myths" Hasan・KIRAN Solo Exhibition	13	140	11	
	阿野義久退任記念展 「循環—こころに在るもの」	20	367	18	
	中谷聰退任記念展	20	210	11	
	のこす/作法 鶴飼聰子	20	231	12	
	神田毎実退任展 vol.2 そして舟は行く～彷徨～	20	261	13	
	博士学位論文・作品展	6	127	21	
	城戸保個展	20	232	12	
	小計	193	2,287	12	
	合計	336	13,926	41	
その他	令和5年度卒業・修了制作展	7	4,243	606	学内実施
	アートラボあいち 境界の隙間で(Gap in boundary)	20	368	18	アートラボあいち
	小計	27	4,611	171	

9. 演奏会・演奏派遣等の開催状況(2024年度)

○ 演奏会

年度	学内(奏楽堂等) 公演名	学外				
		観客数	日程	公演名	主催	観客数
2024	第887回(作曲)	カウント対象外	5/13	名古屋大学キャンパスコンサート2024春	名古屋大学／本学	359
	第888回(管打)		5/22	サウンドパフォーマンス特別講演ゾンビ音楽	名古屋工業大学／本学	100
	第889回(管打)		6/18	病院アウトリーチ	北保育園(知多郡武豊町)	97
	第890回(弦)		6/22	管弦楽団春季特別演奏会 岐阜公演	サラマンカホール	650
	第891回(弦)		6/26	病院アウトリーチ	東部保育園(瀬戸市)	97
	第892回(弦)		7/2	病院アウトリーチ	北保育園(知多郡武豊町)	97
	第893回(声楽)		7/5	みよし市小中学生思い出コンサート(小学生の部)	みよし市	573
	第894回(声楽)		7/5	みよし市小中学生思い出コンサート(中学生の部)	みよし市	619
	第895回(管打)		7/12	病院アウトリーチ	てとろ北保育園(長久手市)	52
	第896回(管打)		7/16	病院アウトリーチ	社会福祉法人イズ ALL4KIDSナーサリースクール長久手	49
	第897回(声楽)		7/29	病院アウトリーチ	大永寺保育園(守山区)	78
	第898回(声楽)		8/3	MUSIC in the GARAGE!(13時～の部)	中部圏イノベーション推進機構	49
	第899回(ピアノ)		8/3	MUSIC in the GARAGE!(15時～の部)	中部圏イノベーション推進機構	81
	第900回(ピアノ)		8/7	SMBCパーク栄コンサート	SMBCパーク栄	65
	第901回(ピアノ)		9/13	あいちアール・ブリュット 愛知県立芸術大学によるクラシックコンサート	愛知県	90
	第902回(ピアノ)		9/22	室内楽の楽しみ	本学	181
	第903回(ピアノ)		10/7	SMBCパーク栄コンサート	SMBCパーク栄	74
	第904回(作曲)		10/8	音楽学部第57回定期演奏会(第1夜)	本学	628
	第905回(作曲)		10/9	音楽学部第57回定期演奏会(第2夜)	本学	607
			10/28	こども愛知芸大	名古屋中ロータリークラブ／本学	220
			10/31	病院アウトリーチ	藤田医科大学病院	50
	7/31 日進市連携(ウインドオケ公開)	137	11/15	SMBCパーク栄コンサート	SMBCパーク栄	82
	12/9 第57回作曲作品演奏会 コンサート	72	11/17	管弦楽団第35回定期演奏会	愛知県芸術劇場／本学	1,122
	12/8 第57回作曲作品演奏会 コンサート公開リハーサル	7	12/6	あいちアール・ブリュット 出前コンサート 社会福祉法人アパティア福祉社会生活介護事業所パレットシンシア豊川	愛知県／本学	20
			12/7	大学オペラ2024《フィガロの結婚》	本学	447
			12/8	大学オペラ2024《フィガロの結婚》	本学	428
			12/10	あいちアール・ブリュット 出前コンサート 社会福祉法人愛恵協会多機能事業所てんじん	愛知県／本学	60
			12/13	ピアノ名曲コンサート	本学	217
			12/17	名古屋大学キャンパスコンサート2024冬	名古屋大学／本学	567
			12/17	エマーティングコンサート 第21回	宗次ホール／本学	185
			12/20	MUSIC in the GARAGE!	中部圏イノベーション推進機構	27
			12/21	弦楽合奏第19回定期演奏会長久手公演	本学	269
			12/24	あいちアール・ブリュット 出前コンサート 社会福祉法人愛知県厚生事業団愛厚藤川の里	愛知県／本学	60
			1/10	ウインドオーケストラ第25回定期演奏会	本学	294
			1/15	弦楽合奏第19回定期演奏会豊田公演	本学	375
			1/17	病院アウトリーチ	藤田医科大学病院	80
			1/17	病院アウトリーチ	藤田医科大学病院	70
			1/27	病院アウトリーチ	豊田西病院	30
			1/31	病院アウトリーチ	豊田西病院	30
			2/17	エマーティングコンサート 第22回	宗次ホール／本学	257
			2/18	新進演奏家コンサート(ピアノ)	本学	149
			2/24	弦楽器コース学生による室内楽の夕べvol. 23	本学	179
			2/28	病院アウトリーチ	藤田医科大学病院	65
			2/28	病院アウトリーチ	藤田医科大学病院	50

		3/3	SMBCパーク栄コンサート	SMBCパーク栄	39
		3/5	あいちアール・ブリュット 出前コンサート 社会福祉法人憩の郷地域活動支援センターおおぶ	愛知県／本学	30
		3/22	第18回大学院修了演奏会	本学	209
		3/24	音楽学部第56回卒業演奏会	本学	618
					計 10,775

○ 演奏派遣等

年度	日程	公演名	会場	主催	人数
2024	4/6	総合大雄会病院救命救急センター 慰労会	尾張一宮駅前ビル 7F シビックホール	総合大雄会病院救命救急センター	70
	7月~3月	名古屋中ロータリークラブ55周年記念事業	名古屋観光ホテル	名古屋中ロータリークラブ	-
	8/2	てとろ北保育園第1回てとろみんな食堂	てとろ北保育園	社会福祉法人てとろ	120
	9/1	第6回 ふれあいFanFunコンサート2024	愛知県芸術劇場コンサートホール	NPO法人Musik Engel	1,281
	9/7	豊田工業大学公開講座2024	豊田工業大学 豊田喜一郎記念ホール	豊田工業大学 次世代文明センター	170
	9/14	ぎふ清流ボウル2024	岐阜県長良川球場メドウ	東海学生アメリカンフットボール連盟	800
	9/21	ひまわりショップ長久手店13周年記念大感謝祭	ひまわりネットワーク長久手店	ひまわりネットワーク	25
	11/3	愛知県庁本庁舎公開イベント	愛知県本庁 講堂	愛知県	240
	11/27	山の小学校の演奏会	設楽町立名倉小学校 まるねホール	設楽町立名倉小学校	90
	2/10	特別公演クロストーク伝えるコト×表現するコト	室内楽ホール	中日新聞・愛知県立芸術大学	140
	2/19	公開レコーディング"音楽の風 I"	名古屋工業大学「NITech Hall」ホワイエ	名古屋工業大学・愛知県立芸術大学	54
	3/20	愛知県立大学2024年度卒業証書・学位記授与式	愛知県立大学長久手キャンパス講堂	愛知県立大学	778
	1/9	JASRACラーニングスクエア	講義棟大講義室	JASRAC・愛知県立芸術大学	28
	3月~4月	愛・地球博20祭 フラワービックニック	愛・地球博記念公園西エリア芝生広場ミニステージ	愛知万博20周年記念事業実行委員会	-
				計	3,796

9. 演奏会・演奏派遣等の開催状況(2023年度)

○ 演奏会

年度	学内(奏楽堂等)		学外			
	公演名	観客数	日程	公演名	主催	観客数
2023	第869回(作曲)	カウント無	6/20	愛・知・芸術のもりから～4手で織りなすピアノの魅力～	SMBCパーク栄	60
	第870回(管打)		7/6	アーティストインレジデンス2023「よくわからないもの」との対峙	本学	60
	第871回(管打)		7/6	名古屋大学キャンパスコンサート	名古屋大学／本学	340
	第872回(弦)		7/7	みよし市小中学生思い出コンサート(小学生の部)	みよし市	624
	第873回(弦)		7/7	みよし市小中学生思い出コンサート(中学生の部)	みよし市	644
	第874回(弦)		7/9	管弦楽団春季特別演奏会 津市公演	三重県文化会館	550
	第875回(声楽)		8/1	MUSIC in the GARAGE! -西前菜々子と愉快な仲間たち第二弾-	中部圏イノベーション推進機構	49
	第876回(声楽)		8/2	日進しえんコンサート	本学／日進市教育委員会	800
	第877回(管打)		8/2	日進しえんコンサート 楽器体験ブース	本学／日進市教育委員会	263
	第878回(管打)		9/12	愛・知・芸術のもりから～涼風と哀愁～	SMBCパーク栄	84
	第879回(声楽)		9/15	あいちアール・ブリュット 愛知県立芸術大学によるクラシックコンサート	愛知県	77
	第880回(声楽)		9/24	室内楽の楽しみ	本学	163
	第881回(ピアノ)		10/3	音楽学部第56回定期演奏会(第1夜)	本学	576
	第882回(ピアノ)		10/4	音楽学部第56回定期演奏会(第2夜)	本学	651
	第883回(ピアノ)		11/19	管弦楽団第34回定期演奏会	愛知県芸術劇場／本学	1,352
	第884回(ピアノ)		11/21	エマージングコンサート 第20回	宗次ホール／本学	179
	第885回(ピアノ)		11/22	愛・知・芸術のもりから～深まる秋のロマンチック・クラシック～	SMBCパーク栄	89
	第886回(作曲)		2/17	あいちアール・ブリュット 出前コンサート	愛知県／本学	45
	4/23 地形劇場こけら落としコンサート	166	12/9	大学オペラ2023《アルチーナ》	本学	385
	4/23 マラソンコンサート第1部	189	12/10	大学オペラ2023《アルチーナ》	本学	394
	4/23 マラソンコンサート第2部	230	12/11	名古屋大学キャンパスコンサート	名古屋大学／本学	469
	2/24 第56回作曲作品演奏会 コンサート	81	12/13	あいちアール・ブリュット出前コンサート	愛知県／本学	60
			12/15	あいちアール・ブリュット出前コンサート	愛知県／本学	30
			12/16	あいちアール・ブリュット出前コンサート	愛知県／本学	70
			12/22	MUSIC in the GARAGE!	中部圏イノベーション推進機構	39
			1/17	弦楽合奏第18回定期演奏会	本学	443
			1/19	ウンドオーケストラ第24回定期演奏会	本学	269
			2/21	弦楽器コース学生による室内楽のタペvol. 22	本学	152
			2/26	愛・知・芸術のもりから～クラリネットピアノの響き～	SMBCパーク栄	72
			3/8	室内楽の響演③花崎薫教授プロデュース～愛知県立芸術大学弦楽器コース教員を中心として～	本学	232
			3/19	愛・知・芸術のもりから～春、新たな飛躍～	SMBCパーク栄	63
			3/21	第17回大学院修了演奏会(第1夜)	本学	240
			3/22	第17回大学院修了演奏会(第2夜)	本学	251
			3/23	音楽学部第55回卒業演奏会	本学	561
					計	10,336

○ 演奏派遣等

年度	日程	公演名	会場	主催	人数
2023	9/3	第5回 ふれあいFanFunコンサート2023	愛知県芸術劇場コンサートホール	NPO法人Musik Engel	1,450
	9/9	ホームカミング／くすのき会(同窓会/教職員OB会)	豊田工業大学 喜一郎ホール	豊田工業大学 総務部	200
	9/29	山の小学校の演奏会	設楽町立名倉小学校 まるねホール	設楽町立名倉小学校	65
	10/21	ひまわりショップ長久手店12周年	ひまわりネットワーク長久手店	ひまわりネットワーク	43
	10/28	東海学生アメリカンフットボール連盟 秋季リーグ戦	名古屋市瑞穂ラグビー場	東海学生アメリカンフットボール連盟	550
	10/29	令和5年度大垣市芸術祭	大垣市	大垣市・同市教育会	-
	11/3	県庁本庁舎公開イベント	愛知県本庁 講堂	愛知県	296
	11/11	日本赤十字豊田看護大学開学20周年記念事業	日本赤十字豊田看護大学 講堂	日本赤十字豊田看護大学	200
	11/11	日本学生アメリカンフットボール協会全日本大学選手権1回戦	岐阜県長良川球場メドウ	日本学生アメリカンフットボール協会	600
	1/26	愛知医科大学病院師長会 新年会	星ヶ丘・アートグレイスクラブ	愛知医科大学病院	38
				計	3,442

10. 國際交流協定大学の状況

県立大学

学術交流協定校	所在地	担当学科	締結年月	(参考) 2018年度		2019年度		2020年度		2021年度		2022年度		2023年度		2024年度	
				受入 派遣		受入 派遣		受入 派遣		受入 派遣		受入 派遣		受入 派遣		受入 派遣	
				短期	ショート	短期	ショート	短期	ショート	短期	ショート	短期	ショート	短期	ショート	短期	ショート
1 シャルル・ド・ゴール＝リール第三大学	フランス／リール	フランス学科	1989/10	3	4	1	6			2	2	10	8	4	6	4	8
2 ブリストル大学	イギリス／ブリストル	英文学科	1999/9														
3 コー大学	アメリカ／アイオワ州	英米学科	1999/12														
4 ラス・アメリカス大学ペブル校	メキシコ／ペブル州	スペイン学科	2000/2	2	2	7	1	1	1								1
5 湖南大学	中国／光州	日本文化学科	2000/3	2	1			1									
6 南京師範大学	中国／江蘇省	中国学科	2000/7														
7 アンシャランド大学	アメリカ／オハイオ州	英米学科	2000/9														
8 四川師範大学	中国／四川省	児童教育学科・社会福祉科	2000/10	4	1	4	1	2		1		4		1		4	3
9 ケルン大学	ドイツ／ケルン	ドイツ学科	2003/1	1	2			3			1	6	1	2	1	2	2
10 アリカンテ大学	スペイン／バレンシア州	スペイン学科	2003/3		2		1			22		5	14		4	3	3
11 マイアミ大学キュー＝バ研究所	アメリカ／ダラム	国際文化研究科	2004/6														
12 ローマ・トル・ヴェルガータ大学	イタリア／ローマ	情報科学研究科	2008/8														
13 ラドフォード大学	アメリカ／バージニア州	情報科学学科	2008/10														
14 ライブツィヒ大学	ドイツ／ライプツィヒ	ドイツ学科	2009/6	1	3	1	3			2	1	1	3		2		2
15 アリゾナ州立大学	アメリカ／アリゾナ州	英米学科	2010/2			5								2		1	
16 ニューヨーク州立大学フレドニア校※1	アメリカ／ニューヨーク州	看護学科	2010/3		1	8		1						1			3
17 清州大学	韓国／清州市	社会福祉学科	2010/3	5	3	6	3						1	4			
18 サンパウロ大学	ブラジル／サンパウロ	歴史文化学科	2010/6	5	1	4	1	4	1		1	1		3	1	3	
19 ガジャマダ大学	中国学科	2010/9															7
20 セベリア連邦大学※2	ロシア	国際関係学科	2012/8	7	2	8	5	2	4	3		2					2
21 ア・コルニニヤ大学	スペイン	スペイン語	2013/5									1		1		2	1
22 ポートランド州立大学※3	アメリカ	国際交流室	2013/5			13			15				11				2
23 セントラルランカシャー大学	イギリス	英米学科	2013/6	2	1	7		1				2	1	3	2	1	1
24 サンディアゴ・ディ・コンボステーラ大学	スペイン	スペイン語	2013/11		5	6	2	4	9		1		5	2	4	2	15
25 ブリック・フットラ大学	スペイン	スペイン語	2013/10			2			2				2		2		3
26 ベルー・カトリカ大学	ベルー	歴史文化学科	2013/10	2	2	2	2							1			3
27 オッターベイン大学	アメリカ	英米学科	2014/3			5								1			
28 イーストアングリア大学	イギリス	英米学科	2014/3														
29 静宜大学	台湾	中国学科	2014/3	2	2	2	2						2	5	2	2	1
静宜大学・ダブルデグリー（学部、2年）	台湾	中国学科				1					1		1	2	1	1	
静宜大学・ダブルデグリー（修士、1年）	台湾	中国学科									1						
30 グアダラハラ大学	メキシコ	スペイン語	2014/3	4	3	3	2	1	5			1	2	1		2	1
31 スペイン国際政治学研究所	スペイン	日本文化学部	2014/3														
32 ニューカッスル大学	イギリス	英米学科	2014/4	1	2	1	3					4		2	1		3
33 ブレスピテリアン大学	アメリカ	英米学科	2014/5			1		2						1			
34 メキシコ国立自治大学	メキシコ	スペイン語	2014/5	2	2			3					2				
35 東邦大学	台湾	日本文化学部	2014/5	2	2	1					1		2		3	2	2
36 テュービンゲン大学	ドイツ	ヨーロッパ・ハーバード・イギリス語	2014/5	2	3	1	3			2	1		2	3	1	1	1
37 華東師範大学	中国	中国学科	2014/6			12							16	4			
38 フェララ栄養州立自治大学	メキシコ	スペイン語	2014/6	1		1		2	2								
39 ミュンスター大学	ドイツ	ヨーロッパ・ハーバード・イギリス語	2014/7			15		20						9		18	10
40 フランクフルト政府留学局	フランクフルト	ヨーロッパ・ハーバード・イギリス語	2014/7			5		7						5		7	3
41 韓国外国语大学	韓国	国際関係学科	2014/9	2	1	3				2	1	1	2	3	4	2	1
42 トゥルーズ大学	フランス	ヨーロッパ・ハーバード・イギリス語	2014/12	2	3	1	2				3	4	2	2	1	2	2
43 スインバーン工科大学	オーストラリア	国際交流室	2014/12			5		3				2	7				
44 ディーキン大学	オーストラリア	国際交流室	2014/12		2	1		2	5					5		13	17
45 Via Lactea・ジオ・アント・ブログラン・ボルガル	スペイン	スペイン語	2015/1														
46 ニューファンドランド・メモリアル大学	カナダ	英米学科	2015/3		5			6		1		1		3		3	5
47 ケベック大学モントリオール校	カナダ	ヨーロッパ・ハーバード・イギリス語	2015/6		2			2					2		1		1
48 IMAP (アジア太平洋洋大学交流機構)※3		国際交流室	2016/3		2	1	1	1	2	1				1		1	1
49 SAF (スタディー・アブロード・ファウンドーション)		国際交流室	2016/3					1					3	2		3	1
50 リューネブルク大学	ドイツ	ヨーロッパ・ハーバード・イギリス語	2016/3	1	3	3	3			2		1		3		3	2

学術交流協定校	所在地	担当学科	総結年月	(参考) 2018年度		2019年度				2020年度				2021年度				2022年度				2023年度				2024年度					
				受入 派遣		受入 派遣		受入 派遣		受入 派遣		受入 派遣		受入 派遣		受入 派遣		受入 派遣		受入 派遣		受入 派遣		受入 派遣		受入 派遣					
				短期	ショート	短期	ショート	短期	ショート	短期	ショート	短期	ショート	短期	ショート	短期	ショート	短期	ショート	短期	ショート	短期	ショート	短期	ショート	短期	ショート	短期	ショート		
51 CEUサン・パブロ大学	スペイン	歴史文化学科	2016/9	3	1				1																						
52 ティエラーズ大学	マレーシア	国際関係学科	2016/6		1																					2			2		
53 西オーストラリア大学	オーストラリア	国際交流室	2016/8																												
54 ウーロンゴン大学	オーストラリア	英米学科、国際関係学科	2016/12		1				2				4	1			1	1			5			2			3				
55 オーストラリアン・カソリック大学	オーストラリア	国際交流室、看護学部、教職課程	2017/3			4																12			11			17			
56 ミニニョ大学	ボルトガル	日本文化、外国語学部	2017/3	2			2					1							1	1		1		2	4		1	6			
57 クラスノヤルスク医療大学	ロシア	看護学科	2017/9		3	5																									
58 ブリュッセル自由大学	ベルギー	ヨーロッパ語学部、ラテン語圏	2017/12		2			2											1	1			1	1	1	1					
59 カリスマルニア州立大学チャンネルアイランド校	アメリカ	外国语学部	2018/7			1			2												1										
60 ロレーヌ大学	フランス	外国语学部	2018/12		2			2										2			2			2			2				
61 ソウル基督大学	韓国	教育福祉学部	2019/1				10																11		7			9			
62 ラオス国立大学	ラオス	外国语学部	2019/1																												
63 セビージャ大学	スペイン	外国语学部	2019/2																2	4	2	3	2	3							
64 ラモン・リュイ学院	スペイン	外国语学部	2019/3																												
65 ナワミンタラティラート大学	タイ	看護学部	2019/3					10																					5		
66 タシケント国立東洋学大学	ウズベキスタン	外国语学部、日本文化学部	2019/7																												
67 ノートルダム大学	アメリカ	外国语学部	2019/8						13																						
68 ゲント大学	ベルギー	外国语学部	2021/1																4	1	1	1	2			3					
69 東海大学	台湾	外国语学部	2022/8																			2	3	4	2	12					
70 サマルカンド国立外国语大学	ウズベキスタン	外国语学部、日本文化学部	2023/7																						1	3					
71 リスボン大学機関 (ISCTE)	ポルトガル	外国语学部	2023/9																												
72 ラブラブセブ国際大学	フィリピン	教養教育センター	2024/2																										21		
73 ベトナム国家大学ハノイ人文社会大学	ベトナム	外国语学部	2024/3																												
74 アマゾナス連邦大学	ブラジル	日本文化学部	2024/3																												
75 RMIT大学	オーストラリア	国際文化研究科	2024/8																												
76 IMTアトランティック	フランス	情報科学部	2024/11																												
合 計				58	3	78	102	46	20	73	79	13	0	23	23	11	0	61	41	41	0	80	33	34	11	59	65	37	0	69	134

○受入数は、年度内に新規に受け入れた数、派遣数は、年度内に新規に派遣した数

※1 ショートプログラム派遣（3ヶ月未満）のみの協定

※2 受入は隔年で実施（ショートプログラムによる受入は、シベリア連邦大学のみ（H26時点））

※3 プログラム、コンソーシアムであるため、協定の数としてのカウントはしない。

○網掛け部分は、協定が終了した期間

芸術大学

学術交流協定校	所在地	担当科	締結年月	(参考) 2018年度		2019年度		2020年度		2021年度		2022年度		2023年度		2024年度			
				受入 派遣		受入 派遣		受入 派遣		受入 派遣		受入 派遣		受入 派遣		受入 派遣			
				短期	ショート	短期	ショート	短期	ショート	短期	ショート	短期	ショート	短期	ショート	短期	ショート		
1 南京芸術学院	中国／江蘇省	美術学部 音楽学部	1985/10																
2 ケルン音楽大学	ドイツ／ ケルン	音楽学部	2011/1			2			2							1		1	
3 シラバコーン大学	タイ／ バンコク	美術学部 音楽学部	2011/2			8									1		1	2	
4 マンハッタン音楽院	アメリカ ／ニューヨーク州	音楽学部	2011/3																
5 パリ＝ソルボンヌ大学	フランス ／パリ	音楽学部	2011/6																
6 ハンブルク音楽大学	ドイツ／ ハンブルク	音楽学部	2011/11		2		1		1							1		1	
7 リスト音楽院	ハンガリー／ ブダペスト	音楽学部	2011/12			2			1					2		1		2	
8 チェンマイ大学美術学部	タイ／ チエンマイ	美術学部	2013/3	1		1		2											
9 台南芸術大学	台湾／台 南	音楽学部 音楽	2013/7	1		1								2					
10 サレノ大学	イタリア／ サレノ	教養教育	2014/4			5			7										
11 ワイマール・フランクフルト音楽大学音楽器学科	ドイツ／ ワイマール	管打楽器 コース	2015/1																
12 ロンドン芸術大学	イギリス ／ロンドン	美術学部	2015/3	1		1													
13 ウズベキスタン美術工芸大学	ウズベキス タン／タ ンカント	美術学部	2015/11																
14 大連民族大学	中国／ 大連	美術学部	2015/11																
15 カリフォルニア大学サンディエゴ校	アメリカ／ サンディエゴ	音楽学部	2016/2																
16 モンゴル国立文化芸術大学	モンゴル／ ウランバートル	音楽学部	2017/9																
17 ミラノ大学	イタリア／ ミラノ	美術学部 音楽学部	2016/11											1					
18 メキシコ国立自治大学	メキシコ／ メキシコシティ	美術研究 科	2018/3																
19 サマルカンド大学	ウズベキス タン／サマ ルカンド	美術学部	2018/5																
20 タンベレ応用科学大学	フィンラン ド／タンベ レ	美術学部 音楽学部	2018/6	1										3			1		
21 コム・スコルト・ ・フ・概念サンクトペテルブルク音楽院	ロシア／サ ンクトペテ ルブルク	音楽学部	2018/9																
22 国立ソウル科学技術大学校美術デザイン学部	韓国／ソウル	美術学部	2018/9							1							17		
23 ヨーテボリ大学音楽演劇アカデミー	スウェーデン ／ヨーテボリ	音楽学部	2021/2											1		1		1	
24 ソウル市立大学	韓国／ソウル	美術学部	2022/1																
25 ブリュッセル王立音楽院	ベルギー／ ブリュッセ ル	音楽学部	2022/12																
26 韓国総合芸術学校	韓国／ソウル	音楽学部	2024/9																
27 オーバリン大学	アメリカ／ オーバリン	音楽学部	2024/12													3	0	1	0
合 計				4	0	9	13	3	0	4	8	0	0	0	0	6	0	4	0
																3	0	1	0
																3	18	0	0
																5	2		

○受入・派遣：短期は、3ヶ月～1年の人員、ショートは、ショートプログラム（3ヶ月未満）の人員【H24以降記載】

○受入数は、年度内に新規に受け入れた数、派遣数は、年度内に新規に派遣した数

○網掛け部分は、協定が終了した期間

11. 留学生の受入状況(2019年度～2024年度)

※年度内に受け入れていた学生の人数(当該年度以前からの受入学生も含む)

12. 学長特別教員研究費交付の状況(2024年度)

県立大学

	学 部	氏 名	研究の名称	交付額	区分
1	日本文化学部 歴史文化学科	上川 通夫	日本中世民衆思想の成立—焦点としての仏教史—	450千円	科研費採択奨励研究
2	外国語学部 中国学科	川尻 文彦	李大釗研究——マルクス主義理解と日本経験を中心に	250千円	科研費採択奨励研究
3	外国語学部 英米学科	ナイアル ウォルシュ	Developing Learner Agency Through Learner-Based Teaching	238千円	科研費採択奨励研究
4	外国語学部 英米学科	ジョシュ ブルノティ	英語でのコミュニケーション不安軽減のためのバーチャルリアリティ動画開発	378千円	科研費採択奨励研究
5	日本文化学部 国語国文学科	福沢 将樹	注釈・講義文献に関する文法およびナラトロジーに着目した研究	325千円	科研費採択奨励研究
6	看護学部看護 学科	竹内 佳見	訪問看護ステーションが提供する看護要約の基盤作成-認知症高齢者に焦点を当てて-	480千円	科研費採択奨励研究
7	外国語学部 ヨーロッパ学科	奥野 良知	カタルーニャの事例から考察する独立問題の解決方法の研究	386千円	科研費採択奨励研究
8	多文化共生研 究所	亀井 伸孝	多文化共生社会構築のための学際的な基礎研究: 地域社会におけるリスク削減のための多言語共存と異文化理解を目指して	432千円	地域課題研究 テーマ: 多文化共生社会構築のための学際的な基礎研究
9	外国語学部 ヨーロッパ学科	吉田 理加	社会インフラとしてのコミュニティ通訳制度構築検討のための大学と自治体の国際連携	775千円	地域課題研究 テーマ: 世界とつながるグローバルネットワークづくり
10	情報科学部 情報科学科	鈴木 拓央	点群と画像を用いた動作認識技術を活用した遠隔服薬フォローアップの支援	573千円	地域課題研究 テーマ: 先端技術を用いた遠隔医療の実証体制づくり
11	外国語学部 国際関係学科	東 弘子	社会課題をテーマとする国際協働学習の活動の分析 —「高齢者生涯学習」と「人間とペット」の台日比較の活動を事例に	1,006千円	学部間連携・産学公 連携研究
12	日本文化学部 歴史文化学科	クラマー スベン	地域活性化に向けた文化財情報の調査・活用に関する研究	678千円	学部間連携・産学公 連携研究
13	日本文化学部 国語国文学科	宮寄 真素美	鮎川信夫と戦後詩 — 非論理の論理	375千円	出版助成
14	外国語学部 中国学科	張 金平	宋代方位詞研究	375千円	出版助成
15	情報科学部 情報科学科	神谷 幸宏	A Simple Signal Analysis Method Mitigating Estimation Errors of CARS	185千円	海外ジャーナル投稿助 成
16	外国語学部 国際関係学科	藤倉 哲郎	東南アジア農村社会変動に関する比較研究	2,000千円	長期学外研究

12. 学長特別教員研究費交付の状況(2023年度)

県立大学

	学 部	職 名	氏 名	研究の名称	交付額 (千円)	区分
1	日本文化学部	教授	樋口 浩造	新自由主義時代の日本ナショナリズム論—日本ナショナリズムの供給源としての東アジア	493	科研費採択奨励研究
2	情報科学部	准教授	ジメネス フェリックス	自律的学習能力を育成する教育支援ロボットの開発	978	科研費採択奨励研究
3	日本文化学部	教授	上川 道夫	日本中世史民衆史における普遍的叡智表出の仏教史的研究—非暴力・慈悲・平和—	500	科研費採択奨励研究
4	外国語学部	教授	森田 久司	音声・手話言語における、シンボル伝達イベントに伴う文脈化とその談話的効果の研究	428	科研費採択奨励研究
5	教育福祉学部	准教授	藤原 智也	美術教育による公共圏の創出に関する基盤的研究	744	科研費採択奨励研究
6	看護学部	講師	籠 玲子	若手看護師によるよい患者関係の構築に役立つ自己点検ツールの開発と活用方法の検討	560	科研費採択奨励研究
7	情報科学部	准教授	鈴木 拓央	面对称点群とGANを用いた点群欠損補完法とその応用	998	科研費採択奨励研究
8	教育福祉学部	教授	田川 佳代子	市民力に基づくソーシャルワーク理論と実践研究	466	科研費採択奨励研究
9	教養教育センター	准教授	ペルドン マーティン	A comparison analysis of local authority cycling networks in the Nagoya Metropolitan Area from the perspective of active travel	762	チャレンジ研究（一般）
10	外国語学部	教授	佐野 直子	J. カントループの「オーヴェルニュの歌」における歌詞収集とその表記、上演についての研究	593	チャレンジ研究（一般）
11	外国語学部	准教授	杉原 周治	サッカーにおけるプロおよびアマチュア選手の活動制限と法的諸問題	377	チャレンジ研究（長期） ※2年目
12	多文化共生研究所	教授	小池 康弘	多文化共生社会構築のための学際的な基礎研究	310	地域課題研究 学部間連携・産学公連携研究
13	外国語学部	准教授	趙 宏剛	《現代汉语代词主观化的动因与机制》（『現代中国語における代詞の主觀化の動因とメカニズム』）	750	出版助成